

堂本彰夫

エッセイ集

～我が思い 漂えるままに～

第一部

東シナ海眺望記

(総集版)

PART 1

堂本彰夫

2019年12月

## ○刊行にあたって（平成 29 年 3 月）

気がつけば、あれから 1 年が過ぎようとしている。いろんなことがあったものである。とにかく、この論考（エッセイ）は、この間に（正確には、最後のゼミ生達と一緒に立ち上げたホームページの運用を始めた、昨年 6 月から）、折に触れて書き上げたものである。

ホームページ上では、三部構成（「東シナ海眺望記」「教育への思い」「古代史の旅」）になっているが、大部になるので、ここでは、それぞれ別綴にしている。今回は、その、それぞれの第一弾ということになる。

ちなみに、この「東シナ海眺望記」は、これまで、私の大学での研究室通信、そして研究会機関誌でもあった「南風のふえぬ国から」の「巻頭言」及び不定期の「堂本彰夫コーナー」を、心機一転？、装いも新たに継続・発展させようとするものである（ただし、ここでの直接的な繋がり、やはり「堂本彰夫コーナー」かな?!）。

日々の、それこそ何気なく過ぎ去っていくものに対する、私の、永遠の？心の友人 I 氏の、感慨というか、心情を、私堂本が、下手な短歌？に乗せて、語らせてもらう形ではあるが、ある意味私と I 氏は一心同体である?!とにかく、この二人？の語り、思いを温かく受け止めていただければ幸いである！

## 堂本 彰夫

## ○PART 2 刊行にあたって（平成 29 年 7 月）

昨年 3 月に、エッセイ集「我が想い 漂えるままと～PART 1～」(三部構成)を刊行してから、早いもので 7 月を迎えた。本「第一部」の記事そのものは、今年 1 月からのものであり、一応、半年に 1 回、このエッセイ集を出していきたいという思いは、何とか実現できたことになる。それなりに頑張ってきたわけであるが、自分自身本当に良かったと思っている。

また、下手な短歌も、それなりに磨きがかかり？、言葉・表現の吟味には、ほとんど時間をかけてはいないが、楽しく詠ませてもらっている?!これを手にして読まれる方には、いささか読みづらい？、面白くない？、面倒草い？等のリアクションもあろうかとは思いますが、そこはそこ、辛抱強く読み進めて頂ければ幸いである！

とにかく、PART 1 刊行後も、もちろん様々なことがあったわけであ

るが、他の二つのシリーズ（「教育への思い」「古代史の旅」）も同時並行して、鋭意執筆を重ねているところである！こちらの方もまた、もし手元にて読まれることがあれば、よろしく願います次第である！

なお、PART 1にも書かせてもらっているが、この元々の記事は、下記のホームページに随時掲載しているものであり、そちらの方の閲覧（他にも、いろんなメニューあり！）も、可能ならば、是非お願いしたいものである！

堂本 彰夫

※上記のホームページの URL 及びメール・アドレスは、下記の通りです。

いつでも、気軽に、入り込んでいただければ、嬉しい限りです！そして、出来れば、いろんな声を届けていただければ、まさに幸甚です！！いずれにしても、待っています！

ホームページの URL⇒<http://www.gakuyou.jp>

メール・アドレス ⇒[gakuyou17@outlook.jp](mailto:gakuyou17@outlook.jp)

## 目 次

- 1 自然は、それを、それこそ「自然」に、我々の前に見せてくれている！
- 2 手前味噌、自己満足も甚だしい！だが、今の私は、それでいいのである！
- 3 梅雨空を眺め、初めての経験を待つ?! 台風の襲来に、戦々恐々となる?!
- 4 梅雨の中休み?! 「私の東シナ海」が戻ってきた!! だけど戻らぬものも?!
- 5 「ふるさとは遠きにありて思ふもの そして悲しくうたふもの…」?!
- 6 例年より1週間早く、梅雨が明けたようである！本当にそうなのかなあ?!
- 7 これぞ、まさしく沖縄の海と空！青蒼碧藍（あお<sup>4</sup>）のシンフォニー?!
- 8 いつの間にか、夏至が過ぎていた！灼熱の暑さと豪雨の今日この頃?!
- 9 やっと来た？台風1号！これからが本番?! しかも、勢力は増すばかり?!
- 10 気がついたら、もう夏休み！それぞれの蝉の声にも、メッセージあり?!
- 11 雲は天才！どこかで聞いたその台詞?! あの世界の上でも、それが言える?!
- 12 沖縄への台風は、何処へ?! それは、別な台風?! が居座っていたためか?!
- 13 次第に、秋の気配?! 海は、蒼碧と青藍の二分面、そこに揺らめく白き波！
- 14 避けては通れぬ、「沖縄の意味」?! だが、まだ書けぬものあり?! 何故か?!
- 15 こんな時もあった?! これらを創った日々は、一体どんな日々だったのか?!
- 16 年齢（とし）を意識すること、若き日の己に未練があるのは、半ば当然?!
- 17 今のところ、直撃もなく、南国なりの秋の訪れも?! 碧き海に、何を見る?!
- 18 やっと直撃?! だが今はまだ、碧き海は静かである?! 結局、どうなったか?!
- 19 来たか?! 本格的な秋の訪れ?! だが、沖縄はやはり、日中はまだまだ盛夏?!
- 20 我が想い漂えるままに！繋がるあの頃?! かの「納得」は、今?!
- 21 激変?! ではあったが、新たな1年も、また過ぎた！来たる年は?!
- 22 移り住んで11カ月！大体分かった?! 1年間！今、語るもの?!
- 23 寒く? なったかと思えば、穏やかな晩秋?! 気分も爽快！何故?!
- 24 穏やかな晩秋? 日和が、急変?! 海の方こうでも、荒れる予感?!
- 25 「老い」は「諦め」との闘い?! まだ早い、意識し始める頃?!
- 26 本日の天気は、まさに最高?! 沖縄は、11月が一番いい季節?!
- 27 麗らかな霜月? 最後の日！改めて、これからのことを考える?!
- 28 海（湾）の眺望より、温かい光を！今、二重の意味で待望す?!
- 29 海（湾）ばかりではなく、花や月や星にも、想いを寄せよう?!
- 30 激変?! ではあったが、新たな1年も、また過ぎた！来たる年は?!

- 31 改めて、新年を迎えた！風のない、穏やかな海（湾）である！
- 32 「当たり前」のこと?!見ようと思わねば、見えぬものある?!
- 33 「条理」！言い続けねば、危うし?!されど、「不条理」もあり?!
- 34 一転?!見渡せば、春の訪れ?!いよいよファイナル・イベントが?!
- 35 収穫は、自らの喜びそれ自体?!見かけや味は、それこそこの次?!
- 36 ついに来た！居場所であった研究室との別れ！だが、実は唐突に?!
- 37 さめざめとした光景に、変わらぬ騒音?!だが、素敵な出会いも?!
- 38 終わった！だが、既に一年前に?!このことを踏まえ、これからを生きる！
- 39 眼前でうねる、曇りの海（湾）！こんな思いが、分かるかな?!
- 40 ここに示すは、我が「盛春」or「静春」?!とにかく、続けよう！
- 41 今年もまた新年度、新学期が始まった！「海炎祭」がその一歩?!
- 42 「ミニミニ卓球選手権？」と「海炎祭」で盛り上がった第一歩?!
- 43 ついに、「(前期) 高齢者」の仲間入り！何が変わると言うのだ?!
- 44 近づく“GW”！確か？「シルバーウィーク」もあったかな?!
- 45 すっかり「ベランダ族（高齢者？）」?!爽やかな風に、物思う?!
- 46 GWも、ついに？終わった！やがてまた、あの鬱陶しい梅雨が?!
- 47 早速始まった、今年の梅雨?!何度も言うが、沖縄では、それは慈雨?!
- 48 今日の海（湾）は違う?! あの蒼（碧）がない?!鏡となった湖面の様?!
- 49 梅雨の晴れ間！何と爽快な風！私の海（湾）が、早くも蘇る?!
- 50 いよいよ節目の50号！「無常」ではあるが、「無情」ではない?!
- 51 「利便性」と「自然（生活？）保護」、どこにも「二律背反」はある?!
- 52 音楽性と物語性！新型のカリスマ?!いずれにしても、新旧交代?!
- 53 梅雨に「陰性」、「陽性」がある?!ただ、「陰」よりは「陽」がいい?!
- 54 梅雨明けと思わせる程の今日の海空！青蒼が映すは「未来」の姿?!
- 55 やっぱり、梅雨明けだ?!そうとしか思えない今日の海（湾）?!
- 56 そうであろう?!梅雨明けは、まだだった！今度は雨量が心配だ?!
- 57 夏至と梅雨明け、一緒に来た！今度は、正真正銘の、迎酷暑?!
- 58 あっという間に過ぎ去った？、6月水無月?!台風の襲来も徐々に?!
- 59 恐れていた豪雨が九州に！これからもまだ、油断ならぬ台風?!
- 60 60号と無縁とは言え、あの「私の東シナ海（湾）」が湖面の様?!

## 1 自然は、それを、それこそ「自然」に、我々の前に見せてくれている！

東シナ海（ほんの一部だが）が、若干遠くからではあるが、ほぼ一望できる、ここ宜野湾市大謝名の拙宅。移り住んで、早半年！もうそんなになったのかと、ふと感慨に耽る今日この頃である。この間、二階ベランダ越しに見えるこの海を（多少湾状になっているので、固有名詞もあるとは思いますが、残念ながらその呼称は知らない！）、それこそ朝な夕なに、晴れの日も曇りの日も、そして雨の日も、ほとんど毎日眺めている。ちょっと手を伸ばせば、湾の海水（みず）が掴めそうな気もするが、やはりそれは錯覚であろう！

だが、今日のような曇天の日は、湾？の向こうに広がる東シナ海の海水（みず）が、鉛色の怪しげな雲に吸い上げられ、水平線の位置が、いつもより上の方に見える?!見ようによっては、あたかもその海水（みず）が、こちら側（陸地）に押し寄せてくるのではないかという、ある種の恐怖心さえ覚えさせる。ただし、今日の波は、少し穏やかではあるようである。昨夜来の風雨（あめ）は止み、千変万化の湾（うみ）は、心なしか薄ぼんやりと、虚空に浮かんでいるようにも見える。まだまだ台風の季節を経験していないので何とも言えないが、本当に強い台風が来たら、あの穏やかな海は、どんな表情を見せるのだろうか？

ところで、晴れた日の湾（うみ）の色、その色彩は、それこそ日々違うが（干潮・満潮時によっても違う！）、南国特有の、蒼碧のコントラストが基調であることは言うまでもない。あの何とも言えない美しさは、この高台から見ると、さらに格別である（実は、妙にそこだけが気にいって、急いでこの拙宅を購入したのである！）。とにかく、その穏やかさと荒々しさの両方が、私の意思とは無関係に、代わる代わる訪れる。ありふれた言い方だが、その両方があって（見えて）こそ、真の姿なのであろう。明暗、清濁等、その他、いろいろな形容もあろうが、自然は、それを、それこそ「自然」に、我々の前に見せてくれている！

そんな中、これからあの鬱陶しい梅雨、そしてその後には待っている、長く、過酷な蒸し暑い夏。また、その間にも、容赦なく訪れるであろう台風?!ここで経験していない、もう半分の季節が、これから私の前に姿を見せることになる。



**2 手前味噌、自己満足も甚だしい！だが、今の私は、それでいいのである！**

今日もまた、我が拙宅の二階ベランダ越しに、敢えて言わせてもらえば、「私の東シナ海」を眺めている。ただし、今回は、夜の光景である。流石に海そのものは、暗闇に包まれていて、その様子はまったく見えない！その一方で、昼間とは違う市街地の明かりの飛び石が、湾（うみ）の手前に、まるで宝石を散りばめたように、大小横たわっている。

湾の向こうには（読谷半島？）、また一味違った明かりの帯が、その突端の岬のところまで、先細り的にはあるが、伸びている。その明かりは、ひょっとしたら、その手前に見えるホテルの明かりかもしれない。とにかく、昼間の光景もよいが、夜景もまた素敵である。過日行われた花火大会（琉球海炎祭？）では、このベランダに、教え子たちが何人か集まり、この夜景とともに、美しい花火を間近で見たものである。やはり、ここは格別である。

ただし、私が勝手にそう思っているだけで、世の中には、もっともっと素敵な場所がある！多分、私が知らないだけである！そんなことは、考えてみれば、至極当前の話である。手前味噌、自己満足も甚だしいわけである！だが、今の私は、それでいいのである。何故なら、そんなことさえ、これまでの私の生活にはなかったのであるから！ちょっと懐かしい表現となるが、いわゆる「小市民」的な喜びに、勝手に酔いしれているとしても、そのことを素直に喜びたいのである！「小市民」的で、何が悪いのだ！ある意味、みんな勝手に生きているではないか?!私も、これからは、勝手に生きていくのだ！…

ということで、気が付けば、とんでもない独白をし始めている！しかし、今回は、これでいくことにしよう！私の「小市民性」は、どこかで粉飾させられていたのだから?!やっとな、本来の自分に戻ったのである！ただし、やはり恰好だけは、つけていたい?!何もかも、諦念・喪失には、譲りたくないのである！偽悪を語った、あの頃の私のように?!

- ・ 懐かしい 「小市民」  
この期に及んだ独白に 再びそれを 使おうとは?!
- ・ いい人振るのは もう止めよう!  
そう いい人では 決してないのだから!
- ・ 偽善ではなく 偽悪をと  
しきりに語った 若かりし頃 思い出すは何故?
- ・ 生活能力のなさ まざまざと見えり!  
さりとして今更 それだけを 求められるは酷?!
- ・ とにかく必要な 生活基本能力  
技術・家庭科は やはり しっかりやっていたら!

(5月25日)

### 3 梅雨空を眺め、初めての経験を待つ?! 台風の襲来に、戦々恐々となる?!

多少、例年より遅くはなったが、ここ沖縄では、今年も梅雨入りとなっている！春先には、結構雨も多かったので、あまり雨量は望まなくてもよいが、やはりこの時期には、必要最小限の降雨は欲しいものである！それがないと、夏の水不足は必至となり、生活全体が混乱するからである。尤も、近年では、水タンク等の設置も進み、飲料水等の生活用水には、あまり支障はないようではある。もちろん、台風等の自然災害によって、農作物や他の多くの生活被害や生活不便が、ある意味コンスタントに現れる沖縄ではある。いずれにしても、どちらも過度であれば、困ったものではあるのである。これもまた、南国・島国沖縄の宿命なのでもある！

そういうことを思いながら、今日もまた、「私の東シナ海」を眺めている。まさに今、沖縄は梅雨真っ盛りである。大した雨粒ではないが、昨夜来断続的に雨が落ち、彼方の湾も、厚い曇天の雲に覆われて、藍色あるいは黒っぽい鉛色の水面を、静かに横たえている。時より、強い風が、二階ベランダを通り抜ける。湾の海水は、ほとんど動いていない！低気圧の位置に関係するのであろうか、雲の動きが、いつもとは違っている！

ちなみに、これについては、いつかまた書くこともあると思うが、相変わらず、近くの普天間基地がらみの騒音が、今日も聞こえてくる！もちろん日によって、その頻度・強弱は異なるが、例のオスプレイも、ちょくちょく現れる。その騒音の種類も、何となく分かるようになってきている！それらが、ほとんど、我が家の直上を降りていくということは、恥ずかしながら、後で分かったことである！でも、今は、それが、私の生活の中の一部である！これが、私の現実の一部なのでもある！

ところで、今年の、私の、梅雨あるいは台風対策・心構えは、昨年までとは違って、より切実となる！もちろん、それは、我が拙宅を持ったからである。そのことは、当然、当人の責任で、そのための様々な対策や行動を採らなければならないということである。考えてみれば、至極当然のことであるが、長年の公務員宿舎暮らしの私にしてみれば、その実感というか、具体的なイメージが、ほとんど湧かない。基本的な生活能力はともかく、自分の持ち家をもつということがどうということなのか、退職に関わる諸手続き、事務所や不動産（家屋）取得のための手続き、等々、まさに四苦八苦の連続でもあった！本当に、我が奥さんがいなければ、こんな生活も、始められなかったであろう?!

ただし、実はその奥さんも、かなり戸惑うこともあるようで、気が付いてみたら、語気が強くなったり、喧嘩まがいの口論を始めていたり、気まずい時間が流れることも、何度かあった?! 多分、これからも、多々あるであろう?!

それはさておき、その最たるものが、急ごしらえで作上げた畑や花壇（らし

きもの) のことである。猫の額ほどの土地に、全くの素人である私(達)が、土を掘り返し、石を取り除き、奥さんからの指導と苦言?を随時もらいながら、一応の恰好だけはついた!そして今は、怪しげな山芋(自然薯)の蔓や、ある所から一株いただいてきた(決して窃盗ではない!)野イチゴの幼木を含め、ミニトマト、ゴーヤ、なす、キュウリ、しそ、かぼちゃ等の野菜が、あの、とてもじゃないが、畑として使えるかどうか、大いに不安であったこの土地に、一応生きている!

ミニトマトとキュウリ以外は、収穫とは程遠い状態ではあるが、それを眺め、下手な世話(本当に下手である!)をすることが、私の朝夕の日課(否、昼間も?)であり、楽しみともなっている。それだけに、あの台風の襲来は、想像するだけでもぞっとする!畑の作物や花壇の草花、そして二階ベランダにおいてある、いくばくの「鉢植え」に、その台風の猛威が、出来るだけ及んで欲しくないのである。だが、その猛威から逃れることは、おそらく、ここ沖縄では奇跡に近いであろう?!

幸い、今年はまだ、台風は発生していない!既にあっても、いい時期なのではあるが、台風の被害・影響は、ここ沖縄にとっては、運輸・交通等の物流・人流への影響は、当然であるが、重大問題である。とりわけ、毎年?甚大な被害を受ける宮古・八重山あるいは本島周辺離島、そうした所にあつては、私のようなレベルの心配など、それこそ噴飯物である!それは、よく分かっている!しかし、私は、それでいいと、今は思っている!居直りあるいは偽善者だと言われるかもしれないが、それが事実なのだから!沖縄のため、沖縄の教育のため、沖縄の若者のため、確かにそういうことでやってきたが、これ以上の恰好や気取りは、これからの私には不似合いである!ただ、「そこに生きる」以上は、「そこに生きるなり」の生き甲斐、意味は欲しいものである!

・ 梅雨空に 思いを馳せるは 台風のこと  
人それぞれに 今を生きる?!

・ 狭き畑<sup>とち</sup> そこに棲息<sup>いき</sup>するは 我が植え<sup>のぞ</sup>期待む  
野菜や花 そればかりではなく!

・ 収穫は さほど期待<sup>のぞみ</sup>ではないと 言いつつも  
それでは何故<sup>なにゆえ</sup> 気にかける?!

(5月25日)

#### 4 梅雨の中休み?!「私の東シナ海」が戻ってきた!!だけど戻らぬものも?!

梅雨入りして、もう、しばらく経った!もちろん、今の私は、それがいつ始まったかというようなことは、覚えていないし、そもそもそうする必要もない!前にも書いたように、その日、その時を、まさに「自然」に送ればよいのである!でも、こんなことでさえ、今日の景色を眺めれば、言う気も出てこないし、そもそも、そんなことを語っている自分が情けない!否、みっともないであろう!

ということで、何はともあれ、今日は、久しぶりの晴天で、ベランダ越しの眺望は、まさに爽快である!あの蒼碧の、というか今日は、どちらかと言えば紺碧に近いか?!いずれにしても、あの懐かしい?海(湾)が、眼前に横たわっている!梅雨の中休みに、あの「私の東シナ海」が、今日は戻ってきたのである!!もちろん、多少どんよりとした雲が、海(湾)の手前の上空にかかっているの、快晴とは言えない?!梅雨明けは、もう少し後のことであろう!

ところで、「戻って来た」と言えば、私の、記憶力というか、気にかける物事の軽重に対する意識が、どうも怪しい?!4月以降の、ある意味気儘な生活の為せる業なのかもしれないが、とにかく人の名前、とりわけ学生の名前の忘失が、甚だしいのである!加齢(私の場合は「老化」!)に伴う記憶力の低下という、ある意味普通の人々の現象なのであるが、私の場合は、ただそれだけではないようにも思える!それまでの仕事や人間関係から、一応は解放されたのであるが、そこにあった種々雑多な意思や感情、あるいはそれらに伴う喜怒哀楽の程度(質かな?)が、根本的に違ってきているように思えるのである!

単純に言えば、物事の推移に関わるこだわりや、他人、とりわけ1週間に2回程度しか顔を合わさない、学生や教職員への関心や思い遣りが、ほとんど顕在化してこないということである!ある意味、困ったものではあるのである!

さて、そうした、私の記憶力というか、気にかける物事の軽重に対する意識に関わることだが(多分、そうなのであるかと思っているが!)、大変な失態を招くところであった!というのも、大分前に(これも、いつだったかは正確には覚えていない!)、福岡に住む次女へ、私の実家(佐賀県唐津市)の(甥の)結婚式の日を知らせていたが、どうも誤って別な日を伝えていたらしく、伝えていた(間違っていた!)日に、次女は、その参列のために当地に向かおうとしていたらしい(事実である!)

幸い、虫の知らせだったのでもあろう、直前に電話がかかってきて、その結果、彼女は、そのまま当地に行かなくても済んだという顛末である!もちろん、別な(新たな)日程の調整が必要になったのではあるが、これも幸い、無事解決しそうということである!とにかく、良かった、良かったと、胸を撫で下ろしている私である!ただし、これに関わって多大な精神的苦痛を受けた次女、

そして、そのとばかり（勤務交替）を受ける彼女の職場の誰かさんには、本当に申し訳ないことをしたものである！改めて、自分の情けなさを恥じ入る次第である！

というようなことで、もともとが、そうしたズボラな性格の私ではあるが、最近とみに、記憶の希薄化や約束事等への執着乖離が進んでいるように思うのである。今日の、この久しぶりの眺望の爽快さのように、私の記憶力や物事への、いい意味での執着心は、戻ってこないのであろうか？！

ただし、こういうことを言ってしまうと、逆に私のことを、それこそ必要以上に気遣う（心配する？）人が出て来たら困るので、取り敢えずここでは、この話題は、ここまでにしておきたい。ある種の、私なりの恰好つけ（演技？）の一つとして、受け止めてもらえば、それなりに幸いである！

・ 気が付けば 梅雨の中休みの ものぐさに  
かこつけにし 失態を語る？！

・ 戻る 戻らぬと言えば 何でもある？！  
人間はそれ故 喜怒哀楽す！

・ 決して戻らぬ ものもあり！  
当事者は それを 胸に収むる？！

・ 記憶力 量より質と 胸張るも  
その質決めるは 我でなし？！

（6月18日）

## 5 「ふるさととは遠きにありて思ふもの そして悲しくうたふもの…」?!

冒頭の詩歌（うた）は、かの有名な室生犀星の作品の、最初の一文である！改めて、何と哀しく、そして切ない詩歌であろうか?!まるで、これまでの私に、ピッタリのような詩歌でもある！

過去、最終的には、たった18年間ではあったが、生まれ育った九州唐津に、あるいは精神的・経済的に長く・辛かった?!広島に（ほとんど学生という身分であったが!）、何とか恩返し（というよりは、やはり貢献かな?）したいという思いが強くなり、まさに望郷あるいは郷愁の念を募らせていた時期が、私には、確かにあったのである！多分、今の私にも、そういった思いはどこかに、残存はしているであろう（正直、ここ沖縄には大変申し訳ないが）?!

しかし、そうした望郷・郷愁の念は、ある時期を境にして（と言っても、さほど以前ではないが）、私の胸裏からは消えていった！多分、そうしたことで、実家や郷里に帰った人も、多々いるであろうが、残念ながら、私の場合は、それができなかつたのである！三男（戸籍上は四男!）という立場（基本的には実家には戻れない!）、そして何よりも、自分の専門を生かす仕事や、土地・建物等すべてを購う住宅取得といった、まさに自分の願望だけではどうしようもないことが多々あり（ほとんど、依頼等の具体的な行動も採らなかつたが）、今はただ、ここ沖縄で取得した拙宅にて、「私の東シナ海」を眺望しながら、あれやこれやの思索を行っているという次第なのである！

ところで、ただそのようなことだけを言うのなら、おそらく誰しものが、とりわけ自分の故郷を、何らかの理由・事情で、離れて暮らす（そうせざるを得なかつた?!）人々にとっては、少なくとも一度くらいは（多分、繰り返すさざ波のように何度も?）、そういう想いは抱くであろうし、まさに同感、というよりは、ほとんど共感することであろう！しかし、である！実は、ここからが、私の言いたいことである！つまり、現実の人間の営みの、複雑で、そして、やはりそのことは、どうしても避けることのできない、ある種の宿命なのではないかということについて、若干ではあるが、想いを述べてみたいのである！

改めて、それはどういうことか?!すなわち、いわゆる「ふるさと」を遠くにもち（基本的には、距離的に遠く離れていること）、そのことについて、様々な思い出、いわゆる「郷愁」ないしは「望郷」の念を抱き、例えば、たとえその時が苦しい（我々の世代までは、やはり「貧しさ」?か）時期であったとしても、そのことさえも、ある意味美化し、「昔はこうだった、ああだった!」、挙句の果てには、「昔が良かった!その当時が懐かしい!」なんて言葉にされたら、表面上はにこにこしながら、「そうですねえ!ここら辺も、変わってしまいましたねえ!」なんて返答する、まさに今、そこに暮らしている（生きている）人、たとえそれが、実家にいる縁戚者であったとしても、彼らにとって

は、ある意味残酷なことなのではないかということである?!

そして、帰郷者・望郷者のために、精一杯の非日常を振る舞い、挙句の果ては、米や野菜等、持ちきれないばかりのお土産を渡す側からすれば、何と複雑な心情なのであろうかと、思ったりもするのである?!

とは言え、それはそれで、生身の人間同士の関係であり、「縁戚」ということは、まさにそういうことでもあるのである。まさに、宿命なのである! 相続や財産・土地問題等で、醜い、さらには悲しい結末を招くこともあるが、我々は、そういうことも含めて、「縁あって」生き合っているのである! そして、それらから逃れられないのである! ただし、そのことを通して、楽しい時間・豊かな人生を、送ることにもなるのである! これらのことを含めて、我々は、今を生きているということである!!

・ 犀星の 「ふるさと」 語る その<sup>しいか</sup>詩歌  
胸に染むれど どこか複雑?!

・ されど その<sup>うた</sup>詩歌 やはり真実?!  
最後はそれに いかに向き合う?!

・ 望郷も 郷愁も <sup>こどものころ</sup>幼き日々が  
その中心?! それでよいのだ!!

・ ふるさどが ただ古き里にぞ なりぬれば  
それはそれで 哀しさ募る?!

(6月18日)

## 6 例年より1週間早く、梅雨が明けたようである！本当にそうなのかなあ?!

まだ、もう少し先であろうと思っていた梅雨明けが、昨日発表された！例年より1週間、昨年よりは8日早いということである。そう言えば、やはり今、二階のベランダ越しから見える海、空、雲も、そうなのかなあと思わせるくらいには、その装いを変えているようではある?!弱く、薄い夕日が、「私の東シナ海」を、かなり低い角度から、しかも厚い靄？（ひよっとしたらPM25??）を伴って、照らしてはいる！湾の向こうの外海は、白っぽい煙のような薄灰色の天幕様のものが、水平線一杯に横に伸びて、遠く霞んで見える！さてさて本当に、梅雨明けしたのだらうか?!尤も、そのことは、私には、当然だが、どちらでも構わない！

ところで、梅雨明けと言えば、あの、もくもくと天まで登りそうな、ある意味雄々しい積乱雲（入道雲）が、その象徴であるが、今日は、少なくともこの夕方は、まったく顔を出してはいない！やはり、あの積乱雲（入道雲）を見ないと、本格的な梅雨明けとは言えないであろう！ただし、こんなことばかりを言っていては、一日も早い梅雨明けを待ち望んでいる人からは、大変なお叱り？を受けることにもなりそうなので、ここでは素直に、その梅雨明け宣言を受け入れることにしたい！

ただし、沖縄以外は、まだまだ梅雨の真只中、これからも、雨の日が多い、鬱陶しい日々が続くことであろう。そしてまた、縁起でもないことであるが、往々にして、その梅雨明け前には、必ずどこかの地域への豪雨もある?!地震も、相変わらず、各地で起きている！熊本のその後は、どうなのであろうか?!どこかの知事の、別な意味で鬱陶しいニュースも続いている！とにかく、スカッとした気持ちで、これから訪れる本格的な夏の到来を、元気に迎えたいものである！

ちなみに、我が二階のベランダは、5月の連休後、少し改善を図った！と言っても、むき出しのそれに、半透明の屋根を取り付けただけであるが、ちょっとの雨でも（風雨であれば、完全シャットアウト!）利用不能になっていた、この私のベランダが、それを取り付けたことによって、さらに快適なものになった！

もちろん、雨天でのバーベキューも、多分可かと思われる?!幾つかの支柱が、若干目障りと言えはそうではあるが、「私の東シナ海」は、ほとんど変わらず眺望できるし、何より熱い日差しを遮ってくれることが、その恩恵である！

- ・ 梅雨明けが                      こんなに早く                      来ようとは  
  その先巡らす                      プランなどなし?!
  
- ・ 梅雨明けを                      告げにし                      入道雲は  
  まだ見えず!                      それは明日かも?!
  
- ・ 降雨あめだけなら                      ベランダのリフォーム                      成功だ!  
  問題は                      来る台風か?!
  
- ・ 鬱陶しい                      数々の                      醜態劇!  
  されどそこには                      人の人生いきざまあり?!
  
- ・ 梅雨明けと                      次女むすめの年齢よわい                      関係は無し!  
  ただ誕生日そのひが                      重なったのみ?!

(6月18日)

## 7 これぞ、まさしく沖縄の海と空！青蒼碧藍（あお<sup>4</sup>）のシンフォニー?!

梅雨明け後の、最初の日曜日！例年より1週間早いそれであるので、まだまだすぐには、あの盛夏(猛暑!)は来ないだろう！そう思っていた私であるが、実は、とんでもない思い違いであった！今日の、この暑さと、そして、この二階ベランダ越しに見える、青蒼碧藍（あお・あお・あお・あお）の景色、と言うより、それらのシンフォニー?!は、既に沖縄の盛夏(猛暑!)の到来を、確実に告げるものである（本当は、まだまだ6月の半ば過ぎなのに!）!!

ただし、この先、つまりこの時期からの私は、内から眺めるこの景色に魅了されるのであって、その炎天下を、例えば歩き回るとなると、日差しと湿度の餌食となること、間違いないであろう！ある意味、長く、しんどい、実に耐えられない日々が続くということでもある！若者や、ダイビング、その他のマリンスポーツ等に興じられる人達にとっては、絶好の季節であろうが、残念ながら、私は該当しない!!勿体ない?!

折角、沖縄に住んでいるのに！などと言われそうであるが、本当にそうなのであるから、仕方がない！変な言い方になるが、(内から)眺めたり、語ったりするだけの、光景なのである！ラジオからは、九州南部の豪雨?のニュースが流れている！関東では、取水制限が始まっているとも言う！何で、こんなにも違うのか?!

ところで、最近、改めて実感したことがある！ベランダの前方が、実は真北ではなく、北東であることである。したがって、「私の東シナ海」は、北西に広がっているわけである！何故、実感したのかというと、最近朝日が、ベランダの右斜め前から昇るのである！こちら側には、太陽の日は、射さない！つまり、北向きだと思っていたのである。全体的には、この家(建物)は、東西線を45度位回転させた位置に建てられているということであろうか?!やはり、どこか方位感覚を狂わすわけである?!

ただし、それだからこそ、「私の東シナ海」が、左斜め前方に、程よく見渡せるのもある！どちらがいいのか、比べてはいないので、何とも言えないが、これでよかったと言うしかない！事実、よいのであるから!!

ちなみに、私の妻は、今また居ない！別に、プチ家出を敢行されたわけではないが、今回もまた、宮崎(小林市)の長女の家に行っている！3番目の孫息子(そう、男子ばかりなのだ!)の病気の具合が、多少?思わしくないようなので、毎度のことではあるが、(長女や孫達の)助っ人に出かけているのである(お助け婆さん?!)!やはり、母親とは貴重な(この場合は「頼りになる」)もので、私のような父親(つまり、単なる爺さん?!)は、そんな時はまったくの無用之介なのであるが、母親の場合は、まさに救いの神となるのである！

要は、それはそれでよいのであるが、残された?私の方も、実は大変なのだ



## 8 いつの間にか、夏至が過ぎていた！灼熱の暑さと豪雨の今日この頃?!

梅雨明け後、沖縄では、いきなり盛夏（猛暑！）が訪れたと告げたばかりであるが、今年は、本当に何と暑い日が続くのであろうか！ラジオの天気予報によると、例年よりは2度くらい、高いみtaiである?!時々襲ってくるにわか雨・夕立？（スコール：驟雨とは、まだ言い難い?!ちなみに、沖縄では「片降り（かたぶい）」という言い方があるが、本土では、確か「狐の嫁入り」と呼んでいたと思う！）があり、降雨もないことはないが、少しの涼にもならないというのが、まさに本音である!!あまり書きたくはないが、暑くなり、活動が盛んになるハブの咬傷注意報も出ている！

27年目の沖縄であるが、まだハブと、日常生活の場面で出くわしたことはない！ただし、身近で目撃されたという話は、もちろん聞く！拙宅の、東隣の藪地が怪しいかも?!確か、そこは、訪ねて来る人達（多くは学生やOAの若者達!）を容赦なく襲う、(藪)蚊の巣窟ともなっている?!とは言え、その藪地は、名前は知らないが、可愛い?鳴き声を聞かせてくれる小鳥達の住処?ともなっているようである！否、鳴き声だけでなく、その可愛らしい姿も、時々ではあるが、灌木の中に見える！やはり自然は、複雑である!!

さて、そうこうしているうちに、気がついてみたら、もうとっくに「夏至」が過ぎていた！そして、7月、あつという間の3カ月でもあった！繰り返しになるが、豪雨で苦しめられている本土には大変申し訳ないが、相変わらずのこの暑さ（正体は、湿度の高さ?!）、ほとんどまいつている私でもある！さらなる暑さが予想されるこれからのことを考えると、本当に怖い?!ちなみに、余談ではあるが、昨年までの公務員宿舍暮らしは、とにかく4階（ただし、エレベーターはない!）に住んでいたもので、こんなにも暑さは感じなかったように思う。

つまり、風通しは良かったということであろうか?!ちょっとだけ、懐かしい気もする?!しかし、今はここ！とにかく、いいところだけを、無理矢理にでも感じていこう！今日も、眼前の、「私の東シナ海」は爽快である!!

ところで、この間、新しい体制での研究会並びに実働サークル「イノベーションNEXT(いーね!）」の船出、ホームページの制作・運用と、本当に予想以上の出だしとなっているが、一方で、不安材料も見え隠れし始めているように思う！やはり義理?や勢いだけ、あるいは仕方なく参画している人もいるようであり、持続・継続の思いやエネルギーが、漸減していつているようにも思われるのである?!

とにかく、スタートさせようという時の思いやエネルギーの方が、凝集し易いということなのであろう?!思っていたものと違う！あるいは、予想以上に忙しい?というようなことも、あるのかもしれない?!だが、実は、そのことは初めから分かっていることであり、ある意味仕方がないことでもある?!誰も、そ

のことを咎めることはできない！まさに、そういったことの繰り返しの中で創られていくもの、残っていくものが貴重なのであり、それがまた、この種の集団（研究会&サークル）の宿命でもある？！

ただし、それさえもが、成就されなく終わることもある？！それは、私のこれまででも、多々あった？！しかし、今度は、まさに背水の陣で、それを払い除ける努力（情熱かな？）はせねばなるまい！そんなこんなを呼びかけたのは、他でもない、彼（まさに井上！）なのであるから！！

- ・ 夏至なんて 単なる曆上の 約束事?!  
そう思っていたのが 覆る?!
- ・ ハブ注意報 聞いてもそれは 他人事?!  
ただし今年は 我が事となる?!
- ・ 歩いて 上り下りしていた 公務員宿舎  
蚊災<sup>かさい</sup>少なく 風通しも良く?!
- ・ 手探りで ともかく三月<sup>みつき</sup> 過ぎ去りぬ!  
望んだものもあり 望まなかったものもあり?!
- ・ 順調の 陰に忍びし 不安材料<sup>しんばいごと</sup>  
だけどそれは 払い除けねば?!

（7月4日）

## 9 やっと来た？台風1号！これからが本番?!しかも、勢力は増すばかり?!

発生自体が大変遅かった、今年の台風！多少響きを買おうだが、今週やっと、その第1号が来訪？した！幸い、先島地方（宮古・八重山地方を総称してそう呼ぶ！）への接近はあったものの、直撃は免れた！ただし、その影響かと思われるが、時たま突風を伴い、激しい降雨がこの拙宅を襲い、リフォームした二階ベランダの屋根にぶつかる音が、何とも凄まじかった！と言うより、ちょっと怖かった？

それよりも何よりも、残念なことに（これもちょっと響きものかな？）、その突風と激しい降雨時の、あの「私の東シナ海」の様子を、じっくりと見ることはできなかった！恐らく、かなりの時化ではあったろう?!

ちなみに、その前後の光景は、どんよりとした空模様の中、あの蒼碧の海は、ほとんど姿を見せなかった！当然と言えば、当然であろう！とにかく、これからは、台風も頻繁に発生し、接近、さらには直撃もしてくることであろう?!ある意味それは、沖縄の年中行事でもあり、宿命なのでもある！

ただちょっと気になるのは、その勢力の強さである。詳しいメカニズムは分からないが、発生近海の高温が影響しているらしい?!これも、いわゆる地球温暖化の一環なのであろうか?!風速 60~80メートル級の台風が、これからは、当たり前になるのかもしれない?!前にも書いたように、くれぐれも、直撃の災禍だけは避けたいものである！

ところで、台風と言えば、その目も注目されるが、今回の参議院選挙の、言わば「台風の目」は、どこ（誰?）であろうか?!そうこうしていたら、何やら東京都知事選が、注目され始めた！そこには、その「台風の目」になりそうな人物の名前が、いくつか挙がってきている?!私には、直接関わり合いはないが、どうしてこうも、選挙の時だけは、盛り上がるのだろうか?!世間では、相変わらず、国内外を問わず、恐ろしい、あるいは嫌な事件、動きが頻発している?!

どこ（誰）が、その乱れを正してくれるのだろうか?!余りにも、人の世は広がり過ぎていて?!知らなくてもいいことまで、どんどん入ってくる?!確かに、みんな繋がってはいるのだ！しかし、その繋がりは、最早混沌としか言いようがない?!その混沌の中で、人は、自らの生活、幸せを、それこそささやかな力と想いで、紡いでいくしかないのではないか?!頑張れ、人よ！

なお、来月は、いよいよオリンピックである！メダルの期待もなくはないが、精一杯競技して欲しい！そして、感動を与えて欲しい！ただし、これは私だけの思いかもしれないが、「みなさんに、感動を与えたい！」とは、選手自ら、決して口に出しては言わないで欲しい！何故なら、感動は、他人が、ある意味勝手に感じるものだからである！与えられるものでは、決してないのである！

尤も、自らが自らに感動することは、別な意味では、あつては欲しい?!夏の



## 10 気がついたら、もう夏休み！それぞれの蝉の声にも、メッセージあり?!

クマゼミの鳴き声が、朝早くから聞こえ出して、かなりの日数が経った！小さい時の記憶では、確かこのクマゼミの鳴き声が聞こえ始める頃、待ちに待った夏休みが訪れていたように思う。眠たい目を擦りながら、ラジオ体操の会場に小走りで駆けつける道すがら、よく、このクマゼミの鳴き声を聞いたものである?!ある意味、夏休みの定番の一つだったのかもしれない?!まさに、このクマゼミの鳴き声は、梅雨明け宣言の代名詞であり、ここ沖縄では、既にかなり前から、あの暑苦しさを、一層奏でているのはもちろんである?!本当に暑い!

なお、その後に鳴き始めるのがアブラゼミであるが、その声は、暑い夏の最高潮の象徴でもある?!ただし、それは、これも小さい時の記憶では、夏休みが終わりを迎える頃、いわゆる残暑の代表として、特に夕方、ある種のもの悲しさを感じさせる趣で、鳴っていたようにも思う?!ちなみに、その間は、私の田舎の方言だったのかもしれないが、ニーニーゼミ（ミンミンゼミ?）が、至る所（多くは桜の木?）で鳴っていたようにも思う!

蛇足ながら、その蝉の声の最後は、確か、夕方鳴く?ヒグラシであったように思う?!蝉の一生は、かなり数奇に富んでいるようであるが、その蝉達の棲み分け（鳴く時期）自体にも、何か意味があるのかもしれない?!否、そうではなくて、その鳴き声自体に、何らかの、彼らのメッセージが込められているのかもしれない?!とにかく実は、私の二階ベランダからの眺望は、「私の東シナ海」だけではないのである!

ところで、ここ最近では、その「私の東シナ海」に対しては、あまり思いを寄せる時間がない?!物理的な時間ではなく、多分精神的な時間であろう?!単純に言えば、少し見飽きたのかもしれない?!今も又、例の蒼碧の海面が静かに横たわっているが、彼女?（「私の東シナ海」）には申し訳ないが、さほど感慨深いものではない?!ある意味、いつもの通りということである?!

けれども、本当は、いつもの通りなど、何物にもないのである!本人が言わないということもあろうが、絶えずその姿・形は変わっているのである?!ただ、それを眺める人間が、勝手にそう決めつけているだけなのである?!

ここで思い起こされるのが、かの有名な鴨長明の「方丈記」である?!他にも、こうした世界?を論じたものがあるのかもしれないが、やはり私は、その冒頭の句を思い出すのである!確か、「世の無常」について論じていたものであったと思う。ただし、その「無常」は、なかなか厄介な代物（概念?）のようではある?!少なくとも、「無情」ではないことは、明らかではあるが…



## 11 雲は天才！どこかで聞いたその台詞?!あの場所の上でも、それが言える?!

雲は天才である！どこかで聞いた台詞?であるが、ここ「私の東シナ海」からも、それは実感できる！これまで海自体の眺望ばかりを、ある意味意図的に語ってはきたが、実は、その海の上の空、そしてそこに浮かぶ、あるいはそこを流れる雲の様子も、私にとっては、鑑賞（感傷?）の対象ではあるのである！

ただ、余りにもそのことは、無邪気過ぎるし、そもそも甚だ陳腐なのではないかと、思っただけなのである?!それこそ、多少疲れた初老の紳士?には、不似合いなのでもある！しかし、書きようもあるのではないか?!そこで今日は、少しだけ、その雲に焦点を当てて、語ってみることにしたい！だが、もちろん別の意図の下に、ではある！

ちなみに、その「雲は天才である」という台詞?は、何と！あの有名な石川啄木の小説のタイトルであった！てっきり、名前は忘れてはいるが、小学校時代の国語の時間に出てきた、誰か（ちょっとだけ有名な?）の詩のタイトルだと思っていたのだが、調べてみると、何と驚くなかれ、啄木の小説名だったのである！

自称、啄木ファンの私でもあるので、彼の短歌、あるいは彼の生涯（境遇?）については、少なからず知っているつもりではいたが、と言うか、どこかで自分の生き様を重ね合わせながら、それもかなり自分勝手に共感しながら、彼の短歌を受け止めていた私ではあるので（ただし私の場合は、とてもじゃないが、人から、共感というか、憐憫の情を貰えるほどの生き様など、してはきていないが!）、このことについては、全面的に恥じ入る次第である！

とは言え、ここでは、その啄木の世界ではなく、純粹に?「私の東シナ海」から見える、様々な雲の様子を、実はもう一つ、「私の東シナ海」から見えるある場所（その場所は、私の2階ベランダよりも高い所にあり、その正面方向に横たわっているのであるが、直接その光景を見ることはできない!）と絡ませながら、多少語ってみたいと思うのである！日によって、その光景（飛来する機種、もちろんあの「オスプレイ」も含めて、その姿・形や轟音の様）は違うが、同じその上空を気儘に行き交う雲と違って、そこに降りるという強大な意思が、それぞれの物体にはあるように思われる?!

その何よりの証拠が、幾つか林立する、進行方向真下の高い住居・建物目がけて、まさにすれすれに、しかも迷わずに向かっていくように、降下していくことである?!果たして、その物体の降下先は、言わずと知れた「普天間基地」であるが、そこに飛来する各種の飛行物体は、何をしに、そこに降り立つのだろうか?!残念ながら、その個別の目的は、私には知る由もない!ただ、見慣れない人々にとっては、異様であり、ある意味許しがたい光景であることは間違いないであろう!しかし、今となっては、この光景もまた、「私の東シナ海」

の一部なのであり、それ故にまた、私の日常の一部にもなっているのである！

- ・ 雲は天才！ 無邪気に それを言える人  
まだまだ君は 伸びしろあり?!
- ・ 雲の7変化 ある時は動物 ある時は人間?!  
そこに行き着く 理由<sup>わけ</sup>などあるか?!
- ・ 流れる雲よ 湧き上る雲よ！  
真下に見える 異様な光景 いかで見えなむ?!
- ・ そこにある！ ただそれだけの 理由<sup>わけ</sup>により  
周囲<sup>ひと</sup>を感<sup>も</sup>わせ 諍<sup>もと</sup>いの原因ともなる?!
- ・ 迷惑の 受け入れ形に 得たものもある？  
だが受け入れ自体は 自らの選択でなく！
- ・ 受け入れるのは 自らの人生?!  
だからこそ 反目もあり また是認もある?!

(8月27日)

## 12 沖縄への台風は、何処へ?!それは、別な台風?!が居座っていたためか?!

私が、余りにも心配したためであろうか?!この夏の台風の到来が、いつもとは違う!台風そのものは、例年通り南の太平洋上に発生しているのであるが、あまりにも東の方で発生しているため、沖縄(本島)への接近、上陸が、現在、ちょっとだけ気になる台風(10号)もあるが、今のところまったくない!ただし、度々の驟雨もあり、暑き夏とは言え、水不足の心配はない!気温も、最近では、ある意味恒例となっているが、本土の方が高くなっている!

いずれにしても、沖縄への台風の接近の様相が、いつもと違って、甚だしく異なっているのである!要は、太平洋高気圧の弱さ、日本近海の海水温の高さ、そしてそこに生じる「モンスーン渦」、そうした一連の気象条件が、沖縄への台風の接近の様相を、著しく変えているようである!

ところで、こうした状況で、よくよく考えてみると、その異変の原因に思い当たる節が、もう一つある?!実は、我が家に、先月末から居座っている、もう一つの台風?!があった!宮崎県に住む長女一家が、夏休みを利用して、長期の滞在をしていたが、さながら男子3人の孫達(双子の小2二人と1歳半の幼児)が、毎日が台風のように、我が家を席捲していたのである!昨日(23日)、宮崎に戻ったが、それこそが、今回の「台風一過(一家?)」ではなかったのか?!私には、そのようにも思えるのである?!

そういうことで、多少悪ふざけにも聞こえるかもしれないが、今年の夏は、それこそ3人の孫達との格闘?の日々でもあった!それにしても、女性のパワーというか、忍耐力というか、母親である長女やお婆ちゃんである我が奥さんのそれは、本当に強い!もちろん、そうせざるを得ないのであるが、私には、とても真似できない!結局は、大声で怒鳴ることにも、なってしまう!

そんな日々であったが、この間、4年に一度のオリンピックあり、夏の甲子園あり、さらにはまた、東京での、長女の小学生時代の友達家族や夫婦の来沖・来宅ありで、本当に夜も昼も大変であった!

これまでの夏からは想像もできない、多種多様、そして多忙な毎日であった!おかげで?パソコンに向かう時間も十分には取れず、物書き自体は、ほとんどできなかつた!これから、挽回せねば!!しかし、私の「東シナ海」は、そんなことはお構いなし?!今、蒼碧の海面には、久しぶりの白い波頭が立っている!



### 13 次第に、秋の気配?!海は、蒼碧と青藍の二分面、そこに揺らめく白き波!

そろそろ、8月も終わる!昨年までは、この時期から、「本格的な夏休み」を迎えていたものである!大学の夏季休暇期間が、世間のそれと、かなりズレてしまったのは、もう随分前のことである。しかし、やはり今年は違っている!ある意味、既に世間一般の夏休み?を享受しているからである?!

それにしても、今日の「私の東シナ海」は、まさに絵に描いたような、手前の海岸部近く、沖縄では、いわゆる「イノー」(サンゴ礁湖)と呼ばれる部分であるが、その蒼碧(コーラル・ブルー)の面、一方、その沖合の部分は、まさに青藍(コバルト・ブルー)の面で、そのそれぞれが帯となり接し合い、そこに生じている、まっすぐな1本の境界線が、湾上の海面に延々と横たわり、「私の東シナ海」を二分している!こんな光景は、今まであまり見たことがない?!

改めて、何と美しいことか!これはやはり、秋の気配を感じさせるものなのだろうか?!まだまだこの時期(季節)は、ここでは経験していないので、何とも言えないが、思い出すと、昨年11月の初旬に、この美しい光景に出会っているはずなので、やはりこの美しい、まさに最上の光景が見られるのは、この時期以降なのかもしれない?!

何度もくどいようだが、この光景、とりわけ2階ベランダ越しの眺望が、後から色々と、予期せぬ事態、状況が判明はしてきたが、入居を決めた、まさに唯一の理由だったわけでもある!今日は、しかも、その、延々と横たわる二重の帯を境にして、それぞれの面上で、うねりに伴う白い波頭が、激しく動いていく!

そう言えば、数日前から、北東風が、昼夜、それなりに強く吹いているが、この風は、この時期特有のものなのか、それとも、今現在も奇妙な動きを示している台風(10号)の影響なのか?!私には分からないが、台風の本風ではないことだけは確かであろう?!だが、かなり強い!これは、この家の立地の為せる業(宿命?)なのかも?!この夏休みの間に、本土(特に東北・北海道)にとっては、一種の天変地異とも言える、異例の襲来が続いているが、やはり本格的な到来は、これからであろう?!改めて、その台風の猛威が、危惧されるころではある!

ところで、先日(27日)、今年度第4回目の研究会を行った!今回は、主として島嶼文化教育コース時代の卒業生を中心に、現在学校教員、とりわけ小学校教員になっている、あるいはそれを目指している若者達?に呼びかけた、否、そのつもりであった?!たとえ、ミニ同窓会的なものになっても、とにかく顔を出し合おうということであったわけである?!

従来、この8月、そして9月は、学生が夏休みであることから、この種の研究会は行ってこなかった!しかし、8月は、逆に卒業生、つまり学校の教員達

は、いつもの月より足を運び易いのではないかとも思い、まずはその呼応者を募り、ごく少数であったとしても、その芽出しとして、集ってみようではないかということだったのである！

ただ、予想（本音？）と違って、それ以外の人も多々集まってくれて、当初予定していた卒業生達にとっては、多分、今となっては懐かしい？教 209 室（要するに、私の研究室！）も、結果的には、まことに窮屈な、そして何より奇妙な出会いの場ともなってしまった！いろいろあるとは思いますが、すべて結果オーライであって欲しい！ただ、それだけである！次回があれば、それでいいのである?!

- ・ <sup>あ お</sup>蒼碧と <sup>あ お</sup>青藍の 見事な接合！  
白き<sup>しぶき</sup>飛沫は それを綾なす?!
- ・ 海は広いな 大きいな！  
遥か沖には <sup>くも</sup>小雲と<sup>みまが</sup>見紛う 船も見ゆ！
- ・ 爽やかな 風だとも思うが 何故に震える?!  
庭の草木は やはりか細き?!
- ・ 久しぶりと 懐かしさ?!  
ただ それだけでは 次は見えまじ?!
- ・ それぞれに 今を生きにし 若者達！  
集いし意味は 何処にあるか?!

（8月31日）

#### 14 避けては通れぬ、「沖縄の意味」?!だが、まだ書けぬものあり?!何故か?!

下の短歌と付帯詩?は、確か沖縄に来て、5年くらいが経った頃のものであろうか?(今回、若干加筆!)多少沖縄のことが分かりかけてきた、そしてそれを、誰かに伝えたいという思いが、秘かに募り始めていた頃であろう?!かなり気取った文章であり、やはり、若かったのもあろう?!しかし、そこに書かれている想いは、多分嘘ではないし(誇張はあろうが?!)、今でもそれは、心の奥底では、変わっていない?!だが、何かが変わっているようにも思う?! そう!書けていないものが、そこには厳然と、あるようにも思われるのである!

果たして、それは、何なのか?!そして、それは、一体何故なのか?!多分それは、この「私の東シナ海」を見続ける間には、分かってはくるであろう?!ただし、その時期がいつなのかは、まったく分からない?!とにかく、これからは本気?で、気取らず、気張らず、焦らず、そして、さりげなく生きていこう!今日もまた、「私の東シナ海」には、幽かに白き波頭がたゆたっている!!海面の色は、多少薄い青藍一色である!これもまた、珍しい光景である?!

<沖縄>

○ 悠久の <sup>と</sup>時間<sup>を</sup>流れし 遥けき島  
伝える情けに 何をか語らむ?!

青い空、エメラルドの海、白い砂浜、照りつける太陽<sup>ていだ</sup>、まったりとした木陰、ぬめやかな潮風。辛い歴史の日々、張り巡らされた不気味なフェンス、耳をつんざく飛行機音、軍用トラックの異様なヘッドライト。ちゃんぷる一文化と古典文化の共存共栄、<sup>さんしん</sup>三線と踊り、ロックとダンス、赤瓦とコンクリート建造物、ゴーヤと豚足、<sup>やぎ</sup>山羊汁と味噌スープ、etc. 形容は限りなくある沖縄。全てが今を彩っている。沖縄とは、一体何?それを見つめるあなたたちは、一体誰?

○ 沖縄に <sup>うむ</sup>生まれし人の想いとて <sup>ゆえ</sup>故ありそこに<sup>い</sup>寄留る人の  
<sup>うむ</sup>想いは同じ 「<sup>さち</sup>幸」の一文字?!

受け入れられていると、思える時もあり。また、やはり、受け入れられていないと、思える時もある。沖縄の「<sup>さち</sup>幸」は、複雑である。だが、それは乗り越えられねばならぬ。今いる人の、それこそが現実なのだから。とは言え、沖縄の現実はまだ、そうした「<sup>さち</sup>幸」の複雑さを、いい意味で拡散させてくれている。気取らず、気張らず、焦ら

ず、さりげなく、そこにあるものに出会うだけ。私もまた、そこにおける<sup>にちじょうびと</sup>日常人！

○ 断罪を どこかで意識す 我が<sup>うまひ</sup>想い

いつしかその<sup>きわ</sup>際 怪しげに?!

本土と違うと思えば、途端に、その違いが掻き消される沖縄。その逆に、違わないと思えば、その違いを、即座に見せつけられる<sup>うちなー</sup>沖縄。沖縄を語る私に、もっと沖縄を知ってくれと訴える<sup>うちなー</sup>沖縄。沖縄を知らないと言う私に、よく知っていますねと、囁きかける<sup>うちなー</sup>沖縄。沖縄にいと、自分がなくなると言う<sup>ほんどじん</sup>本土人。沖縄にいなければ、自分がないという<sup>やまとんちゆ</sup>本土人。沖縄のことをあれこれと知り、私にも尋ね、私をも沖縄にしようとする、本土の<sup>やまとんちゆ</sup>本土人。私を通して沖縄を知り、沖縄を感じたいと言う、これまた本土の<sup>やまとんちゆ</sup>本土人。私の沖縄は、一体何？そして私は、一体誰？

○ 沖縄を 南の<sup>ち</sup>玄関口にせむとても どこへと<sup>ち</sup>続く玄関口なのか

<sup>やまと</sup>日本はあまりに 迷路なり?!

沖縄から、<sup>やまと</sup>日本が見えることあり。逆に、<sup>やまと</sup>日本から、沖縄が見えることあり。但し、それがどのように、一本の道として迎えるのか?!<sup>うちなー</sup>沖縄は今、日本と沖縄の二重構造を、せっせと作り上げているのかもしれない?!内と外には、違うベクトルが働く！為政者よ、心してかかれ！自分であって、自分でない<sup>うちなー</sup>沖縄。私であって、私ではない私！沖縄は、永遠にアンヴィバレンツな島なのかも?!それを解くのは、やはり<sup>うちなーんちゆ</sup>次世代?!

(9月5日)

15 こんな時もあった?! これらを創った日々は、一体どんな日々だったのか?!

私は たんぽぽ

白木照夫 作詞/堂本彰夫 補詞・作

1. お花畑に出かけたの

2. お花畑に出かけたの

爽風<sup>かぜ</sup>に誘われて

白雲<sup>くも</sup>を追いかけて

白いたんぽぽ飛んだわ

白いたんぽぽ跳んだわ

口づけしたら

小指でつま弾けば

それはきっとあなたに

それはきっとあなたに

届くのね

届くのね

お空の向こうの

お空の向こうの

小さな野辺へ

小さな木立へ

私は飛んで行きたい

私は跳んで行きたい

爽風<sup>かぜ</sup>に誘われて

白雲<sup>くも</sup>を追いかけて

独りぼっちのあなたの

独りぼっちのあなたの

肩に止まるのよ

肩に止まるのよ

上の歌は、私が学生時代に、友人の白木照夫（本名！）氏？と一緒に作ったものである！今では、とても考えられないような、怪しげな所業？であるが、そこに示されているように、補詩・作曲したのは私である！ただし、残念ながら、私は、音楽の専門家ではないので、メロディを譜面に落とすようなことはできなかった！その時奏でたメロディ（いわゆる即興！）を、ただ頭？で覚えて、思い出し、歌ってきただけである！しかし、不思議なことに、今でも歌えるし（上手かどうかは?!）、下手なギター伴奏（もちろんコード弾き）もできるのである！

だが、当然、多くの人達は、この歌の存在は知らないであろうし、今は、こうしたギター伴奏をしながら歌うことなんて、ほとんどやっていない！否、本当は、この曲以外はできないことを、予め断っておいた方がよいであろう?! それはともかく、問題は今、この「眺望記」に、この歌を載せたのかである！

早速、その理由であるが、おそらく既にお気づきの方もおられようが、この「眺望記」は、私のこれまでの人生を（直接的には、沖縄でのそれが中心ではあるが）、ひょんなことから、新たに住み出すことになった、ここ宜野湾・大謝名の拙宅から見える「東シナ海」の眺望にかこつけて、思い出したり、そこで去来したりする様々な思惟物？を、一つの「形」として書き記しておきたいという、私の秘かな想い、願望を表すものでもあるのである！

故に、過去において書き記していたものも、たとえ若き日（学生時代等）の

ものであったとしても、必要であれば、ここに入れておきたいのである！否、むしろそうした部分も、積極的に組み入れたいのである！もちろん、気恥ずかしさもないわけではないが、その後の私の原点（格好良く言えば、「心の原点」？とでも呼べようか?!）は、ある意味、そこにあるからでもある？！

ところで、今のところ、この歌と「私の東シナ海」とは、直接的には結びつかない！ただ、学生時代（特に学部時代、とりわけ2～3年次頃？）の私と、その後には繰り返されていく、長くて、辛い？正職への道のり（もちろん、私より、さらに厳しい日々を送った人もいるであろうが?!）、そして、その後の、ある意味奇跡的な？社会教育との出会い、それが、まがりなりにも、これまで延々と続いてきたのであるが、そこにおいて、強いてその共通点を見出すとすれば、ある理想（自らがそうであるべきと思うこと?!）を持ちながら、一方では、その時々、目の前にある諸現実（人間関係も含めて！ひょっとしたらマスコミ対応も?!）に苦慮し、結局は、自らそれらを忌避する方向で動いたとも言えるのかもしれない？！

そして、おそらく他方で、そのことに対する腹立たしさや悔しさを、ある種の意地？としてカムフラージュするために、悲哀とか浪漫とか？を演じるための言葉や文章（下手な詩や短歌であるが！）を持ち出し、自らの世界を創出し、そこで酔っていただけなのかもしれない?!まさに、上記の歌は、そうした私（達？）の演技？の一コマを、表すものでもあったかもしれない?!ただし、それは、いわゆる青春時代特有のものとも言えるであろう？！

とにかく、その時とは違って、既に60代半ばになった今、果たしてそのような心情あるいは言動が、新たに？許されるのかどうか?!本当は、理想の実現とは、その時々、目の前の諸現実と真摯に向き合いながら、そこに横たわる障壁を、逃げずに粘り強く、一つひとつ取り除いていくことでしか、実現できないのではないか？その意味では、理想とは、完全には（あるいは一挙には？）実現できない代物なのではないか?!言い換えれば、少しでもそれに近づくことを目指す行為、あるいはそれを目指している状態こそが、意味あるものではないか?!

だが、それが分かっている、否、分かったとしても、今の（究極の？）私には、そうした分別？は不要なのである?!ある種の、あの学生時代の頃の私が、再び（最後にまた？）頭を擡げてきたとも言えるのであろうが、今回のそれは、言わば納得のそれなのである！そのことによって、誰も困らせてはいないからである！ただ、多分？一人の人を除いてではあるが…。末尾になるが、今日の「私の東シナ海」は、まるで梅雨時期のように、数日来続いている降雨のために、薄暗い灰黒色の雲&霧に、すっぽりと包まれている！何も、見えない!!

(9月8日)

16 年齢（とし）を意識すること、若き日の己に未練があるのは、半ば当然?!

今日は、三女の誕生日である！もちろん、何歳（それなりの年齢？）になったのかは分かっている！とにかく、大いに祝いたい！しかし、複雑な心境も同居する?!それは、一体何故なのか?!その年齢（とし）が、彼女にとって、（将来？）どういう意味をもつのか、私にはまったく見当もつかないが、大きな転機であって欲しいと思うからである！とは言え、多分、こんなことを、遠く離れた沖縄の地で、他ならぬ父親に思われていようとは、ついぞ思っていない三女ではある?!

それにしても、どういう心境で、今日一日を過ごすのであろうか?!相変わらずのノンビリ屋さん?で、普通に仕事?をして、普通に孤食?するのであろうか?!まあ、それはそれで、よいではないか?!嘆いたり、焦ったりするのは、まだまだ早いし（本当に、そうなのではある!）、そもそも、あの三女には似つかわしくはないのである?!これは、あの次女だって、そうではある?!

ということで、柄にもなく、今この瞬間（多分、「だけ」?!）、心優しき?父親を装おうとしている私なのであるが、ただし、こと自分の年齢（と言うよりは、その風貌?のことではあるが）のことになると、最近は、特に敏感となっているような気もする?!我が奥さんには、冷たい?嘲笑の眼差しを向けられること必定ではあるが!嘘偽りなく、自分の顔（の老化?）には、ほとんど嫌気がさしてくるのである!朝起きて（あまり早くもないが!）顔を洗い、鏡に映った自分の顔を見る時、あるいは日々のまにまに撮ってもらった写真やビデオで、我が顔、我が姿を見る時、本当に、それらを受け入れ難い自分があるのである!

往生際が悪いとか!とか、何を格好つけているのだ!とか、はたまた、あなたは、まだ若い!あなたより悲惨な?人は、他に沢山いる!あなたは、そういう人達のことを、ある意味侮辱?しているのか!なんて、いろいろ言われそうであるが、そう思うのでから、仕方がない!そう!何回も言うようであるが、今の私は、決していい人ではないのである!

とは言え、そこには、もう一つの側面があることが、分かってもらえるだろうか?!形の上では退職もし、悠々自適の生活を始めているようには見せてはいるが、実はまだ、やり残したことは多々あるのであり（新たにやり始めたことも含めて!）、年齢だって、本当は（世間一般から言えば?）、老け込むにはまったく早いのである!そういう自分が、ほとんど何も知らない他人?から、（敢えて?）まだ若いのにとか、やるべきことはまだまだ沢山あるでしょうとか言われるのは、二重の意味で、悔しいというか、やるせなく思えるのである!

うまくは言えないが、一つは、単純に、その事実?を認めざるを得ないこと、もう一つは、その事実?に抗うように、若き日の雄姿?が忘れられず、それを懐かしく、しかも愛おしいと思っている自分が、確かにいるということである

うか?!それはまるで、繰り返し寄せては返す、今日の「私の東シナ海」の、あの蒼碧(あお)い海原から発する白い波のようでもある?!岸边に寄せる白波も、実は蒼碧(あお)い海原の一員(ほんの一時、見える色、形が違うだけ!)なのである!いずれは、それも、あの蒼碧(あお)い海原に戻っていくのである?!

・ 公園にて <sup>こ</sup>甥<sup>ら</sup>たちと遊ぶ <sup>むすめ</sup>次女・<sup>たち</sup>三女!  
往時の姿 懐かしき?!

・ 孫らより <sup>とし</sup>年齢<sup>ゆ</sup>ゆく娘らに 目を向ける!  
このまま<sup>とき</sup>時間が 止まればいいとも?!  
※ 2015年12月29日 宮崎県の、とある公園にて

・ 朝起きて 老け顔映す 洗面鏡!  
これが君だと 諭すよう!

・ 写真やビデオ 思い出さすは 楽しき日々!  
だがあまりに違う 我もいて?!

・ 繰り返し 寄せては返す 白き波!  
<sup>あ</sup>蒼<sup>お</sup>碧<sup>き</sup>海原 いかにかに受け止む?!

(9月13日)

## 17 今のところ、直撃もなく、南国なりの秋の訪れも?! 碧き海に、何を見る?!

先日、久し振りに、台風の実感があった! ただし、この言い方は、例年の沖縄からすれば、似つかわしくない表現である! 要は、先の16号までは、沖縄には、ほとんど台風の直撃もなく、その16号も、八重山地方(与那国島を含む)を襲ったものの、私の住んでいる本島には、直接の襲来はなかった! ただ、この間、台風の余波? 等で、強い雨や風に、少しは悩まされた時も、あったことはあった! とは言え、通常言う、台風による「実害」は、こと、これまでは、ほとんどなかったということである!

こう言うと、今夏、度重なる台風の襲来に、多大なる被害や迷惑を被った本土のみなさんには、大変申し訳ないのであるが、事実がそうなのであるから、ある意味仕方がない?! そんな折、幽かではあるが、涼やかな風が、今朝のペランダを渡ってきている?!

ところで、そのこととはまったく関係のない話であるが、最近ほとんどやっていたいなかった? 夜の外出であるが、今は消滅してしまった?!、ある教育コース(10年間続いた!)のミニ同窓会や、3月までは学部の教員仲間であった、某小学校の校長達との怪しげな? 飲み会(卒業生を交えた!)、さらには昨日(21日)の社会教育実習での打ち上げ(お疲れさん会?)など、それなりに家を空けている?! (多分、我が奥さんは、秘かに喜んでいる?!) これが良いことであるかどうかは、何とも言えないが、そこにあった(感じた!)、人の情というか、縁というものの有り難さが、今少しだけ? 身に染みているような気もする?!

尤も、そういう人達とばかり出会っているのであるから、そう思えるのもあろうが、近年、その、人の情とか、思い遣りの心みたいなものの喪失を、ある意味具に、しかも痛切に感じてきた私にしてみれば、その喜びを思い出させてくれるものであった。そうしたことを実現させてくれる人や卒業生達(その一部ではある?!)との出会い、再会は、これからも、大切にしていかなければならない、そう思ったということである!

さて、そうこうしているうちに、長かった? 大学の夏季休暇も、そろそろ終わる! 実質的な(最後の!)ゼミ生である4年次の3人は、9月末までは、例の「教育実習」中なので、ゼミとしての集まりは(遊びや飲み会も?)、まったく持てない! とは言え、これまでも、実はこの9月は、1年で一番暇な? 時期であり、ここ数年は、自らの専門はそっちのけで? ある分野の本や資料、さらにはインターネットを通じての読書? 等が、主だった?!

だが、このことは、やはり当分の間(知っている人は知っているが!)、口外しないでおくべきであろう! 眼前に見える、いつもの、あの碧い海でさえ、いろんな顔を持っている! その顔すべてが、表の顔ではないのだから! 違うのは、今日の、その碧灰色の海が、自らの表や裏などといった自覚がないことであ



## 18 やっと直撃?!だが今はまだ、碧き海は静かである?!結局、どうなったか?!

やっと直撃か?!現在（2日午後）、台風18号が、沖縄本島に向かっていている?!勢力も、だんだんと増している!雲の走りも、いつもとは違う（南行）!この後、この拙宅に越してきてからの、初めての台風対策を、妻とやることになった（ただし、指揮権?は、恥ずかしながら彼女にある?!）。心配なのは、もちろん、折角植えて育てている野菜や草花達である!多分、今回のような強い台風では、一たまりもないであろう!

ということで、鉢植えで、全滅しそうなものは、狭い家の中に入れることにした!残りは、風があまり当たらないと踏んでいる?横及び裏の狭い通路におくことにした。数は少ないが、2階ベランダの鉢植えも、然りである（地植えのものは、残念ながら目をつぶるしかない!）。何が飛ばされるのか、どのように潰されるのか、ほとんど見当もつかないが、一応大事な物と思しきものは、これも、狭い家の中に入れることにした!部屋は、それらの置物で、ほぼ占領されている!

一方、我々の、そんな心配や大騒ぎ?をよそに、「私の東シナ海」は、先程まではまだ、その碧き海面を静かに横たえながら（干潮時だったのであろう、しかも大潮で、海岸近くの海面の色が、多少黄土色がかっていた!）、その時を待っているように見えた?!繋がっているとは言え、これが、反対の太平洋側であれば、おそらくかなりの波しぶきがたっていたのかもしれない?!本当に、静かなのであった!

さて、そうこうしている内に、夕方を迎えた。だが、まだまだ風も、そんなに強くはない!雨も、ほとんど降っていない!そんな中、寂しがっている?私を案じた、3人の若者が訪ねて来てくれた!強い台風が近づいてきているのにも拘わらず、本当にありがたいものである!若干?しばらく会っていなかったので、近況等を聞かせてもらった。終わった教育実習の話とか、勤務している学校の話とか、まだまだ正式な立場ではないが、着実に歩を進めている感であった!

台風前の、ある意味奇妙な時間と空間であったが、急ごしらえのたこ焼き等も、妻が準備してくれて、そんなに時間は取れなかったが、楽しい一時であった!その時もまた、台風は、さらに勢力を増していたようで、60メートル級の風も、覚悟せざるを得なくなっていた!

ちなみに、一方で、この台風の被害?で心配なことがある!実は、明日から、大学の後期授業が始まるのだが、のっけ（月曜日）から休講になると、登録対応や授業準備に、非常勤の私としては、大いに支障をきたすことになる!しかもそれが、運悪く来週に先延ばしされると、来週の月曜日もまた、休講（→体育の日）となり、とんでもないハッピー・マンデーとなるのである?!

もちろんそうだと、大学側で、次善の措置が採られることになるだろうが、具体的にどうなるかは、今のところまったく分からない！困ったものである？！

ということで、遂次実況風の書き込みとなったが、結局は、今回も台風の直撃はなかった！やはり、喜ぶべきであろう！ただし、台風の恐怖がなくなったわけでは、決してない！とにかく、後期が始まった！

- ・ 今日<sup>の</sup>海 色<sup>の</sup>違いは あるとは言え  
まだまだいつもの <sup>あお</sup>碧き海?!
- ・ 明日になり いか<sup>に</sup>狂える <sup>あお</sup>碧き海?!  
雲の走りに 幽かな予感?!
- ・ 迫りし台風 待つ間?!  
若者達との しばしの飲談 懐かしき?!
- ・ 結局はこなかった 強き台風!  
騒ぎ過ぎの そしりある?! でも、それでよい?!
- ・ 騒がせた 強き台風 過ぎ去りぬ!  
後期に向けて いざ進まん!

(10月5日)

## 19 来たか?!本格的な秋の訪れ?!だが、沖縄はやはり、日中はまだまだ盛夏?!

改めて、本島西海の久米島の災害（特に長時間の停電による、特産の「車エビ」の被害）は、誠に気の毒ではあったが、台風 18 号は、私の生活には、ほとんど影響はなかった！それには、多少は申し訳ないと思っではいるが、とにかく、前触れも凄まじく、今度こそはと、本当に覚悟をさせられた台風であった！

気象庁に文句を言うつもりはないが、こうしたこと（過剰なほどの予報・警報の連続?!）が続くと、例の狼少年の寓話ではないが、実際の来襲（直撃!）となった時、どこかで気の緩み（どうせ、今回も??というような!）等が生じなければよいなあと、思ったりもした！また、備えあれば、憂いなしということにも、変わりはないのである！ただし、私の場合は、白状すると、それさえも、かなり覚束ない?!当然ではあるが、現実は、想像以上に厳しいものがある?!

そんなことを思いながら、今（8日）、多少は？秋の気配を感じさせる、2階ベランダの特設書斎?にて、かなりの時間「私の東シナ海」を眺めている！ちなみに、特設書斎?とは、私の部屋（これも、本当は書斎と呼べる代物ではないが!）を出てすぐの、ベランダの一角に常時置いている机?（たまにやるパーベキュー等の台座となっている、沖縄に来た当初買って使っていた、折り畳み式のキャンプ用机?）のことである！

時たま、涼しい風が体を吹き抜けないこともないが、まだまだ暑い（というか、湿気を多く含んだ）空気が、一帯を支配している?!時期的には、沖縄も、本格的な秋の訪れを迎えてはいるはずであるが?!、日中、とりわけ日が射している時は、まだまだ盛夏とも言える状況ではある?!風が止むと、本当に暑い!!

ところで、この「眺望記」シリーズの最初で、この眼前に広がる海（湾?）の名前を知らないと書いたが、今突然閃いた?!それは、他ならぬ宜野湾なのではないか?!それが、この地域の名前ともなっているのではないか?!そんなことを、思うのである！だが、そのように、地図上に記載され、土地の人もそう呼んでいるかどうかは、まったく定かではない！

しかし、そういうことは、私にとっては、どうでもよい?!今からでも、遅くはない！この海（湾）を、宜野湾と勝手に呼称することにしよう！なお、もちろんこの宜野湾は、遙か西方に、無限に？広がっている、まさしく「東シナ海」の一部である！そう、冒頭の久米島も、実は、この海（湾?）の遙か西方沖に浮かぶ、美しい島の一つでもある！最近は、一度も訪ねてはいない！

末尾になるが、今回もまた、昨日から、私一人の拙宅暮らしとなっている！宮崎（小林市）に住む長女宅に、妻は出かけているのである！本人は、体重減らしのためと言っていたが、本音のところはどうなのであるだろうか?!とにかく、3人の息子を育てている長女夫婦が、喜んで迎えている（助かっている?）のなら、私の多少の不便さと、小さな家と庭（畑も!）の管理の煩わしさ?は、

何ということもないであろう?!

ただし、この3連休は、かなり暇?である?!自由ではあるが、生身の人間との会話?もできない?!結局は、目の前に横たわる「私の東シナ海」を眺めながら、大いにパソコンを叩くしかない?!そうなのだ!私は、自称(僭称?)、「物書き」なのだ?!

- ・ 過ぎ去りし 台風<sup>あと</sup>の惨禍 海<sup>う</sup>(湾<sup>み</sup>)には見えじ!  
そこに繋がる 久米島<sup>しま</sup>は辛き?!

- ・ 宜野湾は 地名でもあり 海<sup>う</sup>(湾<sup>み</sup>)でもある?!  
ひとり合点<sup>がてん</sup>の この眺望<sup>けしき</sup>!

- ・ 水平線 何故に真直ぐ?!  
丸い地球の 視野の果て 本当に曲線なのか?!

- ・ 又しても 妻はいないが 何とかなる?!  
とは言え食事は 甚だ面倒?!

- ・ 「物書き」と 宣言するも 妻は応えず?!  
それでよいのだ! とにかく書ければ?!

(10月8日)

## 20 我が想い漂えるままに！繋がるあの頃?!かの「納得」は、今?!

本コーナーの別シリーズ「教育への思い」⑱は、「我が想い漂えるままに」と題した、平成15年4月頃の私の、短いエッセイ?である!現在の、私のパソコンに、それまでの、ほとんどの個人用データを移し入れた際に、あるフォルダーに入れておいたものであるが、これまで、ほとんど見向きもしなかったもの(文章)である!だが、どういうわけか、昨日(12日)の夜、ふと開けて、見てしまったのである!

そのシリーズに相応しいものかどうか、若干怪しいところもあるが?、これもやはり、私の「教育への思い」という意味では、今でも同感?する部分があり、何らかの場所に留めておきたいという思いから、敢えてああいう形で闖入?させてもらった次第である!何せ13年余前の、拙い(今でもそうだが?!)、そしてかなり乱暴(下品?)な表現もあるので、気恥ずかしさの方が先行するが、いわゆる「50歳」を過ぎて、いろんな意味での振り返りをしていた時の、私の心境の一端ではあるので、一種のメモリアル・ピースということになるだろうか?!

基本的には、当時のままの文章であるが、編集の都合上、一部補筆または修正を加えている部分もある!いずれにしても、「ああこの辺から、既にその兆候があったのだなあ!」と、今更ながら一人嘆息を漏らしてもいるが、考えてみると、それ以降の私は、まさにそこから、新たな(途中、変な病魔?に苛まれた時期もあるが!)出発?を考えていたのかもしれない?!

その新たな出発?も、今年の4月から、また再び、更なる新たな出発?を目指すことになったわけであるが、正直言って、どれも、あまり報われていないようにも思える?!でも、それはそれでよい?決して、報われていないわけではないのだから?!

ところで、先のエッセイ?の中のある部分が、まったくの中途半端となっており、今回の「教育への思い」の部分には、載せることができなかった!そこでは、「納得」ということについて書こうとしていたようであるが、何故か、ほとんど書かれていないのである!後で書こうとっていて、結局は、そのことを失念していたのか?、ひょっとしたら、それは、当時の私の、あの病気の発覚(というより、その予兆?!)のせいかとも思われるが、とにかく、そこには、「人生において最も重要なことは、その人が、自分の人生をどう納得するかであると私は思う。

どんなにみじめな人生であろうと、どんなに辛い人生であろうと、そのことを、どうその人が納得するかということである。」ということだけが、書かれている!本当は、その時どんなことを書こうとしていたのか、今ではすっかり忘れてしまっているが、今の今、それを継ぎ足すとすれば、どうなるのである

うか?!

とにかく、この「東シナ海眺望記」でも何度も口にしているように?!、人はやはり、自分の人生をどう納得するかということが、一番重要であろうということである?!ただし、ある意味当然ではあるが、その納得は、人によって千差万別である!極端に言えば、「納得していない!と言う納得?!」も、あり得るわけである?!表現の仕方は、その人の価値観・性格も含めて、様々にあるということである!

今、台風でもないのに雨交じりの強風が吹き、目の前の「私の東シナ海」は濃霧に包まれている!だが、あの爽やかな秋空は、すぐに戻る?!

・ 数々の過去 奈辺に漂う?!

海(湾)の如<sup>ごと</sup> そこで繋がる 我が想い?!

・ 「納得」は 実に便利な 終着駅?!

されど心模様は<sup>こころ</sup> 途中駅?!

・ 「納得しない!」 納得もある?!

この意味 分かる<sup>とき</sup>年齢が 人には来る?!

・ 留守してた 妻が戻れば もう安心?!

これが本音だ 今の我?!

・ 彼方に浮かぶ 私の東シナ海<sup>うみ</sup>

寄せては返す 白き波! 音は聞こえず?!

(10月13日)

## 21 10月下旬なのに、今年の沖縄は、本当に暑い!!一体、何故だ?!

今日(22日)は、最近では珍しい、あの深い蒼碧の海面が、「私の東シナ海」全体を覆っている!ただ、今はそれが、満潮時だからであろう?!だが、今日の私には、そんなことは、ある意味どうでもよい!既にもう10月下旬を迎えているのに、今年の沖縄は、いつまでも暑い!!一体、どうしたというのか?!

しかも、その暑さとは、多分絶対に関係ないであろうが、例のあの場所に降下する、凄まじき轟音を発する物体(戦闘機?!)、あれは、一体何なのであるのか?!本当に最近では、その頻度が凄い?!出来れば、その理由くらいは知りたいものである?!マスコミよ!そちらの情報も追ってくれ?!(と言っていたら、やはりその騒音の酷さが新聞に載っていた!確か、100デシベルを超えていた?!やはり、みんなも感じていたのだ!だが、その先の情報は分からない?)

ということで、最近、多少(かなり?)生理的には、イライラしていた私であるが、昨日、沖縄県の教員採用試験(二次試験)の結果発表があった。1昨年の二人の卒業生が、見事?合格したようである!二人とも、よく頑張っていたようなので、本当によかった!改めて、「おめでとう」と言いたい!よく考えてみたら、直接のゼミ卒業生としては、久しぶりの教員採用試験合格である!季節外れの暑さや上空の騒音を、しばらく忘れさせてくれる?!否、当然、それとこれとは別である!暑いし、あれはうるさい!でも、やはり、快挙である!

ところで、そうこうしているうちに、もう一人、さらには、他県のもう一人からのそれがないことに気がついた?!今のところ、その若者達?からの知らせがないのである?ひょっとしたら、今回もダメだったのであるのか?!

もし、そうだとしたら、いつもそうであるが、なかなか複雑な心境となる?!でも、現実には現実?!それを受け入れなければなるまい?!まだ本当の結果は分からないが、次がある!辛いであろうが、少し休んで(忘れて!)、何とか次を目指せ!多少の順番の違いは、きっと、いずれ笑殺できる!それを信じて、頑張れ!!

追伸: 今日、暑い暑いと叫んだ?からであろうか、夜になったら、それなりの涼しい風がベランダを吹き抜けている!やはり巡ってくるのだ!湾(海)を圍繞する、多種多様な建物?群の赤く(橙?)、鈍い光が、いつものように、その湾形を浮かび上がらせている!ただし、海面自体は見えない!(と言っていたら、さらに鈍く、暗くなった?!12時を過ぎたのだ!)やはり、深夜?の湾(海)は、静謐だが、淋しい?!でもまた、しばらくしたら、明るくなる?!(だが、今の私には、その早朝の光景はない?!そう、再び不健全な若者?!になっているのだ!)



## 22 移り住んで 11 カ月！大体分かった?!1 年間！今、語るもの?!

1 昨日から、11 月である！先週あたりから、やっと涼しくなった？（というより、湿気が少なくなった！）、ここ沖縄の地であるが、考えてみると、移り住んで、早 11 カ月余が過ぎた！今年の今頃、我が奥さんと一緒に、それこそ血眼になって、相当な期間、新たな住処を探し求め、やっとの思いで（ひょんなことから？）、この家に辿り着いていたわけである！心配していた、猛烈な台風?!の直撃もなく、必要最小限?のリフォーム（これで、随分住みやすくなった!）と念願の畑耕作（土いじり?）もでき、まずは上々の 1 年だったように思う。

仕事の方も、非常勤という身分になり、随分と肩身の狭い?立場にもなったが、幸いゼミ?4 年次の理解と協力で、授業や研究会等も、それなりにスムーズに（成功裏に?）行うことができた！そして、何よりも、私にとっては、自由に（無邪気に??）物を言ったり、書いたりすることができる、まさにこの状況が有り難いということである（今までもそうだったのでは?という人もいようが、やはりそれは違う！私なりに、気は使っていたのだ!）。

そんな中で、やはり一番大きいのは、このコーナーも含めた、「ホームページ」の存在であろう?!これまでも、「南風の国から」という研究室通信?を、幾多の紆余曲折を経ながらも?!、その時々々の学生達と一緒に、長年作成・発行していたわけであるが、何せ限られた時間、限られたスタッフ?そして、限られた思い?で出していたこともあり、その一つ一つが、どこか尻切れ、不消化で終わっていたようにも思うのである?!（その時々々の学生達には申し訳ないが?!）

もちろん、それらは、全体を通して見ると（一応セットで保存している!）、自画自賛的ではあるが、なかなか味のあるものではある?!しかし、それは、最早一人の人間の文学的?（孤独?!）な彷徨の一コマに過ぎず、本人だけの思い出の焼き直しとしかならない?!幸い、現在のようなホームページであれば、常に広く開かれており、しかも新たに参入してくる人も、ある意味同じ時空を共有することもできる?!

誰が、どこを、何のために見ているのかは、少なくともアクセス数だけでは分からないが（そこがもどかしい!）、とにかく、この時空が、今の私にとっては、本当にかげがえのない必需品?ともなっているのである！こうした環境（装置）を創ってくれた若者達よ！本当にありがとう！

ただし、それが、本当は私が期待している双方向の関係というものになってくるといって、残念ながら、今のところは?そうではない?!見られているだけ?、と言えるであろう?!

ということで、まずは、それでもいいかと（そういうものでもあるわけだから?）、自らを宥めているわけでもあるが、それはあたかも、今の学生達（主

として3年次、否2年次も?)との関係のようでもある(授業や研究会に、ただ顔を見せてくれているだけ?)?!そしてまたそれは、今、あたかも目の前に広がる眺望を、「私の東シナ海」と称し、勝手に心を通わせようとしている、私自身の所作でもあるようである?!双方向は、言うのは簡単であるが、実は本当は難しいのである?!

- ・ 研究所と いう名の居場所 有り難き?!  
そこで救われる 幾多の我?!
- ・ アクセス数 それが何だと 思う時ある?!  
だがとにかく まずはどこから?!
- ・ 授業(単位)と <sup>じゅぎょう</sup> サークル 何故こんなに違う?!  
仕方がないが やはり哀し?!
- ・ 「岳陽」と いう名の機関誌 何求む?!  
それが出せねば 名の意味なし?!
- ・ それでよし?! まずは書くことから 始まるのである!  
<sup>のぼる</sup> 呼応する「岳陽」は <sup>あさひ</sup> いつか顔出す?!

(11月2日)

## 23 寒く？なったかと思えば、穏やかな晩秋?!気分も爽快！何故?!

やっと涼しくなったかと思っていた矢先、ここ沖縄でも急に寒く？なり、このまま冬に突入かとも思っていたが、昨日今日と、これまでのそれを取り戻すように、本当に穏やかな天気となっている！多少冷たさ？は感じられるが、心地よい風、爽やかな景色が、昼間のベランダから、一望に広がっている！遠く眺める「私の東シナ海」は、引き潮時なのであろうか？、手前の海面が、かなり黒黄土色がかっている（多少波頭が揺れているようにも見える？）。

気障に言えば、海（湾）全体としては、この穏やかな時間と空間を、私と、無言で共有しているようでもある?!「晩秋」が、いつからいつまでを言うのか、恥ずかしながら？よく知らないが（調べてみたら、陰暦9月の別称とある！難しいことも書いてあるが、新暦11月から12月初旬らしい?!）、本土の晩秋とは、もちろん趣は違うが、沖縄なりの晩秋ということで、温かく受け止めていただければ幸いである?!

ところで、実は、この爽快感は、この天気のせいだけではないであろう?!と言うのも、昨日、人数はほんのちょっぴり？であったが、かなり昔(25年前?)の卒業生との出会い(疑似ミニ同窓会?)があつて、久し振りに無邪気な？談笑の機会をもったからである！この会のいきさつについては、長くなるので？省略させてもらうが、とにかく私の方が、その時の卒業生の一人に、何度も、そういう機会があればいいね！と言っていたことで(作れ！と言ったかもしれない?!)、ある意味ようやく実現したものではある?!

ちなみに、その時のというのは、私の赴任最初の年の学生達(当時3年生で、現在は40代のかかなり後半?)で、実質的なゼミ生及びその同学年生である。当時はまだ、流石に怒ったことはなかったとは思いますが、無茶ぶり、「交流」という名の、あちこちへの連れ回し等、かなりの悪行？を、彼らには行ったような気がする(ただし、今となっては、すべてが時効!)?!

ただ今回、ある意味よく聞くことではあるが？、当時の私の思い遣り(例えば金銭的負担への)？を、今でも覚えていてくれて、それを話題にしてくれた時は、やはりあの時、ああしておいて良かったと、改めて思いもした！これが、あの「教師冥利」というものでもあろう?!

もちろん、そのことを期待してのそれではなかったはずであるが、ほんのちょっとは、そうしたことを期待していたのかもしれない?!とにかく、逆にありがとうと、素直に言いたいということである！危うくシュレッダーにかけそうになった(本当に前日、奇跡的に手に取った!）、当時の彼らのレポート(の一部)を持参したが、ちょっとしたサプライズにもなった?!

末尾になるが、この楽しい(嬉しい?)機会を創ってくれたS君(ある大学の教員である!）、そして変わらぬ笑顔で集ってくれたSさん、Eさん、そして

もう一人のEさん（3人はすべて女性、全員小学校の先生である！ちなみに、イニシャルは下の名前！）、本当に楽しい（嬉しい？）時間をありがとう！

残念ながら、電話でしか話ができなかった！M県のI君、そして今回は顔を合わせられなかったYさん、Aさん、その他みなさん、改めて元気でしょうか?! いつかまた、お会いしましょう！

- ・ 沖縄で 晩秋と言うは 甚だ<sup>おか</sup>変し?  
 だけど言いたい その訳あり?!
- ・ お互いに 年は取れども 変わらない?  
 それを感じずは 懐かしさ故のみか?!
- ・ 将来を 期待しての 思い遣り?  
 まったくなかったとは 言えぬかも?!
- ・ 本当は 誰しも有する 辛きこと?  
 されど生きるは その甲斐ある故?!
- ・ <sup>あ</sup>薄<sup>お</sup>青<sup>う</sup>き<sup>み</sup>湾（海） <sup>しろ</sup>薄<sup>ろ</sup>白<sup>ろ</sup>き雲から 降り注ぐ?!  
 霞を帯びて さらに<sup>あ</sup>薄<sup>お</sup>青く?!

(11月6日)

## 24 穏やかな晩秋？日和が、急変?!海の向こうでも、荒れる予感?!

今日（9日）は、ここ数日来続いた、穏やかな晩秋？日和が消え失せ、曇天の空、多少強くて、肌寒さも感じさせる北風が、このベランダ越しに迫ってくる?!遠くに視線を移すと、あの「私の東シナ海」が、かなり荒れているように見える！（こんな光景を、直接見たのは初めてかな?）

海岸線に寄せる、ここでは高いと断言できる白波が、本当に珍しく?、海(湾)のほとんどのところで、砕け散っている!いつもは、高い建物の隙間から、ほんのちょっとだけ顔を見せている、この方向・角度からの波打ち際であるはずだが、今日のそれは、いささか違っているのである!何やら、北の海でも見ているような、そんな錯覚さえ覚えそうである?!

さて、そんな光景を眺めながら、何気なくラジオでの、海の向こうの選挙速報を、ある種の仕事?をしながらか聞いていたら、意外であるが?、飛んでもない?!結果を知らされた!別に、今の私にとっては（今までもそうだが!）、どちらが勝利しても、あまり関係はないと思っはいるが、選挙前の予想では、若干もう一人の候補者の方が有利だと報じられていたので、やはり選挙は、下駄を履くまで分からないのだなと、思ってもみた。

両者の人物評価等については、まったく興味はないが、今回勝利宣言した候補者は、日本のあり方、日本との関係においては、かなりの変化を与える?人物のようでもあるので、その辺りがどのようになるのか、そういった点では、決して無関心というわけにはいかないであろう?!

ちなみに、既に、結果が確定していない段階で、かなりの円高、株安が進んでいるということでもあった!本当に、荒れる世界、荒れる人物となるのであろうか?!そう言えば、午前中に、銀行の人が来た!為替、株式、はたまた金利、そんなことなど、考えたくもないのであるが、これからは、そういうことにも、生きていくためには、目を向けなければならないのであろうか?!

しかも、今回は、自らの判断と決断によって?!とは言え、多分私（達）は、いかなることになっても、得することなどあり得ない?!今までだって、ほとんどそうなのだから?!本当は、そっとしておいて、欲しいものである?!ただし、その人（女性）自身は、いい人ではあった?!

それはそれとして、上に述べたある種の仕事?だが、今回が最後の?!、大学の授業（「教育原理」）における「学習メモ」のチェック（ミニ赤ペン先生?）である?!本日のキーワード?「荒れ」という程のものではないが、毎週この日は、私の日常においては、それなりの荒れ日である?!前々日の授業の結果でもあるので、学生達を書き記したコメントや質問・疑問等は、場合によっては、小さな荒れの原因?ともなるのである?!

ただし、ここでは、「荒れ」と言うよりも、学生達には申し訳ないが、「憂鬱」

と言った方が、的を射ているかもしれない?! どうでもよいが、こんなことを、一方で思いながら、毎回全員にコメント（回答）している私の想いを、他ならぬ受講学生達は、どう受け止めているのであろうか?! 少しは、喜んでくれているのであろうか?!

- ・ 荒れる海（湾）<sup>う</sup> <sup>み</sup> 初めて眺めた その光景?!  
北の海でも 見ているよう?!
- ・ 荒れる日に 海の向こうの 別な荒れ?!  
我が目の前の アレはどうなる?!
- ・ 学習メモ 荒れはなくても あれ?はある!  
そんな理解が どうして出来る?!
- ・ 今回で 終わると思うと 若干寂し?  
されどやる時 やはり憂鬱?!
- ・ これまでは ほとんど任せし 金銭管理?!  
そんな私に 何ができる?!

(11月9日)

## 25 「老い」は「諦め」との闘い?!まだ早い、意識し始める頃?!

海の向こうの、奇妙な選挙戦?!勝ったのは、予想に反したT氏!その後の情報?によると、これまで、まったく公職に就いたことがないという、純粋な民間人(経済人・企業経営者)のようであるが、実は、かなりの人物?のようでもある?!かの「アメリカン・ドリーム」を、再び引き寄せるのだとも?!「隠れT?」と呼ばれる人達の、思わぬルール違反?が、まさかの「飛んでもない結果!」を招いたわけであるが(珍しく?反対運動が各地で生まれているともいう?!)、私からすると、あの年齢(70歳!)に、かなり注目させられる(何せ、歴代の大統領では最高齢だともいう!)

とにかく、テレビでの彼は、白髪はともかく、色つやも良く、とても若々しく見える?!否、実際に若い!(大統領としての)直接の政治行動は、年明けからであるが、これから、各国・各勢力の、それこそ熾烈な、そして隠微な?駆け引きが、繰り広げられることであろう?!

まあ、それは、それでよい!かつて井上何某が、デビュー作『傘がない』を引っ提げて、まさに没社会的(超私的な?)世界あるいは感覚?を、気だるく?歌ったように(それが、その時代を象徴し始めていた?)、今の私は、他の人、他の世界のことには、あまり関心は寄せないことにする?!

しかし、やはり心の友人I氏だけは、そうはいかない?!ある意味、体格・風貌の劣化?は仕方ないとしても、自業自得?!とは言え、体の至る所が、かなり危うい?状況にあるらしい?!人間ドックの結果から、そうした状況が、次々と(泥縄式に?)判明しているらしいが、それは当然、誰しものが避けられない、「老い」のプロセスの一端であろう?!分かっては、いるのである?!

先日、その彼が、いみじくも、「老い」は、ある意味「諦め」との闘いではないかと、私に語ってくれた!私も、まさに同感である!我々の年齢(64歳)は、まだまだそうしたことを、強く意識するには早いと言えれば早いのであるが?、しかし、あることにおいては、彼の、その意識は、まさに痛切に受け止められるのである?!ちなみに、その「あることにおいては」ということが、ここでは気になるところであるが、これはまた、私(堂本)の、一流の粉飾表現?から、容易に類推されようが、実は、誰しものが、内に秘めて有しているものでもあろう?!

いずれにしても、自らの身体能力・機能も含めて、人間の「老い」とは、そうした喪失、あるいは喪失していくものに対しての「諦め」、それとの闘いであることは、多くの当事者達が語ってくれたことであり、今まさに、我々も、そのことを実感し始めているのである?!

追伸：

今、こんなことを思い、書き込んでいる私であるが、昨日（12日）は、学生達と一緒に、ある人（Kさん）の自宅兼バー？にお邪魔し、楽しい一時をもった！その怪しげな集まり？を、来年から恒例化し（年に一度開催。11月の第2土曜日）、その会の名前を、Kさんの小さい頃のニックネーム（今回判明した！）を採って、「ガサミ記念日」とすることにした！ガサミは、沖縄の近海（砂地）で採れるカニの一種である！どうも、Kさんが、そのカニに似ていたらしい?!そう言えば、「私の東シナ海」のあの辺りにも、それがいた！

- ・ トランプの カードに隠れた その数字?!  
四つのマークの どれ多し?!
- ・ 年齢と 若さの関係 正比例?!  
されどそれさえ 覆す人あり?!
- ・ 老いと諦め ワンセット  
それが普通と 言い聞かせ?! これからを生きる?!
- ・ 諦めにも すぐに認める ものもある?!  
されどたやすく 認めないものもある?!
- ・ <sup>あおき</sup>紺碧<sup>う</sup>き海<sup>み</sup>（湾） 何故に今日は <sup>ふね</sup>小舟多し?!  
まさかガサミを 狙っている?!

(11月9日)

## 26 本日の天気は、まさに最高?! 沖縄は、11 月が一番いい季節?!

蒼碧の海(湾)、その海(湾)と空、その海(湾)を半弧状に圍繞する、大小、高低、色彩、そして形を、それぞれ異にする様々な建物群、そして、それらの情景を、さらに映えさせる、こんもりとした手前の緑の樹木群、それらのすべてが、見事なコントラストをなしている! そう! 多分、この景色だったのであろう?!

ちょうど一年前、新たな居宅を求めて、近隣市町村のあちこちを、散々探し回った挙句、売り物件ではあったが、後先何も考えずに? 我が奥さんと一緒に、ここ宜野湾、大謝名の地を即決したのは、他でもない、この景色に魅せられたからである?!

その、一年前に見たあの海(湾)が、今再び私の目の前に、明るく、爽快に広がっている! ほとんど無風、若干の雲は浮かんでいるが、まったくの快晴である! まさしくこれが、「私の東シナ海」である! 考えてみると、最近は、雨もほとんど降っていない?! 水不足の心配が募っているのかどうか、今の私には分からないが、沖縄は、実はこの11月が、一番いい季節なのかもしれない?!

さて、そんな景色を眺めつつ、そんなことも思いながら、今、別の二つの本シリーズ(「教育への思い」と「古代史の旅」)の記事? を、一応は? 同時進行的に作成している?! 考えてみると、こうした時間(2階ベランダの先に広がる「私の東シナ海」を眺めながら、一方では思いを巡らせ、一方ではパソコンを打ち込んでいる時間)が、今の私の、本当に日常の根幹にもなっているように思える?!

事実上は、学生達と立ち上げた(作成してもらった?) ホームページが稼働し始めた5月下旬? 以降ではあるが、それが、まさに日課となっているのである(ひょっとしたら、それまでの私より、物を考え、文章にする時間は、今の方が圧倒的に多いかもしれない?! それまで、何をやっていたのだ! )。

ただし、その二つのシリーズも、それぞれ量的にも増え、重複や、多少矛盾した内容が、書き込まれているようにも思える?! 少なくとも1年間は、このスタンスで行こうとは思っているが、果たしてどうなるか?!

ちなみに、「古代史の旅」の方は、純粹に、私(堂本)個人の趣味? ではあるので(本当は、そう思わせたくはないのであるが?!)、それこそ脱線・暴走、さらには頓挫・破滅等、様々な行く末? があり得ようが(あっても、誰にも迷惑はかけない?!)、こと「教育への思い」は、少なくとも、私が沖縄に居る限りにおいては、絶対に書き続けたい(なければならぬ?) ものである!

とは言え、それを、誰が見ているのかという点では、甚だ心許ない?! たまに会う? 受講学生達にも、「ホームページ、見ているかい? 」と尋ねても、あまり芳しい反応は返ってこない?! そんな時は、何とも複雑な心境とはなるが、そのことも含めて、現時点においては、記事? 自体に対しての、直接のコメント

や反応は、ほとんど見られない?!それこそ残念ではあるが、とにかくこれからも、あの調子で、書いていくことにはなるであろう（たとえ、無視したり、嫌がったりする人がいても?!）！

改めて、（心ある？）みなさん達との、可能ならば、文字や実声での遣り取りや交流を期待するのみである！

- ・ これだ、これ あの日見たのは まさにこれ！  
この<sup>ながめ</sup>眺望こそが 我を決す！
- ・ あれから一年 過ぎ去りぬ！  
ある意味 この一年が 最良の一年?!
- ・ 刻々と数字を増やす カウンター！  
だけど 誰が増やすか 教えない?!
- ・ 各<sup>こーなー</sup>コーナーに 思いを寄せるも 濃淡あり?!  
されど三者は 我が身一つ?!
- ・ これからも このスタンスは 変わらない?!  
変わるとすれば 何がある?!

(11月19日)

## 27 麗らかな霜月？最後の日！改めて、これからのことを考える?!

今日（30日）で、11月も終わる！最近では、一番早く過ぎ去った月のようにも感じられる?!その理由は定かではないが、多分研究会等の特別なイベントもなく、淡々と1週1週を迎えたためであろう?!今、多少霽がかった「私の東シナ海」を眺めながら、久し振りにゆったりとした思索?の時を楽しんでいるが、波は穏やかで、綿毛をうっすらと散りばめたような薄青色の海面が、弱い日の光に照らし出されている。

その先には、普段はあまり気に留めていない、あの読谷半島が霞んで見えている。ちなみに、あんなにもびっしりと、建物・住居群が南面全体にひしめき合っているのだと、今更ながら驚いてもいる。

そんな中、気を付けて見なければ見失いそうな、着陸間際の小さな?（実際は大きい!）飛行物体が、その海（湾）上を、左から右へと無言のまま、ゆっくりと、もう一つの「あの場所!」へ降りていくのが見える!もちろん、その場所とは、嘉手納基地のことである!とにかく、気がついてみると、今年も、後残り一月である!そして、改めて今日は、麗らかな霜月?最後の日でもある!本当に早いものである!ただし、やはり沖縄では、「霜月」はあり得ない?!

ところで、先週（23~27日）、珍しく旅に出た!いわゆる「本土」に出かけたのであるが、表向きの理由は、週末に行われた、ある団体（長野県泰阜村在）の30周年記念祝賀会への出席であったが、それにかこつけた夫婦旅行でもあった（Tさん、ごめんね!）。祝賀会の場所自体は飯田市であったが、そこに行く前に、岐阜県高山市（白川郷を含む!）、同奥飛騨（新穂高温泉・ロープウェイ展望台）、そこから長野県松本市（安曇野を含む!）、そして同飯田市へと周った次第である!

最初の日、確か記録的な降雪の日で、大変な寒さであった!次の日も、彼の地は大変な寒さで、危うく風邪をひくところであった（ロープウェイ展望台では-5°C!信じられない?!ただし、かなり雲がかかっていたが、眺めは良かった!）。なお、この旅は、ある種のお忍び旅行?であったので、何人かいる当地の知己のみなさんにも、お忙しいだろうということもあって、声を掛けなかった!少し?薄情だったかなとも思うが、そうしたのだから、仕方がない!また別の機会で、ということにしよう!

さて、その肝心の祝賀会であるが、まずは一言で、大変な盛況であった!私は、その団体（正式には、NPO法人グリーンウッド自然体験教育センター）の、現在代表理事であるTさん（沖縄で知り合ったのであるが、彼の想いや人柄に惚れ?、ある時期には、ことある毎に沖縄に来てもらい、協力してもらっていた!また、一度だけだが、当地に行かせてもらったこともある!）の声掛けで行かしてもらったのであるが、その30年という、長い年月における多くの人達の出会いと協力

の深さ（特に、村内における?!もちろん無視や反対等もあったであろうが?!）、そのことが、参集されていた人達の顔（振れ?）や物言いに強く感じられた！ある意味、本当に羨ましい光景でもあった?!

もちろん、そこに集った子ども達?（最初期の彼らは、もう既に?40代のおじさん、おばさんになっている!）及びその親御さん達の顔や思いも、本当に素晴らしかった!「だいだらぼっち（元気な子ども達?!）」、おめでとう!

- ・ 温泉 降る雪 北アルプス  
されど寒さは 別問題?!
- ・ 初めて訪ねた 白川郷  
合掌造りは やはり 雪がなくては?!
- ・ 穂高や安曇野 別の興味あり!  
されど妻は それには与せず 何故?!
- ・ <sup>しんしゅう</sup>南信州の 山の中にて 異彩を放つ!  
「だいだらぼっち」は 何を教えむ?!
- ・ その土地に 根付く人々 羨まじ!  
それだけのこと 為して来たのだ!

(11月30日)

## 28 海（湾）の眺望より、温かい光を！今、二重の意味で待望す？！

昨日（9日）、第6回の研究会をもった。本来は、11月に行う予定であったが、私（井上）のスケジュールの都合で、今月にずれ込んでしまった！そしてまた、今月はもう一つ（23日）、第7回研究会（那覇市との共催）が控えている！関係者、特にイノベーション Next の若者達には、かなりの無理強いである？！とにもかくにも、卒論作成に全力を傾けなければならない彼ら（4年次生）には、多大な負担と重圧をかけることになる？！しかも、ある意味、次は一番である？！改めて、大変申し訳ない事態となっている？！しかし、どちらも、全力でやるしかない！

ちなみに、今回の研究会の内容的なことについては、改めて別シリーズ（「教育への思い」㉔）で書くことにする！端的には、事例発表の適切さ（深さ？）もあって、また、学生の参加も多く（ただし、結果的にはあるが？！）、非常に盛り上がったものとなったことは事実である？！公私とも忙しい中（師走？）、駆けつけてもらった協力者・参加者のみなさん、会をつくってくれた学生達、本当にありがとう、そしてご苦労さん！

ところで、今回は、恒例の？、研究会終了後の交流会を、私の家（「教育協働研究所～岳陽舎～」、本当に狭い2階建ての家！）で行った！通常使う店（居酒屋？）が、予約が取れなかったということで、思い切って私の家で行ったのである。残念ながら、いわゆる大人の人の参加がなくて（狭いので、多分遠慮もある？！）、かなり淋しい気もしたが、それはそれで、仕方がない？！私の奥さんには、多大な面倒をかけることになるが！、これからも、機会があれば続けていきたい！それがまた、この家の存在価値なのだから？！

とは言え、会場とした2階ベランダは、狭かったのはどうしようもないが、かなりの冷たい風にも晒された！この時期（以降？）の私の家は、北風？が吹き突けるということもあって、想像以上に寒い？！特にベランダは、日が陰ったり、夜になったりすれば、本当に寒くなる？！今回、風邪を引きそうになった学生もいた？！でも、ここでやるしか、ないのである？！

そんな状況ではあったが、いつものメンバー（イノベーション Next の主力+OA2人）に加え、最近皆勤賞？の、一応大人？のM君、そして、嬉しいことに2年次の二人（Y君とSさん。成人になっていた！）が参加してくれた！そういうことも含めて、今、新たな段階・様相を見せ始めている（大人側の中心的参加者の固定、一部ではあるが、各学年の学生達の成長・変貌？等）、今年度の、この教育協働研究会ではある？！しかし、やはり不安や懸念も伏流している？！

もちろん、次年度以降に向けてのことではあるが、とにかく、この場所（ベランダ）は、私の居場所、思索？の場所ではあるが、ある時は、心ある人達の交流・憩いの場でもあって欲しい？！だが、それは、私だけが、そう思っている

ことかもしれない?!それは、ちょうど今頃の、このベランダの使い勝手と同じなのかもしれない?!それはそれで、受入れるしかない?!さしずめ、今は、この「私の東シナ海」の眺望より、弱いながらも温かい太陽の光が、私にとっては、二重の意味で、ありがたいということである?!

- ・ <sup>ようこう</sup>陽光の か弱く当たる 心地よさ  
沖繩とても あるにはある?!
- ・ ベランダで 花々<sup>め</sup>愛<sup>め</sup>でも 世話<sup>かた</sup>難し!  
<sup>われ</sup>私の来し方 それに似て?!
- ・ “岳陽”と 名づけし<sup>おもい</sup>期待<sup>おもい</sup> 流離<sup>さすら</sup>うも?!  
いつしか誰かに 届くとぞ思う?!
- ・ 目の前の 師走の東<sup>う</sup>シナ<sup>み</sup>海は <sup>もや</sup>霧<sup>もや</sup>がかかる?!  
それを晴らすは ただ季節のみ?!
- ・ 今まさに 海<sup>う</sup> (湾<sup>み</sup>) の景色より 太陽<sup>ひ</sup>の光!  
二重の意味で ありがたき?!

(12月10日)

## 29 海（湾）ばかりではなく、花や月や星にも、想いを寄せよう?!

今日（14日）は、本当に寒い？北風が、この2階ベランダを、一日中吹きまくった！すべて鉢植えであるが、撫子の、赤とピンクが混ざった可憐な花、芝桜や日日草の、それぞれ違った淡いピンクの花、さらには赤いシクラメンの花、そして、まだまだ小さい（ひょっとしたら、大きくなれない？）ブーゲンビリアの赤い花？（実は、これは花ではない?!）も、この強い北風をまともに受けて、何とも可哀そうな姿を見せていた！

その他、名前は忘れてしまっているが（もともと覚えていない?!）、色とりどりの花を咲かせているその花（鶏頭の種類?）も、強風に晒されながらも、健気に、昨日と同じように咲いていた！考えてみたら、私はこれまで、ここから見える海（湾）のことばかりを気にしていた?!ちゃんとそれらも見ていたのではあるが、ほとんど彼女らの表情?や、それに関わる想いを語ってはいない?!

そう言えば、このベランダから見える月や星の話も、これまでしていない！確か、この間の「スーパームーン」の時も、そんなに長い時間ではなかったが、実によく見えた！東の空に登り立ての時の、その月は、確かに大きく、そして綺麗だった！星だって、周囲の明るさが、かなり邪魔?をしており（特にあの場所の上は!）、数は少ないが、鮮明に瞬いている光景もある！特に、今日みたいな、冴えた空においては…?!その事実はともかく、何故、自分がそうしたことをしなかったのか?!

一つだけはっきりしているのは、私は、いわゆる「花鳥風月」を愛でるような想いや言葉は、あまり好きではない！と言うよりは、自分には、そういうものは似つかわしくはないという、ある種の頑なな思いがあるということである！今の今でもそうだと思うし、おそらくこれからも、そうであろうと思っている?!要は、恥ずかしがり屋ということかもしれないが、ただ今回は、そうしたベランダの草木や夜の月明り、星空の輝きにも（かなり人工的な光が関与しているが）、一度くらいは、想いを寄せてみなければということであろうか?!

そこで、確かこの方向からは、あの「北極星」も見えるはずだが、それと思しきものが見えるには見えるが、実は、それという確信がない（しようとしていない?!）！周知のように、北極星は、常に同じところに見え、航海の目印ともされているようであるが（そのためであろう?!沖縄では、この星のことを、「子ぬ方星にぬふあぶし」とも呼んでいる！「子ぬの方角の星」ということであろう?!）、恥ずかしい話、それが分からない（特定できない?）のである！それはまるで、今の私が、確固たる自分の位置を見出していない?!、逆に、多くの人に、今の存在が見えていないということか?!

ただし、これは、私の自画（我?）自賛（散?）であり、それ故冗談でもある！（笑）末尾になるが、ほぼ毎日頭上を通り過ぎるオスプレイの事故が、や

はり起きてしまった！しかも、同日に、2回も！原因は分からないが、二つとも、人や民家に直接被害がなくて、本当によかった！だが、これでまた、基地問題が、さらに激しく揺さぶられることになる?!しかし、ここでは、これ以上は語らない！否、語れない?!

・ <sup>な</sup> <sup>ぜ</sup> 何故かしら <sup>う</sup> <sup>み</sup> 海（湾）ばかり見つめてる 偏屈者?!  
花鳥風月 柄にもなしとて?!

・ 寒風に 震える<sup>は</sup> <sup>な</sup> 草花に 愛しさ感ず?!  
さりとしてそれを 如何ともし難く?!

・ <sup>たま</sup> 偶に見る <sup>つ</sup> <sup>き</sup> 満月の明かりは 神々しく?!  
されどそこから 想いは<sup>こぼ</sup> 零れず?!

・ <sup>にぬふあぶし</sup> 北極星 我のそれは ともかくも?!  
照らし続けよ かの行く末を?!

・ 今日もまた やはり眺める 私の<sup>う</sup> <sup>み</sup> 東シナ海!  
白きしぶきに 何を見る?!

(12月14日)

### 30 激変?!ではあったが、新たな1年も、また過ぎた！来たる年は?!

今日は、12月24日である。一般の学校（大学も含めて）は、既に冬休みに入っている?!いよいよ、年の瀬も大詰めである！そんな中、昨日、祝日（「天皇誕生日」）ではあったが、今年最後の「教育協働研究会」を、那覇市教委との共催という形で実施した！人数的には、もう少し…?という感であったが、共感・協力・参画の、すべての関係者（学生を含む!）にとっては、一応の成功であった?!また、この後のネットワークの広がりも、十分に期待できるものとなった?!担当のKさん、W公民館長のMさん、協議会々長のHさん、本当にありがとう！そして、ご苦労さん！

だが、何よりも、イノベーション Next の4年次、あなた達の頑張りがなかったら、とても実現できるものではなかった！卒論作成へのしわ寄せは、大いにある?と思うが、何とか乗り切れると信じている?!否、乗り切ってもらわないと、私も困る！しつこいようだが、期限までの、無事の提出を祈る！

さて、今日は、世間で言うところの「クリスマス・イブ」の日である！ここ沖縄は、若干肌寒い風も吹いているが、比較的穏やかな冬の日であった！全国的な天気状況は知らないが（→札幌は、大雪らしい!）、冬至の日が21日であったことを思えば、かなり寒い日となっていることであろう?!しかし、お似合いの雪の光景も見られるのであれば、まことに幸運というものであろう?!

もう、かなり昔?のことであるが、娘たちと「クリスマス・ケーキ」を食べながら、楽しく、その日を迎えていたことを思い出す?!様々な家族模様、恋人模様、友達模様 etc. が、多分この夜は、あちこちで繰り広げられることであろう?!俗に言う「シングルベル」の人も、今年は?それなりに、ということでもある?!君達には、来年はきっと、違う「クリスマス」を！

ということで、今年もまた、いつのまにか?1年が過ぎようとしている?私にしてみれば、まさに激動・激変?の1年であったが、立場や状況の違いが、こんなにも違ったものになろうとは、ある意味夢にも思っていなかった?!とは言え、大学での授業や（実質的な!）ゼミ活動、そして、その延長上にある「教育協働研究会」の実施と、それだけを見れば、ほとんど今までと変わらなかった！

けれども、実は、それもこれも、今までの研究室が使用できたからこそであり、その意味では、今年と同じようなことをやっていくとしても（基本は、そういうことになっている?!）、学生達との関係も含めて、かなりの変化があることは間違いない?!覚悟していることではあるが、その時（以降?）が、まさに変わった（てしまった!）ことを、痛切に感じる時であろう?!

いずれにしても、それもこれも、いつかは訪れてくること！今年がそうであったように、ある意味淡々と、やるべきことをやり（ただし、家の事だけは、ま



### 31 改めて、新年を迎えた！風のない、穏やかな海（湾）である！

今日、年が明けて、2019年1月3日である。年末年始（2日まで）は、今や恒例となっている？宮崎県（小林市）にいる長女一家にての家族集合?!もちろん、そこには、孫達3人がいることもあるが、ここは、いわゆる「本土」でもあり、福岡と岡山にいる次女・三女も、揃いやすいという理由もある（彼女らの旅費等の負担も考慮?!）！

ただし、私にとっては、そこには、近くに温泉（「神の郷温泉」）があり、ほぼ毎日、湯治まがいの生活ができるのも、秘かな楽しみである！ちなみに、夏の盆休みには、海が満喫できる、ここ沖縄の地で、家族全員が顔を合わせることになる！

それはともかく、今回の滞在を終えて、昨日の深夜、福岡空港経由で帰宅した！九州は、それなりに暖かかったが、沖縄は、さらに暖かかった（暑かった?）！何とも、おかしな?冬である！帰りの博多駅前で、妻と次女・三女で、豪華な?夕食を取った！次女の奢りであった！ある意味、嬉しかった！だが、ちょっぴり複雑でもあった?!

そう言えば、今回は、行きも、福岡空港であった（通常は、鹿児島経由である!）。当地に住む、高校時代の仲間?5人と、ある事情があったからではあるが、久しぶりに再会した！楽しい飲み会であった！二次会?で食べた、「ゴマサバ」が美味しかった！

なお、今回は、多分、私の心模様が安定?していたためか、博多駅（博多口）のイルミネーションが、とても綺麗に見えた！否、本当に、美しかった！幻想的でさえあった！新装になっている駅ビルの賑わいも含めて、何か、福岡（博多）の力強さ、元気強さが、感じられた?!沖縄は、どうか?!

ちなみに、これは内緒ではあるが、行きがけに、とんでもない事件?が、我が身に起った（本当に恥ずかしくて、人には言えない?）！最終的には、結果オーライではあったが、今の私は（これからも?）、そんな情けないことを、平気で?やってしまうのである?!

老い?の為せる業か、それとも根っからの呑気性からなのか、おそらくはその双方からであろうが、あやうく飛行機にも乗れず、予約していたホテルにも、投宿できなかつたかもしれないのである！那覇空港まで送ってくれたT君には、何の責任もないのであるが、空港での出発前及び博多駅周辺での、私の大パニック?は、彼には、まったく想像もできないであろう！しかし、それもこれも、今となっては、すべて楽しい?思い出である！本当に、いい時間を過ごさせてもらった！

ということで、こうやって、過ぎ去ったほんの1週間余の出来事を思い出しているのだが、今回の、私の冬の旅は、誠に様々な思い出となるものが続出し



### 32「当たり前」のこと?!見ようと思わねば、見えぬものある?!

今日(9日)の海(湾)は、いつもと違っている?!ある部分(北谷町の海岸部?)だけが、見事にコーラルブルー(碧緑?)とコバルトブルー(群青?)の2色に分かれて、ひと際目立って、波打っているのである!まさに、神秘的でさえある?!

だが、何故、そこだけなのであろうか?!たとえ、そのように2色に分かれていても、それは、普通は、海(湾)を取り囲む、ほぼすべての海岸部に見える現象である?!やはり、時間(潮汐の関係)と日照(角度)の関係からなのであろうか?!何とも言えない、自然の妙でもある?!

それはそうと、今日初めて、あのオスプレイが、あの場所から離陸するのを目撃した!いつもは、着陸のために、我が家の直上を、かなりの轟音を立てながら、降りていくのであるが、今回は、また違った光景であった?!そう言えば、あの爆音?は、これまでも、姿は見えなかったのであるが、かなりの時間、周辺に響き渡っている爆音であった?!

あまりに日常的な音であったので、それ以上は頓着してこなかったのであるが、今日たまたま、あの場所の方向を見て、改めて分かったのである!基地の地面は、手前の民家側の土地より、かなり上にあるようで、いくつかの建物の隙間から、ゆっくりと顔を出し、やおら「ふわり」と浮かび上がって、しばらく上空に止まり、北の方へと飛んでいった!あの爆音は、このオスプレイの離陸前の音だったのである!恥ずかしながら、今日初めて知ったということである?!

とまあ、今回は、期せずして、同じ日常?の世界であっても、ある場所、ある時間帯によっては、まったく見えてくるものが違うという、考えてみれば「当たり前」のことを、かなり新鮮な気持ちで、受け止めたということである?!言うなれば、その日常にあって、それが「当たり前」のことであっても、それを見ようと思わなければ、やはり見えないこともある?!何とも情けない話ではあるが、改めてそのことに、気づかせてもらったということであろう?!

思い出してみると、そういうことは、それこそ、私のこれまでには、無数にあったようにも思う?!学生とのこと、活動仲間とのこと、同僚とのこと、その他多々あるが、本当に、その見えない「当たり前」のことを、どのように見てきたのであろうか?!思い返すと、ある意味、ぞっとする?!

しかし、今更居直るわけではないが?!、人間誰しも、そういうことは、まさに「当たり前」にある?!要は、その「当たり前」にどのように出くわすかということであり、また、その「当たり前」の見えない部分を、どのように見ようとするかである?!反省は反省として、きちんとそれに向き合いながらも、自らの来し方を、決して卑屈に見ることはない?!改めて、そんなことを思う次第で



### 33「条理」！言い続けねば、危うし?!されど、「不条理」もあり?!

今日（20日）の海（湾）は、昨日とは打って変わって、非常に寒そうに見える?!やや明るい鉛色の分厚い雲と、薄白く霧掛かった群青の海面が、ある種奇妙な一体感?を為しながら、海（湾）全体を覆っている?!そのために、遙か彼方の水平線は、ほとんどその境界を露にはしておらず、岸边に寄せる白波や、沖の海面に出没?する白き波頭が、その寒さや奇妙な一体感を、さらに盛り上げているようにも見える?!

今また、その霧が一段と濃ゆく張り出し、海（湾）全体が、あたかも、その緞帳に隠され始めているようでもある?!本当に、海（湾）は、千変万化の変化を見せるものである?!

一方、ペランダを吹き抜ける強い風も、冷たいと言え、冷たい?!ただし、私にはそう感じられるだけで、多分外気温は、さほど低くはないであろう?しかし、流石に?、20℃は下回ってはいるであろう!本土のみなさんには悪いが?、これが、本当の「沖縄の冬」?ということでもある!

と書いたところで、どうでもいいことではあるが?!、例の爆音が、今また聞こえ始めた!やおらその方向を振り向くと、また「あいつ」が、あの場所から「ふわり」と飛び立っている!

だが、いつのまにかまた、その鉛色の分厚い雲に同化されたのであろうか、幽かな轟音は聞こえるが、その姿・形は見えなくなった?!これも、ある種の雲隠れか?!とは言え、それは、彼らの任務ではあり、そのような飛行を続けているのであろう?!何とも、「不条理」な関係ではある?!

そんなことを思いながら、今日は、これから大学へ行く。今年第1回目の「教育協働研究会」でもある!どんな人達が来るのか、どういう会になるのか、まったく予想はつかない?!これが、我々がやっている「研究会」の、言わば弱点?ではある?!しかし、それは、ある意味（大学で行う）「社会教育?」の宿命だとも言える?!

いずれにしても、心新たに臨もう!とにかく、今回の標題に関わらせると、「教育協働」は、ある種の「条理」の世界ではある?!数多ある「不条理」のこの世において、いかにその世界（思いやしくみ）を構築していくことが出来るのか?!確かに現実には、甚だ厳しいのではあるが?、せめて若者達には、そこへの信頼の灯を点そうではないか?!改めて、そんな思いを募らせる、今現在の私である?!

ちなみに、4年次（5人）の若者達は、幾多の逆境（仕事?）にもめげず、自らの卒論作成に勤しんでいる!ほとんど書き上げている?者もいるが、これから最後の踏ん張りどころではある!

何度も言うように、今年度の彼らは、それをやりながら、研究会等の担当者?

としても、頑張ってくれている！そんな彼らの頑張りに、是非応えるべく、これからの研究会が、さらに実りのあるものになって欲しい！ただただ、そう思うだけである！

とは言え、今回は（も？）、受講している授業の関係とは言え、フレッシュな2年次の参画もある！昨日、二人の2年次が（4年次と一緒に！）、我が「岳陽舎」にも足を運んでくれたが、それなりの期待？も感じさせられた?!大いに、楽しみでもある！果たして、どうなるか?!

・ 分厚い雲 霧掛かった海面！

奇妙な一体感に 何を見る？ だがそれも日常?!

・ 「条理」「不条理」！ 誰が<sup>つく</sup>考案りし <sup>たくみ</sup> <sup>ことば</sup>高邁な表現?!

ある意味それは <sup>おのれ</sup>自己の慰め?!

・ 「不条理」は 文学こそにて 意味がある?!  
されど<sup>うっしょ</sup>現実 それとて受入る?!

・ だがそれは 言い続けねば さらに危うし?!  
若者達には せめて伝われ！

・ 「岳陽舎」 今日の日和は それを見させず?!  
だがいつの日か 顔を覗かす?!

(1月20日)

### 34 一転?!見渡せば、春の訪れ?!いよいよファイナル・イベントが?!

今日は、1月の28日である。25～27日は東京に出かけていたので、私にとっては久しぶりの?、我が「東シナ海の眺望」である?!今日の海(湾)は、先般の寒さと強風の時とは、また打って変わって、まさに春到来の感である?!海全体が、あのコバルトブルー(深い藍色?)一色である!こんな景色も、実に珍しい!

遠くに見える水平線を境に、筋状の雲や軽い綿毛様の雲が幾つか浮かんでいるが、全体としては薄青く白っぽい空が、その海の色と、見事な対照をなしている!

その間に嵌まり込んでいるかのように、向こうの読谷半島の緑や家々、そして、海(湾)の手前の、市街地の?建物や緑が、ある意味混然一体ではあるが、うららかな陽光を浴び、「私の東シナ海」全体が、春の訪れ?を告げているのである?!改めてであるが、本当に眩いくらいに美しい!

ところで、上記のように、25～27日東京に行ってきた。私にとっては、年に一度の里帰り?であるが、東京上野にある「国立教育政策研究所社会教育実践研究センター」での、「社会教育主事講習(B)」の講義担当である。到着日は、それなりに寒く感じたが、下着等(もちろんオーバーコートも!)も十分備えていったので、特に問題はなかった!

講習では、社会教育計画の「生涯学習の推進とまちづくり」を担当したが、最近はこのパターンが続いており、前半が「事例発表」、後半が、それを受けた「講義」という形式であった。

私が担当した「講義」は、いつものように?!、結局は、レジュメを無視した?、よく言えば、受講者の反応を即座に取り込んだ、言わばアドリブ的講義?となったが、一応は、その真意(パッションも含めて!)や重要な部分は、伝えたものとは思っている?!(否、本当は、私だけがそう思っているだけ?!であれば、申し訳ない?!)

それはともかく、今回の事例発表(者)は、埼玉県幸手市のKさんという女性であった!社会教育主事(現在は、市長部局の総務部政策調整課主査)としての活躍ぶりは見事で、しかも、今回のテーマに即した、(生涯学習の)まちづくりを、多くの人達を巻き込んで(多分、上司をも?!)、楽しく創り上げられていた!(実は、そう見えているだけかもしれないが?)本当に、頭の下がる思いであった!

これからも、元気に、そしてこれまで以上に、多くの人達と一緒に(とりわけ学校教育関係者とも?!)、私の持論である「ひとづくり(教育)とまちづくり(地域づくり)の好循環」を創り出して欲しいものである!ちなみに、幸手市は、「死ぬまでに行きたい!絶景」(桜まつり・あじさいまつり・曼珠沙華

まつり・水仙まつり)があり、特に桜(権現堂桜堤)は、抜群に綺麗だそうである!

なお、今日はまだ、4年次の卒論提出日の数日前である!だが、先程読み終えた学生の方で、ほぼ終了した!こんな年が、かつてあったであろうか?本当に、今回の学生達は優秀?であった?!と言うより、私のことを慮って、こんなに早く?書き上げてくれたのであろう(否、絶対にそうである?!)!まさに、親孝行ならず、教師孝行である!

だが、これが終わると、いよいよ私の(実質的な!)ゼミも終わる!既に案内している3月4日の最後の研究会(第9回)が、その、本当に「イノ研」としての「ファイナル・イベント」となるが、徐々にその日が、近づいてきたということでもある!

私にとっては、今年の春とは、まさにそうした春でもあるのである?!

- ・ 群青色一色の 私の海(湾)!  
眩しいばかりの 陽光に 春の訪れ実感す?!
- ・ 東京上野は 私のふるさと?!  
何年経っても そう思う?! それは、何故?!
- ・ 幸手に生きる 一人の女性!  
こんな職員が 無数にいる?! 否、そう思いたい?!
- ・ よくやった! 本当によくやった!  
されどももう少し 日々はある! それまでよろしく!
- ・ ファイナル・イベント 如何に迎える?!  
これが次なる 形を創る?! 否、そうでなければ?!

(1月28日)

### 35 収穫は、自らの喜びそれ自体?!見かけや味は、それこそこの次?!

今日は、2月5日である。一昨日は節分であったが、特に今は鬼も怖くないし(福は来て欲しいが!)、別段代わり映えのしない?一日を過ごした。とは言え、プロ野球がキャンプインした1日には、島根県に住む友人のH夫妻の来訪があり、久しぶりの再会となった(北部の寒避桜を見に来たということだが、満開には、ほど遠かったそうだ!)。夕食を、近くの沖縄料理店(居酒屋?)で食べ、夫婦水入らずの語らいの時をもった。

ただし、お互いに(もちろんここでは、夫だけ?!)、それなりの年を取ったものである?!その一つの象徴が、白髪の進行(薄毛化?)と動作の緩慢さである(もちろん他にも多々ある!)、とにかく、話題の多くは、「老い」を認めざるを得ない毎日の生活状況のことであった!

そして、2日は、別コーナー(「教育への思い④」)にも書いているように、国社研の社会教育主事講習(B)の、地方会場での1日授業があり、これまた久しぶりに、かなりの刺激のある?時間を過ごした?!しかし、やはり一日中の授業は、朝早く?起きていったこともあり、いささか疲れた!

だが、この講習の現実的・実質的な役割(成果?)は、これから注視していかなければいけないであろう?!一言で言えば、十分意義と可能性を感じたということである?!

ちなみに、4日は、これまた、本当に久しぶりだったが、プロ野球のキャンプを、卒業生のS君と見に行った!場所は、自宅から一番近い、横浜DeNAベイスターズのキャンプ地(宜野湾市立野球場)であった。お目当ては特になかったが、S君が、筒香選手は是非見たいということであった!彼だろう選手はいたが、打撃風景は見られず、残念であった?!人気は、やはり?ラミレス監督で、即席のインタビュー光景を、ミーハー?よろしく、遠巻きに見てしまった!いずれにしても、ピークは、改めてこれからであろう?!

さて、本日、ひよんなことから、私の植えた大根が(昨年、妻に急かされて、猫の額ほどの畑?に、ハウレンソウと一緒に植えたものである!)、畑の管理上、引き抜かれることとなった(小さくて、驚くほど短い、それなりに食せる太さではあった?!)。

それ(2本の大根)をもって、私がいる2階のベランダに、嬉々とした妻の顔が現れた時には、正直驚きであった!こんなにも嬉しい?顔を見せたのは、最近では、珍しいかもしれない?!写真を撮って、県外の娘・孫達に見せるのだと言って、最近購入したスマホでポーズをとろうとしたのであるが、シャッターの具合が分からず、なかなか成就しなかった(結局、途中で分かったのではあるが)!

ということで、何かまた、私の日記みたいなものとなったが、上記のように、

まったくささやかな、しかも予期せぬ「収穫祭」が、私の妻の行動から始まった！そこで、本日の夕食は、風もなく、暖かいので、このベランダでと合意したのであるが、実は天気予報通り、俄かに雲行きが怪しくなり、瞬く間に雨風が強くなった！ベランダでの夕食は、残念ながら断念せざるを得ない！

とは言え、久しぶりの雨天の光景も、このコーナーに載せようと、現在頑張って窓越しの風景を眺めているが、私の東シナ海は、空も海もすべて、厚い鉛色の黒い雲（霧？）に覆われ、何ともさめざめとした光景である?!まだ、2月の上旬なのではある！

- ・ 二組の 初老?の夫婦 久しぶり!  
話題の多くは やはり老い?!
- ・ 主事講習! 遠隔受講も 悪くはなく?!  
ここから咲くか 社教花?!
- ・ 球春の 到来告げる 沖縄キャンプ!  
さりとしてさほど 高ぶらず?!
- ・ 嬉々として ベランダ持て来る 珍しき妻?!  
写真を撮るも スマホに手こずる?!
- ・ 収穫は 自らの喜び それ自体に!  
見かけや味は それこそ二の次?!

(2月6日)

### 36 ついに来た！居場所であった研究室との別れ！だが、実は唐突に？！

書くべきか、それとも、書かざるべきか?!本当のところは、今の今も躊躇はしている?!しかし、やはり書いておこう！どんな人が、これを読むのか?!そんなことは、どうでもいい?!誰かが、分かってくればよいのである?!この場所（コーナー）を、我が心の呟き（叫び or 嘆き?!）の場としているからには、ある意味、それは当然である?!格好（ばっ?）の悪さは、今に始まったことではない?!

そんなことを思い、数日来続いている寒さを肌に?感じながら、大時化の「私の東シナ海」を眺めている（とにかく、風が凄い!ミニ台風と呼んでもよい?）!

改めて、何があったのか?!何のことはない?昨日（10日）、ついに研究室を退去した!

何もなくなり、殺風景となった27年間の居場所が、完全に私のものでなくなったのである!学生達と一緒にあったため?、表面上は、殆ど感傷心は出ずじまいであったが、いざとなると、やはり淋しいものであった?!少なくとも今月末まではとは思っていたのであるが、学部の事情で、早めの?引き渡しとなったのである!物理的にはともかく、心情的には、いささか唐突ではあった(心の準備ができていない?!)!

ただし、そんなことは当然で（一応辞めてはいる!）、こちらの都合（心情）は後回しであろう?!誰もが味わう、引退時の感傷であろうが、これまで、そこにあるのが当たり前であった居場所（研究室）、一年先延ばししてもらったとは言え、私にとっては、まったくそれまでと変わらぬ、まさに連続したものであった!

しかし、やはりこの1年は、特別な1年ではあったのである?!

ところで、今日は、建国記念の日である!私が今、秘かに?その解明に挑んで（翻弄されて?）いる、我が国古代史の真相?からすれば、何とも複雑な日ではあるが（初代神武天皇が、橿原宮で即位したとされる、西暦紀元前660年のこの日）、丁度土曜日でもあり、祝日なのか、休日なのか、ほとんど気付かない人も多いのではないか?!

だけれども、冷静に捉えれば、自国の建国の日が、今もって曖昧であり、多くの人にとっては、ほとんど感慨のない?ものにもなっているのであれば、これはこれで、嘆かわしいことではある?!ある意味、不幸だとも言える?!

だが、そうしたことも含めて、私たちは、「今」を生きている?!そして、その「今」は、新人類が、この日本列島（沖縄も、当然含まれている!）に移り住み、爾来数万年?の営みの中に、常に刻まれ、現在、私（達）の「今」があるというわけである?!その「今」の元は、やはり誰しも意識はせねばなるまい?!「今」を繋いでいくことが、多分、「今」を生きている人間の務めなのである



### 37 さめざめとした光景に、変わらぬ騒音?!だが、素敵な出会いも?!

久しぶりの、ここでの記事作成である?! 2月上旬に、非常勤講師としての授業も終わり、その後かなりの暇?となったこともあり、何やかやと別なことをしていたら、2週間近くが過ぎてしまった(運動?がてらのプロ野球キャンプ地訪問も含めて! 2度とも、近くのベイスターズ!)

その上、この間、寒い?日が続き、しかも天候もあまり良くなく、「私の東シナ海」を、じっくりと眺める気にはならなかった?!海(湾)には申し訳ないが、私の好きな光景は、やはりこの間の、どんよりとした、いかにもさめざめとした風情ではないのである!

そんな中、過日(22日)、県外からの宿泊来客があった! 昨年11月に、本シリーズ⑦で紹介した、長野県泰阜村のNPO法人グリーンウッド自然体験教育センターのTさんと、彼の友人?である、北海道からのSさんの二人である!

Tさんとは、もう随分前になるが、沖縄で自然体験教育事業?を行っているNさんの事業で出会って以来、何故か気が合い(私より随分若いのであるが!)、その後私が仕掛けた?イベントにも、何回か来てもらった人でもある(その最大のものが、今は懐かしい「琉大フォーラム(熟議)」である!)

一方、Sさんは、北海道で福祉的な活動をされており(「日本労働者協同組合(ワーカーズコープ)連合会」の北海道事務局長)、ひょんなことから、同会が主催するセミナーで最近出会い、しかも沖縄行きで意気投合し、私のことも紹介したかったらしく、今回の来宅となったようである。

ちなみに、Sさんは、私には珍しくもない?ひっきりなしのへりの飛来(もちろんあいつも!)に驚かれると共に、沖縄の基地問題が気になるのであろう?!(ある意味当然か?)、写真を何枚も撮られていた!ある意味、何とも言いようのない1コマであった?!

ところで、この場に、U市立図書館長のTさんが、得意の?手作り料理をもって、訪ねてきてくれた!手伝い?の4年次学生の2人(T君とO君)と、そして、ある意味驚き?の報告をもって、後から駆け付けたF君(K君と言った方が分かり易い?! )も集って、何とも面白い(楽しい?! )出会いの場となった! 彼らのために、Tさんの青春物語(ある種の恋バナ!)も、話してもらった(もちろん、彼の活動足跡の一環としてではあるが?! )!

そこでは、彼の著作物(単行本)についての話にも及んだが、どういう訳か、その本が、私の手元になかった(何故か??)! それについては、まったくの失礼をしでかしてしまった?! ということで、今回、それについても、みなさんに伝えておかなければと思い、改めて情報を求めた! これについては、別途書くこととしたい!



38 終わった！だが、既に一年前に?!このことを踏まえ、これからを生きる！

さて、標記については、別シリーズ（「教育への思い」）で書くのがよいのか、こちらの方で書くのがよいのか、多少迷ったが、ある思いのために（直接には書かないが、分かってくれる人は分かってくれるであろう?!）、こちらの方で書くことにした！

ただし、若干？やるせない気持ちではある？!

ところで、いずれにしても、とにかく終わった！ゼミ（イノ研）があるのかわからないのか、何とも怪しげな1年ではあったが（もちろん、ゼミは、制度的・対外的にはなくなってはいたが、事実上は、まさしく存在していた！そのことは、当事者である私や学生達にとっては、まさしく自明のことであった！）、最後の行事（「もう一つの卒業式」及び「お別れゼミ旅行」※敢えて、「研究会」は入れない！）も、昨日無事終了した！

文字通り、私にしてみれば、すべてが終わったのである！（ちなみに、この言い方は、卒業していく若者達には、かなり申し訳ないとは思いますが、否、悲しませるだろうか?!）

ただし、本音を言うと、実は、こう言いたくないのであるが、こう言わないと、私のケリ（恰好?）がつかないのである?!許せ！若者達よ！

ということで、相変わらずの私（井上?）であるが、今の心境は、無事5人の卒業生を送ることができた（否、まだ今は「できる」?である!）ということと、それに思いを重ねてくれた人達がいてくれたことに対して（当日の行事に参加してくれた、あるいは残念ながら、都合で参加できなかった人達、もちろんそのことを、何らかの形で伝えてくれた人達に対してであるが!）、安堵と感謝の気持ちで一杯である！

いつも私や学生達に心配りをしていただいたTrさん、そしてOさん、Tnさん、M君、さらには県教委のMさん、N市教委のKさん、本当にありがとうございました！

改めて、今後ともよろしくお願い致します！

なお、最後になりますが、イノ研OB（イノベーション NEXT・OA）の4人の男子、本当にありがとう！君達の思いと行動は、いつもながら頼もしく、そして感謝の極みです！改めて、これからもよろしく！

P. S. 今日の「私の東シナ海」は、そんなには自己主張していない?!本当は、語るべきものがあるのであろうが、今の私が、それを感じ取っていない?!しかも、強引に、私に同意を求められるだけである?!いと、哀し?!

- 終わった！                      本当に終わった！  
 だがほとんどが              既に一年前に              終わっていた?!
- 書くことで              伝えた気には              なるものの  
 受け取る側は              ただそれだけのこと?!
- 嘆くまい！              なじるまい！  
 みな今がある！      そう言い聞かせて      これからを生きる?!
- 集まりし              健気な若者              感謝の極み！  
 何が何でも              我は見守る！
- 嬉しい便りは              個々にはある              それでいいのだ！  
 そう思わないかい?!      私の東シナ海よ！

(3月10日)

### 39 眼前でうねる、曇りの海（湾）！こんな思いが、分かるかな?!

早速であるが、昨日（20日）、東京から戻った！今回は、まったくの私用で、卒業生のN（旧姓K）さんの結婚式に参列することが、主たる目的であった！だが、ついでと言えば、本人には申し訳ないが、大学時代の、旧き友人Fを訪ねるといふことも、もう一つの目的ではあった?!

N（旧姓K）さんは、教育学部出身ではあるが、卒業と同時に、いわゆるソムリエになることを目指して上京し、頑張り、それを実現して（並大抵の苦労？ではなかった?!）、同じ業界？（フランス料理人？）の彼と知り合い、この度結婚に至ったということである！教員や行政職員にならない卒業生も、それなりにいるので、そんなには目立たないが、とにかくソムリエになっているという彼女には、本当にビックリしている次第である（頭が下がる?）！

前日に、彼女と同級生だったH君と、同じ飛行機で上京し、その夜は、彼らのミニミニ同窓会？に参加し、翌日の式参加となったが、終始楽しい時間を過ごさせてもらった！やはり、結婚式はいいものである！詳細は、ここでは紹介できないが、当人達はもちろんであるが、彼らを温かく祝福している参列者、なかでも当人達の親御さん達の笑顔と涙には、今回もまた、もらい泣きをさせてもらった?!

そして、ある意味余計なことではあるが、一方では、図らずも、まだまだ？そういう光景を見させてもらっていない、我が次女・三女のことを思い出し、多少複雑な心境ともならせてもらった?!

その後、会場があった池袋で、大学時代（寮仲間？）の友人（彼の奥さんも!）と一緒に、以前、ひょんなことから発見していた演芸場に、時間つぶし？も兼ねて、足を運んだ！演者のほとんど（全員?）は、まったく知らない芸人ではあったが、実に面白かった！

特に、夫婦でやっていた、「オードリー」ならぬ「おしどり」には（前垂れでは、まさに「おどり」とあった?!）、何故か感動さえ覚えた?!意識的にそうしていたのだろうが、やはりまったく彼らとは関係のない芸人であった！

一瞬勘違いさせられたが、そのことを、ある意味恥じるとともに、彼らの芸というか、生きる様に、何とも言えない哀切さ？を感じた次第でもある！売れる、売れないという厳しい世界の、ほんの一瞬しか見てはいないが、ずっとそういうところで、生き様としての、彼らの芸（世界?）を披露して欲しいものである（彼らには大変申し訳ないが?!）！

そうした姿（芸）を、人知れず楽しみにしている人達が、それなりにいるということでもある?!

とまあ、今回は、かなり趣きの違う話をしてしまったが、こうした非日常も、たまにはいいものである?!ひょっとしたら、あまり忙しくない?最近の

日常から、少しだけ離れてみたいという私の秘かな思いが、この旅を欲っしてもいたのかもしれない?!

そんなことを思いながら、今日もどんよりとした光景の「私の東シナ海」に、独り語りかけている私でもある?!もうじき、県外にいる卒業生のKさんが訪ねてくる!

ちなみに、私の奥さんは、私と入れ替わりに、再び?長女一家の所(宮崎県)へ出かけている!しばらくは、また、一人暮らしとなる!

- ・ 教え子の 親や縁者の <sup>よろこび</sup>泣き笑いの顔  
結婚式は いいものである!
- ・ 祝い事 <sup>はた</sup>傍で見ながら 思うこと  
我が<sup>むす</sup>次女・<sup>めら</sup>三女は いかであらん?!
- ・ いつもだが <sup>よろこ</sup>歓待び振る舞う <sup>ふる</sup>旧き<sup>とも</sup>学友!  
なすことなして 今を生きてる?!
- ・ 芸人の <sup>わらい</sup>創る世界は メディアでは  
見えざる彼らの 生きる様?!
- ・ <sup>まえ</sup>眼前でうねる 私の<sup>う</sup>東シナ海<sup>み</sup>よ!  
この旅に 何があったか <sup>あて</sup>想像てみよ!

(3月21日)

#### 40 ここに示すは、我が「盛春」or「静春」?!とにかく、続けよう！

昨日（24日）、最後のゼミ生が、正式に？卒業した！卒業式や、その後のコース行事（卒業証書授与や謝恩会）には行かなかったが（行けなかった?!）、5人の卒業生に、「改めて、おめでとう！ご苦労さん！ありがとう！そして、頑張れ！」と言いたい！

何度も書いたが、彼らは、本当によくやってくれた！これで、私の指導教員としての役目も、名実ともに終わったことになるが、前倒し退職から1年、すべてが初めての？経験であり、しかも前例のない関係？であったため（当然である?!）、かなり複雑な気持ちで日々を送らせてもらった！だが、何とか恰好がついたのも、一重に彼らの存在があったからと、改めて思う次第である！

さて、こんな時期（状況？）だからかもしれないが、時や季節の移り変わりに、これまで以上に、物思う私でもある?!やはり、淋しいのであろうか?!否、この先が、心配なのであろうか?!正直言えば、その両方かもしれないが、私の場合は、それは、ある意味昨年から予定されていたものであり、その適用？期間が、1年間、先延ばしされていたということでもある?!確かに、そう思えないこともない?!

そんな中、自然は、今年もまた変わらず‘自然に’、その営みを繰り返している！その代表？が、四季折々の草花であるが、とりわけ、我が家の狭い畑で春を待つ、剥き出しの木肌だけになった花木が（無花果や萩、そして、もうひとつ？※名前分らない!）、今の私の心を捉えている！

周囲の緑（鉢植えの花木を含む!）はもちろんであるが、我が家の宿命である?!、寒さというよりは、絶えず吹く強風に晒され、見るも無残な姿ではあるが、注意深く見ると、本当に小さいが、今年も、その新芽を覗かせているのである！何という逞しさ?!ちょっと気障？かもしれないが、それは、あたかも誰か？の生き様のようにも感じられる?!否、そうであって欲しい！

そんなことを思いながら、いつものように遠くを見渡すと、私の「東シナ海」が、今日も、相変わらず曇りとした姿を見せている！しかしながら、時折見せる麗らかな光景が、これからは数多く見られるであろう?!

そう、本格的な春の到来は、直前まで迫っているのである！それは、まさしく私にとっても、新たな春の始まりでもある?!

これに関わっては、私には秘かな決意があり、本「堂本彰夫コーナー」の各シリーズ（「東シナ海眺望記」「教育への思い」「古代史の旅」）を、区切りとして3月末までに40号、実質1年となる5月末までに60号を、それぞれ出すことにしている！今号は、その第一弾であるが（ただし、「古代史の旅」はかなり苦戦する?!）、書く時間は、恥ずかしい話だが？、今が一番多い?! 苦痛な時も、もちろんあるが、楽しみでもある?!

そんな私を傍で見ながら、我が奥さんは、かなり心配して（呆れて？）いるようであるが、まずは5月末までは、精一杯頑張ろうと思っている！それが、私の、遅ればせながらの「盛？春」ということなのだから?!否、やはり、それも言うなら「静？春」ということになるのかな?!

いずれにしても、このシリーズは、今月はこれで終わりである！心新たに、これからも四季を見つめて？、来月から頑張っていくこととしたい！みなさん、よろしく！そして、変わらぬ情を！

- ・ 卒業生 見送る我も 卒業生?!  
違いは卒後に 何をするかだ?!
- ・ 一年間 とにかく一年間は 頑張ろう!  
それが私の 意地でもある?!
- ・ 意地だけで やれるものではなし 古代の<sup>なぞとき</sup>解明!  
新たな機軸 出てはこないか?!
- ・ 小<sup>め</sup>さき新芽 <sup>かぜ</sup>強風にもめげず 凜と待つ?!  
そこに映したし これからの我?!
- ・ 眺望記 我が<sup>せいしゅん</sup>盛春 それとも<sup>せいしゅん</sup>静春?!  
'盛'と'静'は 私には同じ?!

(3月26日)

#### 41 今年もまた新年度、新学期が始まった！「海炎祭」が、その一歩?!~

さて、世間では、今年もまた新年度、新学期が始まり、このコーナー（3シリーズ）を見られているみなさん方には、まさに心身ともにフレッシュに、そのスタートを切られていることと思う?!

また、この3月に卒業した若者達も、それぞれに（いわゆる「社会人」としては、まだまだ途上の道のりではあるが!）、元気にその歩みを始めていることと思う?!

今日は、その7日目であるが、私の方も、そろそろ私なりの新たな出発? ということで（懸案?の「古代史の旅」も、一応所期の目標を達成した?!）、ここでの執筆を再開することとしたい!

ところで、先月末から明日まで、我が奥さんは、再び宮崎（小林市）の長女の家で、大いなる助っ人として、長逗留している! その助っ人にはならない私は、この間、ずっと一人暮らしを余儀なくされているが、そう言えば、先般、役所等から幾つか通知・書類が送られてきた! あまり嬉しいものではないが（本当である!）、正式に? 「高齢者」の仲間入りをする（と知らされた!）のである（今月17日が、満65歳の誕生日である!）。

とにかく、当座の一人暮らし?ではあるが、その状態で「高齢者」の烙印?を押されたことは、誠に複雑であった?!だが、もちろんそれは制度的なものであり、そうした処遇は、拒みはしないが、私自身の「納得?」ではない!

なお、明日（8日）は、日本で一番早い? 「花火大会（琉球海炎祭）」が行われる! 昨年も、この日に、卒業生の一部が集まり、我が自慢の?ベランダから、その大輪の華を愛でたものである?!

今回は、折角集まるのだから（そう位置づけているのは、実は私だけかもしれないが?!）、今年度（以降?）の「教育協働研究会」、そしてそれを企画・運営していく「イノベーションNEXT」の行動計画等を話し合うことにしている!

ちなみに、我が奥さんの熱き思い?で可能となった（ミニミニ??）卓球の、交流（選手権?）試合（「新堂本杯」）も行うことになっている! 天候の方も気になるが、果たしてどのような顔ぶれとなるのか?!

いずれにしても、これが、もう一つの、私（達）のスタートでもある! 今日の「私の東シナ海」は、高気圧のへりにあたっているらしく、灰白色の厚い雲が、多少軽くではあるが、海面全体を覆っている?!ある意味、梅雨時の空模様のようなようでもある?!

ただし、気温は高い! 多分 25℃以上はあるであろう（だから、あの嫌な?湿気も、幽かに感じられる?!）!

- ある意味 何となく始まった 私の<sup>ねんど</sup>新年度?!

だが単なるそれで 終わらせはしない?!
- 高齢者 認めたくはないが 受け入れはする?!

一人暮らしは 誠に複雑?!
- 海炎祭 華と咲くかは 顔ぶれ次第?!

とにかくそれが <sup>スタート</sup>新たな一歩?!
- 留守してる 我が奥さんは いかで思う?!

どちらにいても <sup>せわ</sup>忙しさ変わらぬ?!
- <sup>う</sup>海(湾) <sup>み</sup>を覆う 灰白色の 厚き雲

されど直に <sup>じき</sup> <sup>あ</sup>蒼碧き顔出る?!

(4月7日)

## 42 「ミニミニ卓球選手権？」と「海炎祭」で盛り上がった第一歩?!

一昨日（8日）、前号（④）にてお知らせしていた、本年度第1回目の研究会（新? 「イノベーションNEXT」の立ち上げ会と言った方が正解か?!）を、我が家「岳陽舎」で行った!

位置づけ・名称は「第1回研究会」とはしたが、本音は?、日本で一番早い花火大会（「琉球海炎祭」）の美しい大輪の華を、みんなで愛でるものであった?!

幸い、雨も降らず、また気温の方も最適で（日中は、今年一番の暑さだったが?!）、久々に? 楽しい一時であった! そして、花火は、手前味噌かも知れないが、本当に美しかった（誇張ではない!）。

ちなみに、その夜空に、怪しげな物体も垣間見えた?! 果たして、あれは何であったのか、そして何をしていたのか?!

それにしても、この花火大会のウリなのかもしれないが、ひと昔前とは比べ物にならないほどの、色・形・大きさ・動き等の鮮やかさ・新奇さ?（私が知らないだけであろうが?）、まさに花火の世界も隔世の感があった!

しかも、その花火大会はもちろんであるが、その前後のレク（ミニミニ卓球選手権?）・話し合い（今後の計画と見通し?）・交流（花火を見ながらの、七輪焼き/たこ焼き等を交えた宴会?!）も、どれも楽しく、そして美味しかった!

やはり、人が集まり、交流するのは、良いものである!

だが、それを支える裏方? の人が、一方でいればこそではあるが?! ただし、これは、何もこうしたイベントだけのものではない?!

それはともかく、今回は、特に、ある意味「いつものメンバー」? ではあるが、若き男<sup>おのこ</sup>達の逞しさが、頗る頼もしく思えた?! 具体的なことは、ここでは触れないが、近い将来小学校の教員にトラバークユすることを決意したF君をはじめ、懐かしき? 「子ども地域教育コース」（通称「こどち!」）の、歴代? 男子学生達（通称「めんこど!」）である!

本当に、何か思いも寄らぬ? 展開が、これから始まるのではないかとさえ感じさせた! その意味で、第1回目の集まりとしては、私の予想を遥かに超えて?、大成功であったと言えるであろう!

最後になりますが、U市のTnさん、Iさん! 多くの若者との交流、誠にありがとうございます! そして、改めてよろしく（残念ながら、来れなかったTrさん、Oさんも!）!

何度も書いているように、U市にとっても、今年度は、これからの決定づける、大変重要な年かと思えます! 一緒に、そして元気に頑張りましょう!



### 43 ついに、「(前期) 高齢者」の仲間入り！何が変わると言うのだ?!

今日 (17日) は、私の 65 回目の誕生日である！「ついに来たか！」、「やっと来たか！」、「何を今さら！」、etc. いろんな思いが去来するが、正直なところ、今日自体はある意味、ほとんど何の感慨もない?!むしろ、還暦とか、退職とか、そういった社会的な位置づけとか、繋がりの中での「一日」?の方が、はるかに現実感が湧くようにも思える？

とは言え、国民年金、国民健康保険、介護保険とか、今までほとんど無縁と思っていた制度 (用語?) が、直接自分と関わりのあるものとなってきたということで、否が応でも、自らを「高齢者」と位置づけなくてははいけないのである！誠に、複雑な日ではある?!

話は変わるが、先日 (13日)、久し振りに大都市？那覇市に出かけた！本人には申し訳ないが？、何とも驚異的な？高齢者である H 先生と、二人の共通の友人である、熊本県の U さんと一緒に、旧交を温めるというものであった！私が一番若く、U さん 70 歳、H 先生は、何と 80 有余歳？である！何とも、お互いに年を取ったものであるが、それでも、夜 (深夜ではない!) の飲食街を闊歩？するのであるから、大変なものであった?!

そして、そうそう、土曜日 (15日) にも、外出した！これも久方振りに訪れたが、山原路 (やんばるじ。沖縄北部のこと) の途中、ダムの水位がかなり低くなっていて！好天が続いているわけではないが、降水量が少ない！そんな感じの、今年の沖縄ではある！

ちなみに、その山原への旅？は、イノベーション NEXT (卒業生) の U 君と T 君が、今帰仁村主催のハーフマラソン (古宇利島往復。名称は、忘れてしまった!) に出るので、その応援に行ったものであるが、同じイノベーション NEXT (卒業生) の F 君、N 君、S 君、そして私が加わったのである！

こんなに走りたい人がいるのかと、本当にびっくりさせられたが、とにかく、U 君と T 君は、元気に完走した！流石である！帰り道に、みんなで、名護市 (沖縄?) で有名な？「ステーキハウス」 (これも、名前は憶えていない!) で夕食を取った！若者達と一緒に、大きな？ステーキを注文してしまったが、不思議と、あっさりと食べてしまった！体力は致し方ないが、食欲 (力?) は、まだまだ現役であった！とても美味しかった！

そんなことを思い出しながら、改めて今 (夕方? 4時過ぎ!)、目の前の「私の東シナ海」を眺めてみると、まるで梅雨時期の海・空のように、厚い雨雲が低く垂れ籠っている?!降水確率は 60% だったように思うが、まだ降ってきてはいない！しかし、今にも泣きそうな空模様ではある?!

昨日植えた、今年の野菜の苗 (胡瓜・茄子・おくら等) には、恵みの雨ともなる！現在、他に畑?に植えているのは、ミニトマト、ゴーヤ、そして野イチゴ



#### 44 近づく“GW”！確か？「シルバーウィーク」もあったかな?!

今日は、4月の26日（水）である。いよいよ週末から、今年度の「ゴールデンウィーク」が始まる！最初の土日は通常の休み？であり、折角の国民の休日（「昭和の日」）も台無し？ではあるが、それでもやはり「ゴールデンウィーク」であることに変わりはない！否、その後の、連続5日間の休みは、まさに「ゴールデンウィーク」、そのものである?!

その「ゴールデンウィーク」を、まさに心待ちしている人は、非常に多いことであろう?!そして、その間、様々な人の動き・行事等が、それこそ全国各地で盛んに繰り広げられることであろう！みんなが、楽しく、そして安全に、その時間（機会）を享受できれば、まさに、名実ともに「ゴールデンウィーク」となる！本当に、いいことである。

ただし、特に、今の私の場合は、毎週が、ある意味「ゴールデンウィーク」でもある?!それはそれで、ありがたいのであるが、毎週が、まさに「ゴールデンウィーク」であれば、それもまた、どうかなあとも思う?!

それはそうと、確か9月には、「シルバーウィーク」と呼ばれるものが出来たかと思うが、あれは、休みも少なく（3日間?）、命名の本意は、「敬老の日」を絡ませていることかと了解している?!ゴールド（金）と比べての、（長さからの?）命名なのか、それとも高齢者、すなわちシルバー（銀）のことを思っただけの命名なのか?!多分?双方の意味を掛けているものと思われるが、本当のところはどうなのであろうか?!

ところで、かなりしつこくなるが?、例えばスポーツの世界（オリンピックや世界選手権）では、それこそ「金」と「銀」の違いは、格段に大きい、別な文脈（価値観?）で、「金」と「銀」の使われ方に、絶妙な面白さを感じさせるものもある?!

多分、それは、「将棋」の世界から来ていると推察?するが（まったくの見当違いかな?!）、「成金」とか「いぶし銀」とかという、言い方である！私自身、今更?、そういうことにこだわっているわけではないが、私なら、「成金」（趣味）と言われるよりは（実際は、絶対に言われたい!）、もちろん「いぶし銀」と言われた方が、断然嬉しい（みんなそうかな?!）！

改めて、それは、どうしてなのだろうか?!とにかく、シルバー（銀）は、「いぶし銀」でなければ…?!

さて、今年の、私の「ゴールデンウィーク」は、3～4日に、いつもの?イノベーション NEXT の若者達（仲間?）と、北部・本部町の瀬底島で、ペンション泊をすることになっている！これまでの、「春のゼミ旅行」といったところであるが?、趣旨も顔ぶれも、もちろん違っている（別な意味では同じ?!）！今年度の新たな活動計画、機関誌「岳陽」や雑誌『社会教育』の記事づくりに



#### 45 すっかり「ベランダ族（高齢者？）」?!爽やかな風に、物思う?!

今日は、4月29日（土）である。本来なら、国民の休日（「昭和の日」）であるが、土曜日と重なっているために、ほとんどその感覚（ありがた味?）がない?!

とにかく今、待ちに待った?「ゴールデンウィーク（前半）」が始まっているわけであるが、そのことについては、前号で、思う存分?語ってはいるので、ここでは、そのこと自体については触れないでおきたい!

ただし、何せ、つい一昨日（27日）に前号を書いたばかりであるので、このシリーズでは、他に特段の話題（想い）も、ないと言えない?!

それなら、書かなくてもよいのではないかと言われそうだが?、他の二つのシリーズが、それなりに先に進んでいるので、やはりこのシリーズでも、その足並み（号数）を揃えるべく、頑張るしかない?!それが、私の、おかしな決意?でもあるからである!

というようなことで、今回は（も?）、何とも情けない出だしとなったが、この「眺望記」本来の話題が、決してないわけでもない?!と言うのも、すっかり「ベランダ族（高齢者?）」となっている、最近の、この私ではあるが、実はいつの頃からか（もちろん、つい最近ではある?!）、「私の東シナ海」を、まるで垂直に分断するように（ちょっと大袈裟かな?!）、赤と白のツートンカラーの、高い奇妙な機械（生き物?）が、ほぼまっすぐに屹立しているのが見える?!

その正体は、何のことはない!「大型クレーン」であるが、何のために、あそこに、そして、ほとんどじっとしているのかと訝っていたのであるが、昨日やっと?、その動いている姿を目撃したのである!本当に、初めてである?!

ただし、その時は、目の錯覚ではないかと思わせるほどの、かすかな動きでしかなかった（遠くからであるので、そのように見えたのか?!それとも、風に吹かれての動きなのか?!）!

しかし、である!その高い奇妙な機械（生き物?）が、今まさに、改めて眼前で動き始めている?!しかも、その首?を真っ二つにして、何かを吊るして動いているようである（残念ながら、その先の部分は、手前のビルに隠れて見えない!）!

本当に生きていた、つまり仕事をしている!どうでもよいことであるが、何故か、そのことに安心したというか、それでよかったと思っている自分がここにいる?!これもまた、この「ベランダ族（高齢者?）」の、一つの習性となったのであろうか?!

ちなみに、今、少々肌に冷たい風が吹いてはいるが、とても爽やかである!まさに「ゴールデンウィーク」が送る、一つの大きなプレゼントである?!海の色は、この時期特有の、多少白みがかかった藍色一色であり、空の色は、それよ



#### 46 GWも、ついに？終わった！やがてまた、あの鬱陶しい梅雨が?!

今年のGWも、ついに？終わった！やがてまた、あの鬱陶しい梅雨がやってくる?!久しぶりに？、午前中の「私の東シナ海」を眺めているが、滲み出る汗を拭いながら、今まさにあの梅雨の気配を感じている！

5日から昨日（8日）まで、宮崎県の小林という所にいたのだが、あちらは、日中の気温は沖縄より高かったようであるが、爽やかな5月の風（薫風?）が、新緑の木々を、揺らしていた！頬に感じる、心地よい冷たさ?が、まさに5月を感じさせるものであった！

しかも、期待していた野苺の赤い実が、特定の場所ではあるが、辺り一面に繁茂していた！実は、私の5月の思い出は、何故かこの赤い苺の実なのである！幼い頃の私は、田舎育ちであったこともあり、周囲の野山に出かけ、この時期には、この赤い苺の実を摘んで、食べていたのである！

そんな小林での季節<sup>とき</sup>を、ほんのちょっとだけではあったが、満喫し、我が家に戻ると、早速庭や畑の野菜や花木を、薄暗い明かりの中眺めてみた。多分心配していた「枯れ」はなかったようだが、一部の花木は、危なかったように見えた！

早速散水したが、一晩開けて、今、こうやって改めて眺めてみると、健気にも元気になっているようであり、植物の強さ（生命力）を、改めて知らされたようにも思う！

この中でも特に、私は、我が妻には、ほとんどあきれ顔をされる山芋（自然薯）の状態が気になっていた！この芋は、ご存知の方も多と思うが、いわゆる「むかご」と呼ばれる、小さな丸い種（芋?）を植えて（放置して?）おくと、秋には、びっくりするほどの収穫があるのである?!

去年は、残念ながら彼らの習性を、そこまでは知らなかったこともあり、その収穫自体は、ほとんど不発に終わったが（掘り出す場所や時期を間違っていた?!）、今年は、リベンジも兼ねて、用意周到に見守っているのである！

ちなみに、現在の種（芋?）は、何年か前に（5年位?）、私の実家（九州）から、何個か持ち帰って?いたものである！それを、今は多分時効であるが?、私の大学の研究室の鉢植えで細々と年を繋ぎ（観賞用として!）、やっと昨年、畑（本当の土!）というところで、正式に植えたのである！

そうしたら、びっくりするほどのむかごが収穫でき、そのごく一部（本当に!）を、今回は植えて?いたのである！

ただ、芽が出るのが遅く?ひょっとしたら、今年はダメなのかなとも思っていたが、先週あたりから元気な葉が出始め、今では、すっかりいつもの、この時期の姿を見せてくれている！頼もしい限りである！これもまた、秘かな?喜びでもある?!

ということで、今回も、のっけから「私の東シナ海」の眺望を外してしまったことになるが、多少薄日が差し込み、どんよりとはしているが、静かな海面が、いつものように我が眼前に横たわっている！

ただし、小さな白い波が、小刻みに寄せては来ているようである?!だが、これは、風の影響ではないようである?!東シナ海の上部?の方に、低気圧でもあるのであろう?!

- ・ GW <sup>まご</sup>孫達との<sup>であい</sup>再会 そっちのけ?!  
思い出させる 皐月<sup>みどり</sup>の風緑
- ・ 野苺を <sup>はしや</sup>見つけて燥ぐは 孫でなく!  
<sup>うごき</sup>動作も鈍る <sup>ひわれ</sup>幼き頃の我?!
- ・ 自然薯と 呼ばれる時には 何故か高貴?!  
我が懐かしきは ただの山芋?!
- ・ 幾世代 <sup>たね</sup>重ねし種(芋)は 今まさに  
<sup>と</sup>場所を得られて 見事身を成す?!
- ・ 小さき白き <sup>なみがしら</sup>波頭!  
<sup>さわ</sup>沢山にはあるが 荒れてはおらず?! それも海!

(5月9日)

#### 47 早速始まった、今年の梅雨?!何度も言うが、沖縄では、それは慈雨?!

前号(16)で、やがてまた、あの鬱陶しい梅雨がやってくる?!と書いていた矢先に、今日(13日)、その梅雨が来たらしい?!と言うのも、今まさに、天気は、俄かにその様相を呈してきており、いつ宣言されてもおかしくない様であるからである!先程(そんなに早くもない!)、とてつもなく大きな雷鳴で目が覚めた私であったが、外は突風まじりの大雨である!

正式にはまだ、その宣言はないようであるが、遅かれ早かれ?、今日明日中には発表されることであろう?!昨年よりどうなのか、例年と比べればどうなのか?残念ながら、まったくその数値的なこと?は憶えていないが、感覚的には、いつもよりは、かなり遅めの?入梅なのではないかとも思う?!確か、GW中の入梅もそれなりにあり、そのため今年のそれが、やはり遅いように感じられるのかもしれない?!

さて、そんなことを考えながら、これを書いていたら、既に(午前中早く!)宣言されていたらしい!私の妻から聞いた!例年より遅く、昨年よりは早いということである!昨年も、遅かったのだろうか?!

まったくその記憶もないが、いずれにしても、これからは、しばらく梅雨の季節である!我が畑・庭の野菜・花木達も、水分には事欠くことはないであろう?!

そうであれば、日課である、ホースによる水かけも、あまり心配することはないであろう?!ただし、やはり一度に降りすぎても、それもまた困る?!難しいものである!

ところで、梅雨と言えば、何度も言うが?、沖縄全体にとっては、それは慈雨の季節でもある!尤も、それは、台風の降雨もそうなのであるが、あくまで限度次第ではある?!

周知のように、沖縄には大きなダムがなく、一定期間雨が降らなければ、すぐに水不足となったり、まとまった雨が降っても、小さなダムでは、それをすべて貯めておくことも出来なかつたりと、言わば一年中コンスタントに雨が降らなければ、深刻な社会問題?となるのである?!

現在は、家庭等に、個別の貯水タンクが設置されており、以前のような水不足パニック?はないが、沖縄の宿命的問題の一つであり続けることは、間違いない?!

ということで、そんな沖縄の梅雨談義をやっていたら、まったく超個人的なレベルでの大問題?が、私の知らない所で、秘かに進行していた?!

そう、それは、初めて経験した(妻には申し訳ないが!)、「かたつむり被害」である!梅雨と言えば、例の「かたつむり」の童謡が思い出されるが、その「かたつむり」の大群(本当に夥しい数の!)が、私と私の妻がこよなく愛してい

る、小さな「庭・畑」の野菜・花木を、覆い尽くしていたのである（これは決して誇張ではない！）。

そう言えば、昨年もそうだったが、折角春に芽吹き、その成長の度合いも一段と早くなっている、この時期の、畑や庭の野菜や花木の、特に新芽や若葉が、何かの虫？に、それこそ大幅に蝕まれていたが、実は犯人（主犯格？）は、この「かたつむり」であったのである？！

別に、必要以上の憎しみはないので、妻と二人で、見つけたかたつむりは、反対隣の藪の中に、すべて放り投げておいた（大小 50 匹以上？は駆除したであろう！）。その後どうなるのかは、今の時点では、何も考えたくはない！とにかく、収穫さえ成就すれば、何も言うことはない！

- ・ 見渡せし 遙か彼方の 私の東<sup>う</sup>シ<sup>み</sup>ナ海  
雨に煙って いずこも見えじ?!
- ・ 雷鳴と 共に今年も 梅<sup>きた</sup>雨来る?!  
されどその降<sup>あめ</sup>雨 慈雨となる?!
- ・ 降<sup>こうう</sup>雨とて 適度にあれば 幸となる?!  
だがその適度さは 誰が決める?!
- ・ 貯水量 ただそれだけでは 計られず?!  
我が心のダムは いかにある?!
- ・ “かたつむり” 童<sup>うた</sup>謡には可愛く 詠まれても?!  
我が畑<sup>や</sup>や庭にすれば ただの邪魔虫?!

(5月13日)

#### 48 今日の海（湾）は違う?! あの蒼（碧）がない?!鏡となった湖面の様?!

早速だが、今日（15日）の私の東シナ海（湾）が、違っている?!まさに、初めて見る光景である?!梅雨入りしたばかりの翌日なのだが、青い空や白い雲が、東の方だけであるが、大きく広がっている!しかも、太陽さえ出ている!

だが、それよりも何よりも、海（湾）の、そして沖縄独特の、あの蒼（碧）の海がまったくないのである!その海（湾）の面も、まるで鏡となった湖面の様に、その上空にある白い（というより薄明るい鼠色?）雲を映し出している?!

しかし、それは、絶対がない?!たまたま、海（湾）の色と空の色が一致しているだけである（写しでないことは、よく見れば分かる!）。単純には、光の差し込む状態の妙であろうが、実に珍しい?!

珍しい?!と言え、その海（湾）の右陸地延長上にある嘉手納基地への、多分戦闘機?だと思うが、先程（午前10時半頃?）に、3機が続けて、離陸、そして着陸する（何をしていたのだろうか?→発進訓練?）のが見えた!

ただそれだけでは、それほど珍しくはないのかもしれないが、今回は、明るく、しかもかなり透明に遠方が見えるということで、海（湾）から進入してくる機体が、陸地（砂辺地域?）に向かってすれすれに降下していく様は、周囲（手前）のビルの関係で、普通はほとんど見えないのであるが、今日は、かなり最後まで（多分飛行場の入端まで?）、見えたのである?!

尤も、通常は、そこまでは追視しないということもあるが…?!ちなみに、眼前の普天間基地は、今日は、今のところ静かである?!

ところで、本日は、期せずして、沖縄が、日本（本土）に復帰して45年目の日である!以前にも書いたとは思いますが、このことについては、まだまだ語りたくはないのであるが、たまたま上で嘉手納基地や普天間基地のことに触れたので、まったくの「だんまり」とはいかないであろう（ひょっとしたら、何かの誘導?かな?!）!

しかし、やはり、少なくとも今は、あまり語りたくはない?!否、語れないのである?!これについては、下の短歌に託した私の想いを察してもらうしかないのであるが、強いて言えば、多くの人には、多分、察してもらわなくてもよいということかもしれない?!否、むしろ、察してもらえないということであろう?!

いずれにしても、故（縁?）あって、私は、今ここ（沖縄）に住んでいるのであるが、年数はともかく（28年!）、ここに住み、ここで働き、ここで生きてきた!どんな思いで生きてきたかは、気恥ずかしいので、これもここでは書かないが、一つだけはっきりしているのは、人は（多くの人とは思いたい!）、自分の住む場所を、実は簡単には選べないということである?!

もちろん、どんな親の下に生まれてくるのかということとは、次元は異な

る！しかし、ある意味それも含めて、「“そこ“でしか生きられない」のである?!  
そして、その「そこ」は、自分が生まれる、あるいは住む前に、ある宿命（私  
的レベルで言えば、「貧困」とか、「親不在」とかということであるが、総じていえば、  
そこにあった「過去」ということである！）が賦与されている?!

要は、「そこ」から、どう出発するのか！その出発の仕方が、それぞれの人  
生を決めるのである?!そこをまず、分かり合おうということである?!

・ 今日<sup>う</sup>の海<sup>み</sup>（湾） あ<sup>あ</sup>の蒼<sup>お</sup>（碧）がない!

鏡となった 湖面<sup>よう</sup>の様! 珍しきかな?!

・ 45年前 歓喜で迎えた 本土復帰?!

彼ら<sup>とうじ</sup>の思い 語る<sup>やぼ</sup>は失礼か?!

・ 語れない 喋れない その理由<sup>わけ</sup>は?!

ここに過ごした 日々<sup>ひび</sup>にあり?!

・ 憎しみや 哀しみでさえ 塊<sup>かたまり</sup>として

ぶつけられるは まだ幸せか?!

・ “そこに生きる!” そのこと自体の 意味<sup>こたえ</sup>はあるのか?!

私は“ある”と 思っている?!

(5月15日)

#### 49 梅雨の晴れ間！何と爽快な風！私の海（湾）が、早くも蘇る?!

前々号（④）で、ここ沖縄での、今年の梅雨入り（13日）を告げたばかりではあるが、しかし、今日（19日）の、私の東シナ海（湾）は、まさに「梅雨の晴れ間」の第一弾（2日目!）ということになり、数日来続いた、あの激しい降雨（本当に、かなりの雨風であった!）の後とは思えないくらいの、清々しい眺望を見せている!

そして、眼の前の海面の色も、あの蒼碧が、戻ってきている（でも、ちょっと、いつもより白っぽい?!）。

とにかく、何という、晴天・薫風なのであろうか?! 何度も言うが、この海（湾）、この場所（ペランダ）は、こうでなければならない!

またまた、気障な言い方になるが、まるで、その心地よい晴天・薫風が、入梅後の私の湿った心持ち（ただし、入梅自体のせいではない?!）を、一気に乾かしてくれそうである?!

その湿った想いであるが、実は、GW後、なかなか期待していたようにいかないことが多いということである?!

もちろん、それは、ある意味どうしようもないのであるが、今年度の新たな動きを具体的に創っていきたい（授業として）、予定している計画・ヴィジョンづくりを早く始動したい（イノベーションNEXT+の活動、そしてU市の生涯学習推進計画づくり。ただし、N市・W地区の教育協働システムづくりは、多分? 今年は無理なのかな?!）のであるが、なかなかその第一歩が見えてこないのである?!

とは言え、それは、残念ながら私自身が行うことではない?! あくまでも、当事者達の課題であり、彼らが、実際に始めていかなければ、如何ともしがたいのである?!

そこが、何とももどかしく、この梅雨のような、かなりのウエットな気分になっていたということである?!

そんな中で、ひよんなことから、今日の天気のような、心地よい晴天・薫風を感じさせてくれたのが、本日の5限目に行った、イノベーションNEXT+のU君（こども二期生!）を招いた、「地域教育経営演習Ⅰ」の授業であった?!

私のおせっかいもあって、急遽このような授業（「ゲストティーチャー」を招いた公開授業?）が実現したわけであるが、こうしたチャレンジを、受講学生には、大いに期待?しているわけでもある!

なお、これについては、イノベーションNEXT+のHP（ツイッター）に、投稿あり! 人数的には寂しい限りであったが、なかなか面白かった! 受講学生も喜んでいて! U君、この場を借りてお礼致します! どうもありがとう!

- 束の間の 梅雨の晴れ間の 私の東シナ海  
 あの蒼碧<sup>あお</sup>なれば ただの海<sup>う</sup>（湾）?!
- 心地よい 薫風<sup>かぜ</sup>のそよぎに 誘<sup>いざな</sup>われ  
 我がウエットな 想い乾きぬ?!
- GW 終われば少しは 進むらし?!  
 期待<sup>おも</sup>う心は 梅雨模様?!
- 知らなかった！ そこまでは?!  
 語る若者<sup>オービー</sup> 遅<sup>おそ</sup>しき?! されど期待はまだ?!
- 学生<sup>わかもの</sup>達よ！ 眼の前にいる その先輩<sup>ひと</sup>の  
 想いと現実<sup>いま</sup>を いか<sup>いかに</sup>に受け止む?!

(5月20日)

## 50 いよいよ節目の50号！「無常」ではあるが、「無情」ではない?!

いよいよ、このシリーズも50号を迎えた！一昨年の12月から住み始めた、この宜野湾市大謝名在の新居（寓居？）の2階ベランダから眺める光景（→「私の東シナ海」）にかこつけて、とりとめもなく、四季の移り変わりや人との出会い、日常の出来事等を綴ってきた！

まだまだ俗世を離れた、いわゆる隠遁？生活を始めているわけではないが、世に言う「(古典における)三大随筆」の作者は、ひょっとしたら、こういう気持ち・シチュエーションで、世の中のこと、自然や人間の織り成す喜怒哀楽等を、ちょっと遠目（斜め？）から眺め、書き記したのではないかと思ったりもする?!

もちろん、そんな想いは、その偉大なる作家達（清少納言『枕草子』、鴨長明『方丈記』、吉田兼好『徒然草』）には、誠にもって不遜千万であるとは思っているのであるが、まあ、ちょっとくらいは、そんな気取りを見せてはみても許して貰えるのではないかと、独り合点？している今日この頃でもある?!

ちなみに、その独り合点に頭に乗るわけではないが？、私の好きな作品は、「ゆく河の流れは絶えずして、しかももとの水にあらず。淀みに浮かぶうたかたは、かつ消えかつ結びて、久しくとどまりたるためしなし。世の中にある人とすみかと、またかくのごとし…」と続く、鴨長明の『方丈記』（の一文）である！

ほとんどまじめに読んだことさえもないのに、この、何とも言えない「無常観」が、多分若い時から？気に入っていた！そして、偉そうに言う訳ではないが、今（現在）だって、まさにその通りではないかと…?!そんなことを、個人的なレベルにおいても、社会的なレベルにおいても、思っている次第なのでもある！

例えば、それは、ある家族（一族）の盛衰であったり、政党や政治家達の飽くなき動きであったり、はたまた仕事や組織における人間関係や、その世代交代劇等には、まさしくその感を強くするものである?!

変な話になるが、実は、鴨長明の「鴨氏」は、別シリーズで書いている、我が「古代史の旅」に出て来る「賀茂氏（族）」の末裔である（らしい?）が、その「賀茂氏（族）」は、神武天皇即位前後（紀元前660年頃。もちろん時代的には創作されているが!）に、大和近畿で大勢力を有していた氏族で、しかも、京都「葵祭」で有名な「上賀茂神社」「下鴨神社」は、その「賀茂氏（族）」の奉斎する神社であり、その由来・扱いかからすれば、当時の（ある時の?）天皇家、あるいはその縁戚であったようでもある（詳しくは、そちらの方を見て欲しい!）?!

また、江戸徳川の「葵御紋」も、どこかでそれを彷彿?とさせる?!さらにま

た、各地には、「賀茂（鴨）」の名前が、数多く散在している?!とにかく「賀茂（鴨）⇄葵」は、かなりの由緒・因縁の香りを漂わせている?!

まあ、ここでは、そのことはこれ位にしておいて、私が、ここで言いたかったのは、おそらく鴨長明は、そうした自らの氏族の栄光が（自分の家系だけかもしれないが?!）、今はかなり凋落していることを（多分、それは人為的なものであった?!→藤原氏の策謀?!）、どこかで意識（達観 or 諦観?）しながら、世の「無常」を詠ったのではないかということである?!

もし、そうであれば、私は、その「無常」に、改めて優しさ、と言うか、哀惜の念?を感じたいと思う。果たして、どうなのか?!気がつけば、例の橋が半分繋がっている!これも、「無常」か?!

- ・ 「無常」ではあるが 「無情」ではない?!  
そんな日々が この世にはある?! 否、あって欲しい?!
- ・ ここでまた ある種の隠遁 煽りだす?!  
無常を語る 無情な我れ?!
- ・ 「<sup>か</sup>上<sup>も</sup>賀茂」と「<sup>か</sup>下<sup>も</sup>鴨」は 仲が悪いと 言われている?!  
「賀茂」と「鴨」には <sup>たが</sup>違いがあるのか?!
- ・ 達観、諦観、無常観 根っ子はいずれも <sup>ひと</sup>人間の<sup>おもい</sup>叫び?!  
ただ無常に託すは <sup>なにゆえ</sup>何故か?!
- ・ あの橋が いつのまにやら 繋がっている!  
無常はここにも しかと待るか?!

(5月22日)

## 51 「利便性」と「自然（生活？）保護」、どこにも「二律背反」はある?!

今日（25日）も、やはり「梅雨の晴れ間」と言えようか?!このベランダ（正確には、そこに内接している小さな部屋！今更告白？することでもないが、いわゆる書斎ではあるが、それにしても、かなり貧弱?!）から、今（正午過ぎ!）、いつもの「私の東シナ海」を眺めている！

干潮時に近いのであろうか？、海岸部の海の色が、あの蒼碧ではなく、どちらかと言うと、茶色がかった薄群青色である?!しかし、もう一度見ると、何と俄かに、あの蒼碧の、と言うか、蒼（コバルトブルー）の方が圧倒的に広がっている！この数分間に、何があったのであろうか?!まるで魔法の世界のように、まったくその色彩?が変わってしまっている?!実に、不思議である！

ところで、そんな中、海（湾）の最も入り込んだ北谷地区の海岸部は、その蒼（コバルトブルー）ではなく、碧（エメラルドグリーン）の海が支配している！そこに打ち寄せる白い波しぶきと相俟って、見事なコントラストを描いている！

その後方の砂辺地区の海岸部も、それ以上に、白い波しぶきが高々と?打ち上がっている?!ここもまた、美しい！そうこうしているうちに、またあの蒼（コバルトブルー）の海面が、茶色がかった薄群青色に戻っている?!何とも奇妙な、海面の変化である?!だが、それも、やはり太陽の光の指し加減なのであろう?!

とにかく、この景色は、毎度同じことを言うようであるが、私にとっては至上の宝である?!前に紹介した、例の「大型クレーン」も、まだ、その存在を誇示している！何度か仕事をしている?光景はみたが、今日は何もしていないようにも見える?!

しかし、今では、「私の東シナ海」には、なくてはならない闖入物?となっている?!多少波はあるようだが、海（湾）全体は、穏やかな状況ではある！

そう言えば、件の橋の右半部は出来ているが、ここからは直接見えない左半分は、どうなっているのであろうか?!先程、ベランダから身を乗り出して確認したら、まだまだのようである?!いつ、全橋が完成するのであろうか?!

いずれにしても、あの橋の下の海（海岸部、いわゆる「イノー」）は、美しいサンゴ礁が残る、貴重な場所であった！「利便性」と「自然（生活？）保護」、ある意味「二律背反」の沖縄の一コマではある?!

ということで、この「私の東シナ海」も、その「利便性」と「自然（生活？）保護」の、言わば「二律背反」の中で、これまでの日々を迎えてはきたのであろう?!

上記の「大型クレーン」や「新しい橋」の出現は、まさに「利便性」を求める、我々人間社会の現実的な営みを象徴するものであり、他方の「私の東シナ海」は、その「利便性」を見守り（多少「冷ややかな目」をもって?!）、ある時

は「自然（生活？）保護」の象徴として、その暴走？に待ったをかける、そんな役割を果たしているとも言えるであろう？！

ただし、その「自然（生活？）保護」の象徴としての「私の東シナ海」も、多分至る所で、複雑な様相（想い？）を提示しているのかもしれない？！

しかし、残念ながら、そのことは、ここ、私のベランダからは、直接には見えない（分からない？）！否、見ようとしていないのかもしれない？！

- ・ 今日もまた 梅雨の晴れ間が <sup>めのまえ</sup> 眼前に?!  
変幻自在の 色彩示して?!
- ・ それなりの <sup>こうう</sup> 降雨もありて 心配なし?!  
されど湯水 俄かに生ず?!
- ・ 利便性と 自然保護  
その二律背反は どこにもある?! そこに何が?!
- ・ 橋づくり <sup>みぎ ひだり</sup> 右端と左端は 別々に!  
されど最終的には <sup>いっつか</sup> 一つになる?!
- ・ 打ち上がる 白い飛沫の <sup>しぶき</sup> 激しさは?!  
そこに横たう 岩場のせい?!

(5月25日)

## 52 音楽性と物語性！新型のカリスマ?!いずれにしても、新旧交代?!

今日（28日）は（から?）、梅雨らしい日々に戻っている?!ベランダから見える「私の東シナ海」も、そこから繋がっているはずの空も、一面灰白色の雲に覆われ、多少北東の風が吹いているのだろうか、横なぐりの雨が、しとしとと、その雨音を立てている！隅においているフラワーポットの花や木が、久方振りに自然の水を得て、生き生きとしている?!

だが、あまり降り過ぎると、水が浮き、根腐れの心配もある?!やはり、適度な量、適度な間隔が必要である！雨が降り込んでいるので、ベランダから覗き込んで、下を見ることはできないが、おそらく庭や畑の野菜や花木には、まさに慈雨となっていることであろう?!

話しは変わるが、昨日、私は、いつもだったら（生まれてこの方!）、絶対に考えられない?、ロックコンサート「SOME ROCK Vol. 5」（会場：那覇市久米在TOP NOTE）に出かけた！

「Team サムロック」（NPO 法人ちゅらゆい&認定 NPO 法人侍学園スクオーラ・今人）という団体主催のチャリティーコンサートであったが、別シリーズ（「教育への思い④」）で紹介した、卒業生H君達が運営する「侍学園沖縄校」が関わるものであった！

私には、彼らが信奉?する、長野県のNさんという人に出会ってみたい、その人が、どういう人なのかを、ちょっとだけ見てみたいという気持ちもあった（あの三浦友和の息子が出ていた、あるテレビ番組で、彼のことが紹介されていた!）?!

予想に反して?、色々と考えさせられることがあったが（コンサートにも拘わらず?!）、沖縄を愛する?!、まさしく新型の?カリスマ登場という感じであった！

沖縄に関わり（出入りし）、多くの沖縄の人々・若者を魅了するヒーロー・タレント?は、多々いる（た）ように思われるが（私の分野?でもそうである?!）、彼（ら）は、「音楽性と宗教（物語）性」を兼ね備えた、そして、強いて言わせてもらえれば、沖縄を食い物にしない?!、誠実な仲間?のようでもあった?!帰路、これは、私にとっては、新旧交代の儀式だったのではないかとも思った?!

よもや、彼（ら）から、それを告げられようとは?!でも、よい！何故か、素直に受け入れられる?!

ちなみに、一昨日は、大学の授業の一環として、「地域教育経営」の受講学生を招いて、我が「岳陽舎」で、学外授業を行った（これについては、HP・ツイッターで紹介されている!）！

終了後は、いつものように、我が奥さんのお世話で?、夕食（カレーライス等）も一緒に食べ、その後訪ねてきた「イノベーションNEXT+」の主要メンバー（全員ではないが!）とも合流し、T君の、サプライズ誕生日祝いもやり、

楽しい一時をもった！やはり若者達が、一堂に会することは、いいものである！

もちろん、我が奥さんは大変であったろうが…?!とにかく、ここにも、もっと音楽性と物語性があればいいのかもしれない?!本当に、そう思ったりもする?!

余談であるが、その奥さんは、今日（もまた?!）、私を残して、福岡に住む次女の引っ越し（の手伝い）のため、再び飛んで行った（鳥取に移り住んでいる、彼女の母親に会うためでもあるが）！またまた、しばらく（一週間）の一人暮らしである！

慣れてはいるものの、今日の梅雨空・雨のように、それなりの憂鬱ではある?!でも、仕方がない！梅雨とは関係ないが、これからも、こうした境遇？は変わらないであろう！

・ やはり梅雨<sup>つゆ</sup> それなりの貢献<sup>いみ</sup>は あって欲しい?!  
ただそれも 限度はあるが?!

・ ロックス<sup>ロック</sup> の ボーカル兄<sup>おじ</sup>さん？ 君は誰?!  
その声その力 プロの様<sup>よう</sup>?!

・ “おきなわ”を<sup>うた</sup> 想う彼らは サムライブ<sup>サムライブ</sup> SAMULIVE?!  
詞<sup>ことば</sup>も変化<sup>へんげ</sup>な 新型<sup>あらた</sup>なカリスマ?!

・ 音楽と それを生み出す<sup>ものがたり</sup> 宗教?!  
その双翼<sup>つばさ</sup>?故<sup>ゆえ</sup> 飛翔<sup>とびた</sup>てる?!

・ 今日もまた 我が妻は 留守をする!  
ただ行先<sup>こたび</sup> 此度<sup>こたび</sup>は違う!

(5月28日)

### 53 梅雨に「陰性」、「陽性」がある?!ただ、「陰」よりは「陽」がいい?!

数日来、梅雨らしい日々に戻っているが、(沖縄の)今年の梅雨は、何と「陽性」の梅雨ということらしい?!梅雨にも「陽性」と「陰性」があるということは、今回初めて知ったが、そう言われれば、確かにそうとも言えるのかもしれないと、一人得心している?!確かに、今日(31日)の雨は、その「陽性」の雨の一環であろう!

否、そうでなければ、何度も書いているように、庭や畑の野菜や花木が心配である!名前は知らないが(忘れた?!),まるでそうだと叫ぶばかりに、鉢植えの赤い花一輪?が、何とも言えない風情で、周囲を凌駕するように?咲いている!

幸い、珍しく今日は、ほとんど風もなく、ベランダのトタン?屋根を叩く、パシパシ(シトシト?)という雨音が、遠方に煙る「私の東シナ海」と奇妙な調合をなしている!まあ、これはこれで、梅雨の一コマとしては、それなりに許容される光景であろう?!

ちなみに、本土では、まだ梅雨に入っておらず、連日の猛暑?(真夏日の連続)が続いているらしい!

ところで、昨日、あまり頓着して聞いていなかったが、ラジオで、日本の若者(15~24歳)の自殺率が世界一であるということを報じていた(調べてみたら、韓国が2位)!成人の自殺率も高いようではあるが、近年では減少しており(景気に関係している?!),とりわけ先進国においては、この若者の自殺率の上昇は、日本における顕著な傾向であるらしい?!

その原因の具体的なことは、よく分からないが(感覚的には分かるような気がする?!),何とも痛ましい、(ある意味憂鬱な?!)現実なのであるだろうか?!ふと、売れ始めの頃の井上陽水の歌(ヒット?曲「傘がない」?!)が、妙に思い出されもする?!

あの頃も、今も、「あの行為」の意味は同じなのであるだろうか?!出生率の低下、限界集落、超高齢化等、日本社会の行く末が本当に危ぶまれる中、他ならぬ、(折角生まれてきた!)若者(少年)達が、自らの手・自らの意思によって、その命を絶つとは…?!

ネット情報には、「『失われた20年』の困難は、若年層に凝縮されてきたといってもよいでしょう。」と書かれているが、ここから我々は、何を読み取ればいいのか?!

いずれにしても、「何か病んでいる?!」!それは、ある意味事実であろう?!しかし、そのことを叫び続ける、あるいは無視し続けるだけでは、どうにもならない?!

最後になるが、いよいよ明日から、浦添市の「第4次まちづくり生涯学習推

進基本計画」の策定作業が始まる！これとどう関わるかは、あまりにも飛躍し過ぎた問いではあるが、どこかでは、絶対につながっている問題（課題！）ではある？！

具体的には、どうつながるのか?!ただし、行政のしくみづくりや行動プランだけでは、ほとんど何も変わらない?!大事なのは、「本気で変えよう！変わろう！」としている人達が、どのくらいいるのかどうか?!

そして、実は、ここが最も大切だ（難しい?）と思われるのが、それが本当は誰の、ないしは何のためのものなのか?、そこを見誤る（すり替える?）人達は多いということである?!

ひょっとしたら、先の若者（子ども）達は、そこを見ていたのかもしれない?!すべて、人間の生き様にクロスしてくるのである?!

- ・ 「陽性」の 梅<sup>つゆ</sup>雨ならそれは ありがたい?!  
そのこと暗示<sup>し</sup>せる 赤<sup>あか</sup>花<sup>ぼな</sup>一輪?!
- ・ 小雨に煙る 私の東<sup>う</sup>シ<sup>み</sup>ナ海!  
雨風 弱<sup>な</sup>ければ それもまた佳<sup>よ</sup>し?!
- ・ 陽水が かつて歌った あのフレーズ?!  
あれと今のは 同じか否か?!
- ・ 死に急ぐ 若<sup>かれら</sup>者は何を 見ていたのか?!  
人の間<sup>あいだ</sup>の 妙<sup>いみ</sup>さえ分かれれば?!
- ・ まちづくり生涯学習! 果たしてそれは 何求む?!  
それ分からねば 意味なき徒勞?!

(5月31日)

## 54 梅雨明けと思わせる程の今日の海空！青蒼が映すは「未来」の姿?!

昨日（6日）、九州が梅雨入りしたらしい！昨年より遅かったようだが、猛暑？の後の梅雨入りとは、気候変動が現実のものとなっている証拠？かもしれない?!とは言え、やはり来るものは来ないと、何だか変である?!

考えてみると、こうした自然の営みは、それこそ気まぐれであり（ただし、今は、それには人間がかなりの影響を与えている!）、幸（豊作・豊穰）を齎<sup>もたら</sup>したり、災害・危害を加えたりするというわけである！

ちなみに、古来、そうした自然の意思（→神）は、善と悪（吉と凶）の両面性をもっており、その意思（→神）?には抗<sup>あらが</sup>いようもなく、無力な?、我々人間は、出来るだけその神の意思（機嫌?）を損なわないように、神祭り（お祈り）をしていたわけである！例えば、雨が降り過ぎるのも困るし（洪水!）、逆に降らな過ぎるのも困るのである（飢饉!）。

そんな光景や人々の想いが、古今東西様々な行事や慣行を創り出し、伝統や文化として、世界各国、日本全国に残っているのである?!ただし、祭るということと、祈るということとは、私にしてみれば、かなり違う?!

そんなことを思いながら、今、改めて、私の東シナ海を眺めてみると、何と!、まるで梅雨明けか?と思わせる程の晴天が広がり、あの海（湾）の青蒼<sup>あおは</sup>は、真夏の色を呈している?!これもまた、件<sup>くだん</sup>の自然の仕業（気まぐれ?）なのであるうか?!

蒼と碧に分かれたり、藍と青に分かれたり、あの海（湾）には、一体どんな意思があるのであるうか?!そして、そんな海（湾）の七変化?を、何かのメッセージと受け止め、言わば自分勝手に、将来のことをあれこれ考え（夢想し）ている私は、ある意味、祭ってはいないが、祈ってはいるのであるうか?!

ところで、去る4日（日）に、今月末に行う予定の、「第3回教育協働研究会」（自主研究会）の打合せ会を、我が「岳陽舎」で行った！集まったメンバーは、今年再（々?）スタートした「イノベーション NEXT<sup>+</sup><sub>ぶらす</sub>」の主要メンバーである（彼らは、確か「シージャー（年上?）」と呼び合っている！決して、「ヒージャー（山羊）」ではない?!）！

その様子（の一端）は、最近とみにその努力?を行っている、HP（ツイッター）へのアップであるが（もちろん、彼らが操作している!）、今回も載せている！是非、ご覧いただければ幸いである！

なお、今回の研究会であるが（この案内は、近々メール等で行う!）、24日（土）午後15:00～ 我が岳陽舎で行う！これまでのような研究会とは、かなり違うことになる?が、若き「イノベーション NEXT<sup>+</sup><sub>ぶらす</sub>」の主要メンバーが、これまであまり語らなかつた（語れなかつた?）、自分のこと、仕事、将来のこと等を、改めて出し合うようである！

ちなみに、まずは、そうしないと、本当に自分達の活動・研究会にはならないということらしい?!これには、私自身も、多少驚いてはいるが、何か、これまでとは違ったスタンス、中身の構築が期待できるのかもしれない?!

そうなのである!やはり今までは、私のため、私の要望?に応えるため、主要な動機・誘因だったということである?!

改めて、私は、彼ら(の動き)を、「南風の<sup>ふえーぬ</sup>国の新しい風」と呼びたいが、その新風<sup>かぜ</sup>は、果たして、どのように吹くのであろうか?!それもまた、あの自然の営みを眺めるように、ただ祈る(期待する)ことしかできないのであろうか?!

・ 「善<sup>ぜん</sup>(吉)」と「悪<sup>あく</sup>(凶)」 常にある二面性?!  
それ分かってても 祭るものなし?! ただ祈るだけ?!

・ 梅雨明け?と 思わせる程の 今日の「私の東シナ海」!  
コバルトブルーに 未来<sup>つぎ</sup>は映えるか?!

・ 穏やかに 凜と広がる 青蒼<sup>あお</sup>き海!  
白き波立たせ 瘦船<sup>こぶね</sup>横切る!

・ 「シージャー(年上?)」と 「ヒージャー(山羊)?」?!  
案外両者は 結びつく?! その根拠<sup>わけ</sup>なくもなく?!

・ 彼らをば 南風<sup>ふえーぬ</sup>の国の 新たな旋風<sup>かぜ</sup>と  
期待<sup>よびに</sup>し我は あの海<sup>う</sup>(湾)見るよう?!

(6月7日)

## 55 やっぱり、梅雨明けだ?! そうとしか思えない今日の海（湾）?!

今日（10日）の海（湾）は（も?）、上空に、かなりの雲が浮かび、流れてはいるが、色（青っぽいコバルトブルー?）といい、眺望といい、この時期としては最高?である?!

まだまだ梅雨明けは先のことだとは思いますが、今年の梅雨は「陽性」ということで、それなりの降雨はあるが、晴れの日も多い?!今日の空は、まさしく夏の空である!

だが、じめじめとした湿気は健在!で、気温の方も、かなり高くはなっている?!とにかく、梅雨明けではないであろうが、事実上は、そうとも受け止められる?!そんな土曜日の、昼下がりである!

どうでもよいことであるが、先程、昼食の後に外に出て、ふと玄関脇の郵便受けを覗き込むと、我々夫婦に、珍しく?差出人が同じ郵便物が、同時に届いていた!ただし、同時ではなければ、ある意味最近は、よくあることではある?!

ということで、今日は（も?）、気候的なもの以外は、取り立てて話のネタにするものもないのであるが、これも珍しく?私の妻（通称「奥さん」!）が、昨日、「このコーナーに、例の花のことは書いたの?」と聞いてきていたので、多少複雑?ではあるが、それをネタに、少し話をしようと思う!

余計なことであるが、我が奥さんは、自分からは論評などはしないが（本当である!）、私の、このコーナーを、偶には読んでいるらしい?!

さて、前にも話題?にしたとは思いますが、これを好きだと言っていた私のために（多分?!）、宮崎（小林市）から買ってきてくれているカサブランカのことである!この花が、狭い畑と花壇で、それぞれ一茎ずつ咲き出そうとしていたのを、折角だからと言って、切り花にして花瓶に差し、私の書斎?の机と1階の食卓の端に、日日草の可愛いピンクの花と一緒に置いているのである!

それが今、まさに満開?で、私の知っている、その花の白よりも、さらに純白の大輪?を、仲良く二つずつ咲かせているのである!

ちなみに、カサブランカは、ユリの一種（オリエンタルという種類）で、香りと大輪が特徴とされ、その名の由来は、北アフリカ・モロッコの主要都市カサブランカが、スペイン語で「白い家」を意味するそうだが、ユリの中でも白さが目立つからとある?!

花言葉は、「威厳・純潔・高貴」!なお、英語では、まさに「ホワイトハウス」だそうである!とにかく、その花びらの大きさは尋常ではなく、生けている花瓶の大きさからすると、まるで不似合いな置き方となっている!この花には、大変申し訳ないとも思う?!

とは言え、あの花の、独特な（強烈な?）匂いは、あの頃の匂いと同じで、ある意味懐かしくも感じる?!



## 56 そうであろう?!梅雨明けは、まだだった！今度は雨量が心配だ?!

つい先日、迂闊<sup>うかつ</sup>か?にも、今年の(沖縄の)梅雨は明けたのではないかと、豪語?していたのであるが、当然!それはまったくのフライングで、今日(14日)の天気は、まさに梅雨真っ盛りという塩梅<sup>あんばい</sup>である!テレビの天気予報では、この1週間は、ズーと雨マークである!何ということであろうか?!

ひょっとしたら、梅雨の神様が、わたしを咎めているのかもしれない?!とにかく、これからの雨量が、逆に心配である?!そして、多分?これからは、例の奴(台風)が、頻繁に顔を覗かす?!

低く垂れ込んだ灰黒色の不気味な雲が、今日は、私の「東シナ海<sup>うみ</sup>」を、一面覆っている!当分は、こうした荒れ模様の日が続くのであろう?!でも、それは仕方がない!今はまだ、その季節なのだから!

ところで、これは、ある意味内緒?であるが、とうとう「自叙伝?」らしきものを、手掛け始めた?!エッセイや短歌もよいが、小説でも書いたらと、我が奥さんに唆<sup>そそ</sup>のかされて(多分?しかし、別の意図もあったかも?)、一度はそうしたいと思っはいたので、今日の、この強い雨風を窓越しに見ながら、やおら始めた次第である?!

ただ、本格的な執筆は、「ある時」が来たらと思っはいたので、その時まで猶予しておくことにしたい?!お分かりのように?、まだ、その「ある時」は来ていないということである?!

なお、その動機であるが、(他人にとっては、)特に面白くもない?私の人生であるので、エッセイや短歌と同じく、自分のために(有り体<sup>ありてい</sup>に言えば、「自己満足」!),書き綴っておきたいということである!何故、そんなことをと、一方で思わないこともないが、これもまた、私なりの「意地?」ということであろうか?!

ただし、こればかりは、まともに成就するかどうかは、まったく分からない?!だから、当分は、門外不出としておきたい?!ということで、これからは、さらにパソコンに向かう時間が増える?!体力の低下、足腰の弱りは仕方がないにしても、それを補う日常もまた、工夫・開発しなければならない?!

最後になるが、もうじき(17日)、今年(6月)から(半年間)、私達家族が、昔?住んでいたH市に移り住んでいる次女の誕生日である!折角だから、彼女がそこに滞在している間に、私も一度、H市を訪ねたいと思っはている(妻は、既に引っ越しの手伝い等で、そこを訪れている!)

最近は、例の「スカイプ」で、宮崎(小林市)にいる長女、そして岡山にいる三女と、言わば4元中継で、連絡を取り合っている(ほとんどが、他愛もない日常話であるが?)。別に、彼女の誕生日だからと言って、今年は、取り立てて何も言うことはないが(昨年は何か言っはいた?!)、彼女が、いわゆる「キャ



## 57 夏至と梅雨明け、一緒に来た！今度は、正真正銘の、迎酷暑?!

1 昨日 (21 日) が、夏至であった。そして、昨日が、例年より一日遅い?、昨年よりは 9 日遅い、梅雨明けであった! 驚くことではないかもしれないが、夏至と梅雨明けが、一緒に来たのである! 沖縄は、これから、正真正銘の酷暑? を迎えるということである?!

早速昨日から、その洗礼を受けていることになるが、気温が高いというより (もちろん高い!)、湿度が高い、まさに「蒸し暑い」ということである! この「蒸し暑さ」が、言うなれば「沖縄の夏」ということであるが、日差しの強さも、また格別である?!

現在、またしても一人暮らしの身となっている私であるが、日課となっている「かたつむり退治」「蜘蛛の巣駆除」は、梅雨明けとは無関係に続き、それに、一時期はやらなくてもよかった、畑や花壇への水撒きも、朝と夕方、実に大変である?!

ところで、今日は、沖縄にとっては、そして本土にとっても?、本当は複雑な?!「慰霊の日」であった! 沖縄での地上戦が事実上終結した日とされているが、それから 72 年、今年も、県を挙げての行事・キャンペーンが繰り広げられた! これらについて、何か思うところを書くのか、書かないのか?!

結局は、この暑い? 一日を、この時間 (23 時) まで伸ばしてしまったが、やはり本格的には書けなかった?! いつものように?!、マスコミが様々なことを伝えているが、向こうにいる (紹介されている) 人のメッセージや生き様等、一方で頭の下がる思いではあるが (事実ではある!)、今は積極的に、それらに目を遣らない (遣れない?) 私がいる?!

沖縄にいて、しかし、その沖縄から目を逸らしている? 自分が、一方にいるのでもある?! ある意味、困ったものである?!

さて、ニュースと言え、今日は、都議選や K. M さんの訃報、その他多くが耳に残った!

最近の私は、例の古代史の謎、特に今は、ある時期の人物群と、その所在地の確認 (推認?) 作業を、気がついてみれば、長時間! パソコンを使って行っている!

とにかく、多くのみなさんの研究成果? を寄せ集めて (選り好み?)、そこから一つの真実? に行き着きたいのであるが、それぞれの成果? が噛み合わないところもあり (ある意味、それは当然であろう!)、まさに四苦八苦している?! このことが、いろんなことを遮断しているのかもしれない?!

最後に、ふと思い出したが、今日もまた、自治会長? の O さんから、公民館活動 (子ども会育成会活動?) への協力依頼を受けた! 折角の申し出であるが、自らの思いに忠実でありたいということから、これまで何度か断ってきた。O

さんは、まだまだ諦めてはいないようで？、かなり？の困惑も、感じ始めている私である？!

ただ、専門家面して（そう扱われて！）顔を出すことに、かなりの抵抗があるというか、私にとっての「地域」が、まだまだそこにはないという思いが、そうさせているのでもある？!

要は、そこに引っ越しては来ているが、その「地域」に関わっている、その「地域」を共有しているという実感が、ないのである？!そこから、始まるのではないかとも言われそうだが、「恥じかきー」の私には、自然な？繋がり・出会いが欲しいのである？!

だが、それに近づく？耳寄りな情報は得た！地域の人が、よく集まる飲み屋？さんのこと（名前と場所）である！果たして、そこが、新たな出会いの場となるのかどうか？!

・ 夏至と梅雨明け 一緒に来た！  
沖繩では それはまさに 酷暑の始まり？!

・ 何を思えば 何を語れば 慰霊となる？!  
ひかり  
橙光の湾曲 闇に浮かぶ！

・ ブログで語った 生きてる証し？!  
そんなあなたに 何言えば？! ただ安らかに！

・ ある人の説 ただそれだけを 信じれば  
ある意味<sup>やす</sup>易き 古代の謎解き？!

・ 地域のため？! そは私への 殺し文句？!  
だけど固辞する 我はこの先？!

（6月24日）

## 58 あっという間に過ぎ去った？、6月水無月?!台風の襲来も徐々に?!

今日は、7月の3日(月)である!ふと振り返ってみると、6月は、あっという間に終わってしまったようにも思う?!

何故なのだろうか?!あまり行くところもなく、そして、そのための準備等もすることなく(もちろん、以前と比べてではあるが!),ほとんど毎日を、同じことをして、ただ漫然?と過ごしてきているせいであろうか?!

もしそうだとしたら、このことは、私にとっては、あまり好ましくない状況なのかもしれない?!刺激や緊張感がないと、まさに「老化」の一途である?!要、注意?!要、注意!

ということで、少しだけでも普段と違った、別な知的作業も必要かと思ひ、前から、ちょっとだけ?気になっていたことだが(知らなかったのか?!と言われそうではあるが!),月替わりを機に、例の「水無月」の語源?を調べてみることにした!

周知のように、旧暦6月のことを「水無月<sup>みなづき</sup>」とも言うが、何故、そういうのであろうか?!新暦と旧暦の日にちの差は、もちろん知ってはいるが、それにしても、6月は、梅雨の季節であり、それこそ水はあるのではないかと、訝しくも感じていたのである?!

さて、ネット情報によると、まずは「田んぼに水を引く月」、つまり田植えをするときは、田んぼに水をはるので、「水張り月」と言った。また、当時、大仕事の田植えをみんなで協力して終えたことから、「皆尽月」と言ったことから、「みなづき」になったという説(「奥義抄<sup>おうぎしょう</sup>」)もある?!

私が予想していた、「みずなしづき」と文字通りに解釈して、水が無いとなった説は、最後に紹介されていたが、これは、旧暦の6月が、現在の7月上旬から8月上旬になり、この頃は、真夏の暑い時期で、逆に水が無い時期というわけである?!

言われてみれば、これが、一番しっくりするような気もするが、10月「神無月」もそうだということで、「無」が、連体助詞の「な」であり、「水の月」「神の月」ではないかという説もあり、意味内容、文法的には、この方が合っているのでは?!

ただし、「神無月」については、出雲地方の「神有(在)月」の呼称もあるので、やはり「あるなし」の意味かとも?!たったこれだけであるが、語源の意味、故事来歴は、面白いものではある?!

ところで、今年もまた、あの厄介な(私自身の生活だけからするとではあるが?!)、台風シーズンの到来である!現在、第3号が、東シナ海を北上しており(かなり速度が速い!),明日午後には、九州大分の日田市の方まで達する見込みだと言う!

威力そのものは弱い、本土は梅雨の真最中?!余計な被害が出ることだけは避けたいが、やはりこの時期、台風は、避けられない自然の定番行事ではあるのである?!

ちなみに、台風と言えば、今回の都議選、予想はされていたとは言え、まさに超大型の台風襲来だったのではないだろうか?!「都民ファースト」、ここ沖縄にとっては、ほとんど虚ろに響く?ネーミングであるが、「〇〇ファースト」は、これから、改めて広がっていくことであろう(多分、「流行語大賞」となる!)?!

なお、現在、本物の台風が通過中?の「私の東シナ海」には、ほとんどそれらしき荒れはない!灰白色の薄い雲に霞んだ水平線の向こうに、それなりの黒い雲が覆っているようにも見える?!多分、その向こうが台風なのである?!

- ・ 「加齢」とは 決して呼べない 我が「老化」?!  
それこそまさに ろ(ど?)うかせねばな?!
- ・ 水無月の 語源求めど よく分からず?!  
ただ新暦に その語は合わず?!
- ・ 都議選の 結果知らせる マスコミは?!  
当落よりは 見せ方極む?!
- ・ 弱いけど 一応台風?!  
これからは そんな奴らが 目白押し?!
- ・ 〇〇ファースト しっくりはこないが インパクトはある?!  
その語に泳ぐ 否、泳がさる?!

(7月3日)

## 59 恐れていた豪雨が九州に！これからもまだ、油断ならぬ台風?!

今日は、7月10日(月)である！前号(58)で危惧していた豪雨が、九州地方を襲った！小さいながらも危険な台風3号が引き金?となり、梅雨真只中の西日本、とりわけ九州地方北部(特に福岡県南部と大分県北部?)が、その標的となってしまった！

本当に、台風とは、そして水(雨)とは、怖いものである！

猛暑と豪雨、以前は、それらは、ある意味季節的な順序性があったようにも思われるが、近年では、それが同時に、あるいは交互に、全国各地で生じている?!例の地球の温暖化現象が、それを惹き起こしているのであろうが、つくづく自然(今では、そうとも呼べない?)とは恐ろしいものであると思う?!

まさに、善(神)と悪(鬼)の両面性が、ある意味無秩序に顔を覗かせているわけであるが、これについては、まだまだ人間は、如何ともし難いということであろう?!犠牲になられた方々、被害を受けられた方々、ただただ冥福と回復・復興を祈るだけである！

一方、沖縄では、梅雨明け後、ほとんど雨も降らず、蒸し暑い日々が続いている！県都那覇市議選が昨日投開票され、あの時の政治の流れが、少し(かなり?)変わってきているようでもある?!

私には、予想されたことだが?、人々は、ある時は、(激情的に?)期待もするが、またある時は、現実的な選択をするものである?!それを、「庶民感情」(いわゆる「無党派層」?)と言うのであろうが、為政者は大変である?!

まあ、それを承知の政治活動・選挙戦ではあろうが、理想(理念)と現実(実態)の乖離?は、どこの世界でも同じであろう?!何があれば、否、どうすればよいのであろうか?!これもまた、自然と同じだと言えば、そうなのであろう?!

そう言えば、先日の都議選でもそうであったが、ある政党(2つ?)の集票・当落の読み?は凄いな?!何がそうさせるのかであるが、ある信念をもった人々は強いということであろうか?!

下衆な勘繰りをすれば、その信念は、どこから来るのかということであるが(本当は分かっているが?!)、ある意味「庶民感情」(いわゆる「無党派層」?)は、そうした信念とは、また違った信念?を、一方で持っているとも言える?!

ただし、その信念が、果たして、言葉の本義における「信念」と呼べるものかどうかは、私には分からない?!否、そう言うしかないということでもある?!これもまた、ある種の自然ということである?!

ということで、今回は、変な時相話?となった！とにかく、本土の方には申し訳ないが、ここ沖縄(宜野湾)の地には、そろそろまとまった雨が欲しい！時たま黒い雲も近づき、スコール(驟雨)の期待もさせられるのであるが、まだ降らない！ただただ、暑いだけである！

だが、沖縄は、暑くても 33℃止まりである！本土の暑いところでは、軽くそれを上回る地域も多い！本当に、大変であろう？！

ふと、「私の東シナ海（湾）」を眺めてみると、例の蒼碧、と言うより、今日のは、黒っぽい蒼（藍とは違う?!）とでも言えようか?!かなりの厚い雲（陸地側には、黒い雲も!）が、空を覆っている！あの雲が、一雨もたらしてくれれば、本当に有り難い?!

ちょっと待て！それがちょうど今、例のF基地から私の自宅の方へ、珍しく真直ぐに張り出して来ている！降ってくれ!!

- ・ 危惧してた 台風来時の 梅雨の怖さ！  
それ知りつつも 如何とも難<sup>かた</sup>き?!
- ・ 自然とは 善（神）と悪（鬼）の 両面あり?!  
ただ<sup>みず</sup>ど雨は 恵みのはず?!
- ・ 人々の 思いと行動 ある意味自然?!  
それを見越して 動くも自然?!
- ・ 信念と しんねえー（知らない?）は 紙一重?!  
されど現実 雲泥の差?!
- ・ 珍しく 我が家に向かう 黒い雲!  
雨なきやそれも ただの雲?!

（7月11日）

## 60 60号と無縁とは言え、あの「私の東シナ海（湾）」が湖面の様?!

今日は、7月の14日（金）である！6月末までに、各シリーズ（「東シナ海眺望記」「教育への思い」「古代史の旅」）の60号までを終わろうと考えていたのであるが（30号毎に一つのセットとし、別途紙媒体にして、心ある人には配布することになっている！欲しくない人もいようが?!）、少々手間取り（そんなに書けるものではない?!）、本シリーズが、今日まがりなりにも、それを達成できそうである（他のシリーズは、多分もう少しかかる?!）！

何度も独白しているが、よくやれたものである（それだけ時間が取れるということでもある?!）！再び、ご苦労さんと、自分に心からそう言いたい！

そう言えば、今日は金曜日である！大学から戻ってきたら（今日は授業の日である!）、ベランダで、「私の東シナ海（湾）」の夜景を楽しみながら、独り？、内なる祝杯を挙げることにしよう?!

ところで、その「私の東シナ海（湾）」であるが、今日のこの時間（午前中!）、薄水色の怪しき水面（塊?）が、蒼碧の海に、奇妙にも？あちこちと、それこそ斑<sup>まだら</sup>を描いて浮いている！何ということであろうか?!まるで、どこかの広い湖面と見紛<sup>まごう</sup>、今日の海（湾）?!である?!

このシリーズの60号記念とは全く無縁とは思いますが、いつもとはかなり違った光景が、眼前に広がっているのである（以前にも一度くらい？は目撃していたようにも思うが?）！これは、私にとっては、ある種の瑞兆かもしれない?!浅はかにも？、そう思う次第である?!

と、そんなことを考えながら、午後の作業を行い出したら、先日故障まがいの症状を呈していたプリンターが（その時は、NEXT+のO君が直してくれた!）、またもや反旗を翻して？、途中から印字をしなくなった！

もちろん、その原因も、対処法も、全く分からなかった私であるが、試行錯誤の上、一応また正常に作動するようにはなった！「機械」は、私にとっては、まさに「奇怪?」である?!

なお、このプリンターは、一度オシャカになりかけたものではあるので、近いうちにまた、おかしくはなるであろう?!残存している対応インクのために、ある意味延命を余儀なくされた、このプリンターであるが、もう少しは働き続けて欲しいものである?!

それともう一つ、この作業と同時進行的に行っていた、ホームページの確認・更新作業において、これも何故か？、あるシリーズの最新記事（のPDF）がうまく作動せず（画面に現れない！原因不明と書いてあった!）、これまた何度も何度も入力作業を繰り返した（過去にも何度かあったが、今回は、本当に往生した?!）！

ひょっとしたら、その号の記事内容が、あまり良くなかった（誰かを怒らせ

